

平成29年版

# 消防年報



(大崎市：水辺に飛来するマガンがおおさきに冬の訪れをささやく)

大崎地域広域行政事務組合消防本部

# —大崎市の花・木・鳥—



## 市の花：ひまわり

太陽のように明るく元気をイメージさせる“ひまわり”は、その花の集合美が連帯と協調を感じさせます。

また、太陽に向かって咲き、大地にしっかりと根付く力強い様子は、ひかり輝く将来の創造を感じさせます。

“ひまわり”は、地域づくり活動、産業振興の推進に期待され、私たちのまちづくりを拓く礎を象徴する花としてふさわしいと言えます。

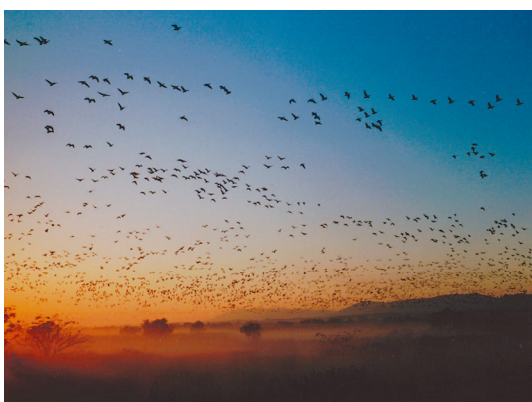


## 市の木：桜

豊かな自然環境の象徴としての“桜”は、市内各地に広く生息し、県北有数の名勝としてみんなが知っている馴染みの深い木です。

また、市民による保全や保護活動が活発化しており、集いの場と交流の機会が生まれています。

“桜”は、7つの地域をつなぐ架け橋となり、地域の特性や実情の違いを認め合い、一体感を象徴する木としてふさわしいと言えます。



## 市の鳥：マガン

自然豊かな大崎市には、毎年“マガン”を中心とした渡り鳥が越冬のため数多く飛来します。

冬の朝に10万羽の“マガン”が一斉に飛び立つ光景は、雄健かつ気丈に満ち、私たちが飛躍する姿と重なります。

“マガン”はおおさきの飛翔を象徴する鳥としてふさわしいと言えます。

〈お問い合わせ先〉

大崎市役所 〒989-6188 宮城県大崎市古川七日町1番1号

TEL 0229-23-2129 ホームページアドレス <http://www.city.osaki.miyagi.jp/>

# はじめに

甚大な被害をもたらした東日本大震災から6年が経過し、被災三県では、来春までに高台移転工事や災害公営住宅の建設が9割以上完了する見込みになっております。

近年は、地震災害以外にも台風による豪雨災害など、被災地の消防力のみでは対応が困難な大規模災害も発生しており、これまで以上に消防団及び婦人防火クラブ等との連携や緊急消防援助隊等による広域的な消防応援活動が重要になってきております。

当消防本部におきましても、消防本部庁舎建設や消防ポンプ自動車等の更新整備に併せた緊急消防援助隊の増隊等、消防施設整備を進めているところであり、多様化、大規模化する災害・事故に迅速かつ的確に対応するため、より一層の消防防災体制の充実強化を図ってまいります。

この年報は、平成28年度中における大崎地域広域行政事務組合の消防業務（消防団を除く）に関わる事業の成果、実績等について収録し、消防行政の効率的な運営と消防力の充実強化に資するとともに、当消防本部の実態を広く一般に紹介することを目的として編集したものです。

何とぞご高覧の上、消防行政に対しましての認識を深めていただき、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年6月

大崎地域広域行政事務組合消防本部

# 目 次

## 消防情勢

組合消防管内図	1
消防の主な統計	2
位置及び地勢	3
消防施設の整備	4
相互応援協定	5
緊急消防援助隊	6
緊急消防援助隊の活動概要	7
組合消防情勢の推移	8
大崎消防のあゆみと主な災害等	9
構成市町の面積・世帯・人口	30
事務組合機構図	31
消防本部事務分掌	32
消防署事務分掌	34
平成29年度一般会計予算概要及び消防費当初予算	35
施設（消防庁舎等）の現況	36
消防力の整備指針と現有消防力	37
所属別・階級別配置状況	38
階級・年齢・退職年度別構成表	39
勤続年数別構成表	40
年度別消防吏員採用数と採用年度別職員現員数／職員数と条例定数の推移	41

## 警 防

災害出動計画基準表	42
非常配備体制	44
消防車両配置表	45
消防隊出動状況	48
消防水利の現況	49

### (火 災)

火災の現況と動向	50
平成28年市町別火災発生状況	51
月別火災発生状況／過去10年間の主な出火原因	52
月別火災発生及び損害額状況／過去10年間の火災件数及び損害額の推移	53

### (救 急)

救急業務の現況と動向	54
平成28年月別救急出動状況	55
平成28年救急隊別出動状況	56

平成28年出動先別救急出動状況	57
平成28年傷病程度・年齢別搬送人員の状況	58
平成28年救急隊員の行った応急処置状況（その1）	59
平成28年救急隊員の行った応急処置状況（その2）	60
東北自動車道における救急出動件数・搬送人員	61
過去5年間の発生場所別救急出動状況／過去10年間の救急出動件数の推移	62
平成28年事故種別医療機関別搬送人員調	63
応急手当講習会等の現況と動向	64
応急手当普通救命講習会等の開催状況（表：1～4）	65

## **(救 助)**

救助業務の現況と動向	67
救助活動状況／過去5年間における救助件数の推移	68
消防装備等機械器具保有状況	69

## **予 防**

予防業務の現況	70
防火対象物数	71
地上5階未満，地上5階以上の防火対象物数	72
防火対象物における防火管理の状況	73
定期点検報告制度該当防火対象物数／消防同意事務処理状況	74
危険物施設状況	75
危険物関係事務処理状況／危険物関係申請状況／圧縮アセチレンガス等の状況	76
予防査察実施状況	77
液化石油ガス関係事務処理状況／火薬類取締関係事務処理状況	78
民間防火組織の結成状況	79

## **通信指令**

高機能消防指令センターおよび消防救急デジタル無線システム	80
消防緊急通信指令システム運用の流れ	81
119番等受付状況（災害）	82
119番等受付状況（災害以外）	83
119番等受付件数／覚知別受付件数	84
火災等区分別入電件数／テレドーム利用件数	85
月別気象状況	86
指令装置機器一覧	87

## **管内の消防団**

大崎管内の消防団構成	88
------------	----

※ 本書の記載内容の期間については，各表及び統計毎に明示しております。

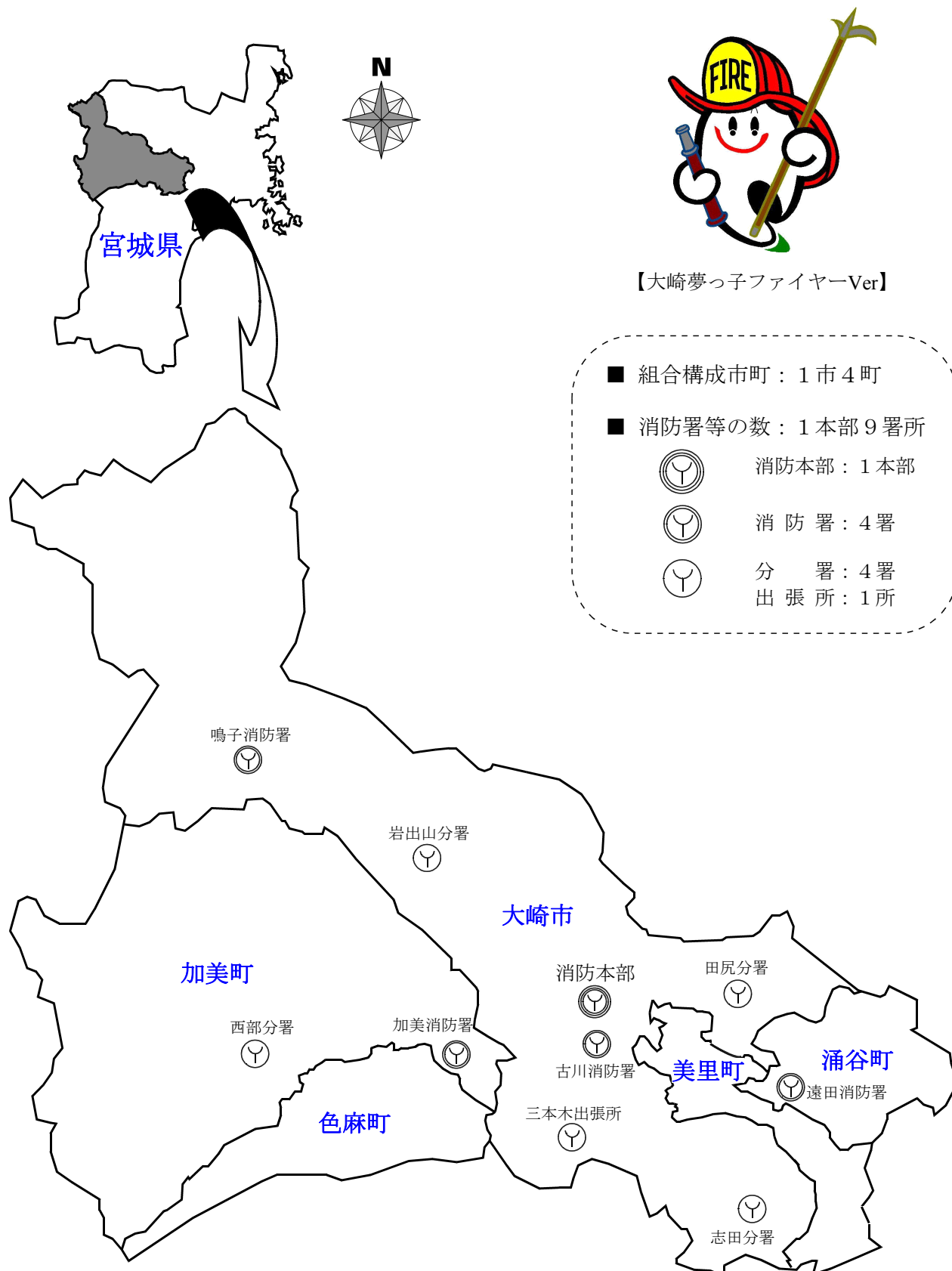


# 消 防 情 勢



新消防本部・古川消防署庁舎（イメージパース 庁舎棟外観）

# 大崎地域広域行政事務組合消防管内図










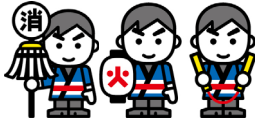






## ■大崎消防本部の主な統計





平成29年4月現在の情勢


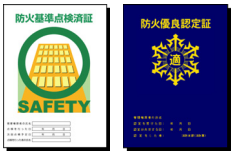

(人口・世帯等は構成市町からの数値，災害件数は平成28年確定値)

管内面積	管内人口	管内世帯数	人口密度
 1,523.69km <sup>2</sup>	 205,597人	 76,108世帯	 134.93人/1km <sup>2</sup>

消防予算(29年度)	署所数	職員数	消防団員数
 4,361,036千円	 消防本部 1 消防署 4 分署等 5	 定数 338人 現有 317人	 定数 4,191人 現有 3,914人

消防車	特殊車両	救急車他	消防水利
 ポンプ車 11台 タンク車 7台 化学車 1台	 はしご車 2台 救助工作車 1台 大型水槽車 3台	 救急車 13台 司令・指揮車 5台 その他車 22台	 消火栓 3,104基 防火水槽 1,127基 その他 136基

火災件数	救急件数	救助件数	その他災害件数
 85件	 9,352件	 83件	 危険物等漏洩 77件 自然災害 15件 その他 208件

防火対象物数	危険物施設数	セイフティマーク	防火組織等
 8条 1,816件 17条 6,860件	 製造所 3件 貯蔵所 619件 取扱所 286件	 該当対象物 274件 特別認定対象物 22件	 婦人防火クラブ 260 少年消防クラブ 1 幼年消防クラブ 42

## 【位置及び地勢】

### 県北西部の大崎耕土

当圏域は、宮城県の北西部に位置し、南は広域仙台都市圏、東は広域石巻圏、北は栗原市・登米市、西は山形県・秋田県にそれぞれ接しています。

地勢としては、西部の山岳地帯の荒雄岳を源とする江合川、船形連峰を源とする鳴瀬川の二つの大きな川が西から東に向かって流れています。

また、山間部の豊かな森林に覆われた自然を源とする水は、圏域の北西から南東に広がる肥沃に満ちた広大な平野「大崎耕土」を潤し、昔から米どころとしての水稻の盛んな流域圏を形成しています。

圏域の人口は、平成 29 年 4 月 1 日現在 205,597 人（平成 27 年国勢調査 205,925 人）で、宮城県総人口の約 9 % を占め、広域仙台都市圏について 2 番目の規模となっています。

### 国土の縦軸と横軸が交差する大崎

圏域は、JR 東北新幹線・東北本線・陸羽東線・石巻線などの鉄道や、東北自動車道・国道 4 号・47 号・108 号・346 号・347 号・457 号などの幹線交通網が、縦横に通った交通アクセスの優れた地域となっています。

### 日本の食糧供給基地

主要な産業は農業となっており、「日本の食糧供給基地」として広大で肥沃な大崎耕土に育まれた良質米「ササニシキ」「ひとめぼれ」などを産しています。

また、栗駒国定公園や県立自然公園船形連峰などの優れた自然景観や鳴子温泉をはじめとする多くの温泉施設、歴史の道「奥の細道」や遺跡などの文化財、太鼓や神楽などの伝統芸能など文化遺産にも恵まれており、豊富な観光資源を活用したレクリエーション産業が発展しています。



大崎市 おおさき古川まつり（写真提供：大崎市）

## 【消防施設の整備】

消防本部では、地域社会の防災機関の中核として、住民のニーズに応えるべく管内情勢に応じた総合的、効果的な消防施設整備計画のもと、消防力の強化、充実を推進しています。

平成28年度の整備状況は次のとおりです。

### 1 消防ポンプ自動車（CD-I型）の整備

導入から20年が経過した古川消防署三本木出張所の消防ポンプ自動車を更新整備しました。

この車両は、新たに800リットルの水を積載し、高速自動車国道等の無水利地区での火災にも即対応可能となり、消防力の強化を図ったものです。（市町村振興総合補助及び施設整備事業債）



三本木ポンプ車

### 2 高規格救急自動車の整備

導入から10年が経過した加美消防署の高規格救急自動車を更新整備しました。

近年増加する救急出動に対し、適切且つ迅速な救急救命処置を行うため救急資器材を充実させ、更に大規模災害時における緊急消防援助隊の救急隊としても出動します。（緊急防災・減災事業債）



加美救急車

### 3 新消防本部・古川消防署の整備

大崎地域の防災拠点施設として、平成31年4月の供用開始に向けて整備を進めている、新消防本部・古川消防署の実施設設計が完了しました。

基礎免震構造の庁舎棟、車庫兼防災倉庫、訓練施設のほか、自家用給油取扱所、非常用発電設備などの付帯施設を整備する予定です。



イメージパース（鳥瞰図）



イメージパース（防災展示室）

## 【相互応援協定】

市町村は、その管轄区域内における火災等の消防活動の責任を有していますが、その消防力をこえる大規模火災や特殊災害等が発生した場合、それらに対応するため消防組織法に基づき近隣の消防本部等と消防相互応援協定を締結しています。

東日本大震災では、宮城県広域消防相互応援協定に基づき、気仙沼市、石巻市等の2市2町へ消防隊及び救急隊等延べ67隊を派遣し43日間にわたり活動を行いました。

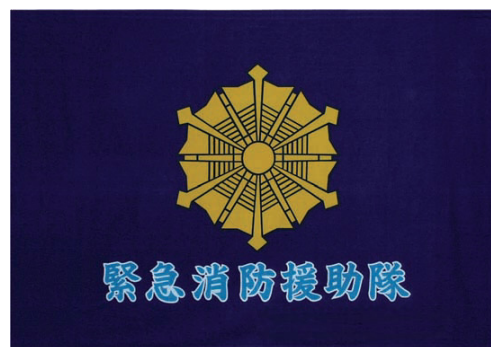
名称	締結年月日	締結市町村名 協定消防本部名	応援内容
消防相互応援協定	S50年 4月 1日	山形県最上広域市町村圏消防本部	消防組織法第39条 (火災・救急・その他災害)
	H 8年 7月31日	秋田県湯沢雄勝広域市町村圏消防本部	消防組織法第39条 (火災・救急・その他災害)
	H25年 3月 1日	尾花沢市消防本部	消防組織法第39条 (火災・救急・その他災害)
東北自動車道宮城県消防相互応援協定	S63年 7月 1日	仙台市・名取市・仙南広域栗原市・黒川広域5消防本部	東北自動車道における消防業務の相互応援
宮城県広域消防相互応援協定	H 4年 4月 1日	県内12消防本部(局)	消防組織法第39条 (火災・救急・その他災害)
宮城県広域航空消防応援協定	H 4年 4月 1日	宮城県内12消防本部(局)	同上
宮城県内航空消防応援協定	H13年 4月 1日	仙台市内11消防本部	同上



## 【緊急消防援助隊】

緊急消防援助隊は、平成7年（1995年）兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）の教訓を踏まえ、大規模災害等において都道府県内の消防力では対応が困難な場合に、人命救助活動等を効果的かつ迅速に行えるよう、全国の消防機関相互による援助体制を構築することを目的とし、平成7年6月に創設されました。

その後、平成15年6月の消防組織法改正により、緊急消防援助隊が法制化（平成16年4月施行）されました。また、平成26年4月には東日本大震災の教訓を活かし、南海トラフ地震等への対応力を強化するため緊急消防援助隊基本計画が改定され、緊急消防援助隊の登録目標数（平成30年度）を全国で6,000隊に大幅増隊する計画となりました。平成29年4月1日現在、全国で727消防本部から5,658隊（重複登録を除く）が登録され、指揮支援隊、統合機動部隊指揮隊、エネルギー・産業基盤災害即応部隊指揮隊、都道府県大隊指揮隊、消火小隊、救助小隊、救急小隊、後方支援小隊、通信支援小隊、特殊災害小隊、特殊装備小隊、航空小隊、水上小隊の多岐にわたる精鋭部隊から構成されます。その内、大崎広域消防本部においては、下表のとおり11隊を登録しており、平成30年4月に鳴子救急車の新規登録を予定しております。



登録部隊	所 属	車 両	登録年月	登録隊数
都道府県大隊指揮隊	消防本部	司令車	H19.4	1隊
消火小隊	加美消防署	水槽付ポンプ車	H15.4	5隊
	遠田消防署	水槽付ポンプ車	H21.3	
	西部分署	水槽付ポンプ車	H26.4	
	鳴子消防署	水槽付ポンプ車	H27.4	
	田尻分署	水槽付ポンプ車	H27.4	
救助小隊	古川消防署	救助工作車	H15.4	1隊
救急小隊	加美消防署	高規格救急車	H19.4	2隊
	遠田消防署	高規格救急車	H20.4	
後方支援小隊	消防本部	資機材搬送車	H16.4	1隊
特殊装備小隊	遠田消防署	大型水槽車	H23.4	1隊
計				11隊



## 【緊急消防援助隊の活動概要】

東日本大震災では、44都道府県の消防本部から派遣された隊員は88日間にわたり活動を行いました。管内においては、石巻地区で活動を行う鹿児島県隊36隊108名を涌谷スタジアムに受け入れました。

また、平成28年8月31日に台風第10号で被害を受けた岩手県下閉伊郡岩泉町へ、当消防本部初となる緊急消防援助隊の応援派遣を行い、5隊20名（宮城県内12消防本部合計：51隊193名）が現地で10日間にわたり活動を行いました。

派遣概要については以下のとおりとなります。



### ◇平成28年台風第10号被害に伴う大崎消防本部緊急消防援助隊応援派遣概要

- 1 平成28年8月31日（水）～9月9日（金）※派遣総日数 10日間
- 2 派遣場所 岩手県下閉伊郡岩泉町
- 3 当消防本部の派遣規模

派遣部隊	派遣部隊所属	派遣隊数	派遣人員	派遣車両
県大隊指揮隊	消防本部	1隊	4名	大消司令車 
救助小隊	古川消防署	1隊	5名	古川救助車 
消火小隊	加美消防署	1隊	5名	加美タンク車 
救急小隊	遠田消防署	1隊	3名	遠田救急車 
後方支援小隊	消防本部	1隊	3名	大消搬送車 
計		5隊	20名	

## 大崎地域広域行政事務組合消防情勢の推移

平成29年4月1日現在

年	区分	人口	世帯数	消防職員		火災件数 (1～12月)	救急出動件数 (1～12月)
				定数	実員		
	昭和45	219,598	48,081	186	125	76	336
	46	217,880	48,759	186	154	126	378
	47	216,507	49,280	186	186	111	655
	48	214,880	49,790	214	211	119	1,007
	49	215,464	50,472	217	214	108	1,472
	50	216,349	51,115	222	220	104	1,695
	51	217,525	51,787	222	219	119	1,880
	52	218,880	52,674	228	226	101	1,905
	53	219,884	53,462	228	222	109	2,101
	54	221,097	53,963	228	228	122	2,210
	55	219,603	54,482	228	226	86	2,474
	56	221,414	54,252	233	231	91	2,507
	57	222,930	55,192	238	236	87	2,747
	58	223,686	55,539	242	242	101	2,995
	59	223,973	55,925	242	240	101	2,906
	60	224,954	56,476	242	238	94	3,174
	61	225,434	57,134	252	243	101	3,331
	62	225,556	57,348	252	246	103	3,472
	63	225,578	57,680	252	248	99	3,517
	平成元	225,567	58,185	252	243	78	3,766
	2	225,285	58,731	252	242	87	3,958
	3	225,114	59,140	252	239	97	4,002
	4	225,225	59,733	252	243	105	4,070
	5	225,490	60,480	252	251	103	4,241
	6	226,104	61,167	260	260	105	4,575
	7	225,813	61,167	300	268	99	4,784
	8	225,606	62,754	300	276	86	5,172
	9	225,424	63,565	300	284	132	5,202
	10	225,532	64,795	300	291	117	5,757
	11	225,588	65,632	300	297	129	6,174
	12	225,054	66,296	300	299	78	6,567
	13	224,134	66,736	300	298	148	6,572
	14	223,234	67,177	338	303	138	6,816
	15	222,594	68,067	338	308	156	7,253
	16	221,420	68,268	338	312	152	7,789
	17	220,499	68,758	338	317	128	8,142
	18	219,422	69,245	338	321	86	7,918
	19	218,267	69,890	338	320	124	7,910
	20	214,085	70,384	338	312	132	7,807
	21	212,187	70,669	338	310	114	7,807
	22	213,998	71,447	338	307	99	8,251
	23	212,773	71,821	338	314	110	9,180
	24	212,509	72,699	338	315	88	9,087
	25	211,325	73,480	338	310(1)	96	9,125
	26	210,347	74,323	338	312(2)	83	9,157
	27	208,511	74,902	338	308(6)	74	9,458
	28	207,122	75,485	338	315(4)	85	9,352
	29	205,597	76,108	338	317(6)		

※ 消防職員実員の（ ）書きは、再任用職員の内数

## 大崎消防のあゆみと主な災害等

年 号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
昭和45	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大崎1市12町1村で大崎地区消防事務組合を發足，1本部2署1派出所人員92名にて消防業務開始</li> <li>・初代消防長に古川市長 森谷菊治郎氏就任（事務取扱）</li> <li>・政令指定</li> </ul>			4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪市地下鉄工事現場ガス爆発火災 死者74名 負傷者411名</li> </ul>
	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栗原地区消防と消防相互応援協定締結</li> </ul>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳴子町字焼石亦林野火災 焼損面積3ha</li> </ul>		
46	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古川消防署涌谷分署庁舎開設ポンプ車配置</li> <li>・古川消防署鹿島台，岩出山，中新田，小牛田各分署及び小野田出張所庁舎開設し普通消防ポンプ車各1台配置</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古川市寿司店火災 死者4名</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・呉市林野火災， 死者17名（消防職員） 負傷者1名，焼損面積340ha</li> </ul>
	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2代消防長に千田清志氏就任</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色麻町四釜，大東電子産業(株)火災</li> </ul>		
	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古川消防署小牛田分署に普通消防ポンプ車1台増強</li> </ul>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩出山町南沢林野火災 焼損面積3ha</li> </ul>	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雫石事故（全日空機と自衛隊機が岩手県雫石町上空で接触墜落） 死者162名</li> </ul>
	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古川消防署岩出山，鹿島台，中新田，涌谷の各分署に水槽付消防ポンプ車各1台を配置</li> </ul>				
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古川消防署にスノーケル車1台配置</li> </ul>				
47	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古川消防署鹿島台，岩出山，涌谷各分署及び小野田出張所に消防吏員待機宿舎完成</li> <li>・古川消防署岩出山，涌谷各分署に救急車各1台配置</li> </ul>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩出山町南沢林野火災， 焼損面積2.5ha</li> </ul>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪市千日デパートビル火災 死者118名 負傷者81名</li> </ul>
	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3代消防長に佐藤真夫氏就任</li> </ul>			8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北九州市済生会八幡病院火災 死者13名 負傷者3名 焼損面積888㎡</li> </ul>
				12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小野田町漆沢ダム工事現場作業員宿舎火災 死者1名</li> </ul>	



年 号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
昭和48	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>石巻広域，気仙沼本吉広域，塩釜地区，登米地区各消防と消防相互応援協定締結</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>松山町次橋山王大火災 焼損棟数12棟， 焼損面積945㎡</li> </ul>		
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>古川消防署田尻出張所庁舎開設し普通消防ポンプ車1台配置</li> <li>古川消防署中新田分署に救急車1台配置（日本自動車工業会より寄贈）</li> <li>古川消防署小牛田分署に消防吏員待機宿舎完成</li> <li>大崎地域広域行政事務組合に統合するため大崎地区消防事務組合を解散</li> <li>大崎地域広域行政事務組合に統合，定数条例214名</li> <li>黒川地区消防と消防相互応援協定締結</li> <li>古川消防署小牛田分署に救急車1台配置</li> <li>機構改革により中新田分署，涌谷分署が署に昇格し，1本部4署3分署2出張所1派出所となる。</li> <li>鳴子消防署に救急車1台配置（宮城県共済農業協同組合連合会より寄贈）</li> <li>古川消防署鹿島台分署に救急車1台配置（日本消防協会より寄贈）</li> </ul>	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>岩出山町池月林野火災 焼損面積2ha</li> </ul>	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>出光石油化学徳山工場爆発火災 死者1名</li> </ul>
49	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>古川消防署三本木機関員派出所，中新田消防署宮崎機関員派出所庁舎開設し，普通消防ポンプ車各1台配置</li> </ul>			9	<ul style="list-style-type: none"> <li>熊本大洋デパート火災 死者103名 負傷者121名 焼損面積13,637㎡</li> </ul>
	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>定数条例217名に改定</li> </ul>	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>鳴子町字星沼，旅館仙庄館火災 焼損面積780㎡</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>三菱石油水島製油所重油流失事故</li> </ul>
					5	<ul style="list-style-type: none"> <li>1974年伊豆半島沖地震（M6.9） 死者30名 家屋全壊134棟</li> </ul>
					8	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京丸の内三菱重工業ビルで時限爆弾爆発（企業連続爆破事件） 死者8名 重軽傷228名</li> </ul>

年 号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等	
昭和50	2	・古川消防署に救急車1台増強（日本損害保険協会より寄贈）			2	・四日市大協石油製油所タンク火災	
	3	・古川消防署松山機関員派出所，涌谷消防署の南郷機関員派出所の各庁舎開設し，普通消防ポンプ車各1台配置					
	4	・最上広域消防と消防相互応援協定締結	4	・岩出山町南沢畜舎火災 焼損面積624㎡	4	・大分県中部地震（M6.4） 負傷者22名 家屋全壊77棟	
	7	・古川消防署に作業車配置					
	9	・古川消防署の普通消防ポンプ自動車1台更新（日本損害保険協会より寄贈）	8	・古川市協和中学校火災 焼損面積963㎡			
	10	・鳴子消防署の水槽付消防ポンプ車更新	12	・色麻町色麻中学校火災 焼損面積1,909㎡			
	51	2	・中新田消防署色麻機関員派出所庁舎開設し，普通消防ポンプ車1台配置	4	・古川市中里アパート火災 焼損面積446㎡		
		6	・消防本部付にて特別救助隊発足（隊員7名）		・古川市佐々木製縄火災 焼損面積700㎡		
		9	・第4代消防長に小金勝一氏就任	7	・小野田町味袋畜舎火災 焼損面積853㎡	10	・酒田市大火 死者1名 負傷者1,003名 焼損棟数，1,774棟，焼損面積152,105㎡
		11	・鳴子消防署に梯子車（15M級）1台配置				
		12	・黒川地区消防と東北高速自動車国道の救急業務相互応援協定締結			12	・沼津市雑居ビル火災 死者15名 負傷者8名
			・東北高速自動車国道（古川IC～大和IC間上り線）救急業務開始				・東北自動車道 泉～古川間開通

年 号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等	
昭和52	1	・古川消防署の救急車更新 (日本自動車工業会より 寄贈)	1	・涌谷町住宅火災 焼損棟数5棟 焼損面積581㎡			
	3	・消防救急指令装置 (C型)設置			3	・北九州市林野火災 死者5名(消防職員)	
	4	・定数条例228名に改定	4	・古川市山崎製畳工場火災 焼損面積852㎡	5	・岩国市岩国病院火災 死者7名 負傷者5名	
	8	・古川消防署の普通消防ポンプ車更新			8	・北海道有珠山噴火	
	10	・古川消防署に化学車(Ⅱ型)1台配置 ・涌谷消防署小牛田分署に 水槽付消防ポンプ車を配置し、既設の普通消防ポンプ車を古川消防署に移管					
	11	・栗原広域消防と東北高速自動車国道の救急業務相互応援協定締結					
	12	・東北高速自動車国道(古川IC～築館IC間下り線)救急業務開始					
	53	1	・消防通信指令室に気象観測装置(自記温湿・風向・風速・雨量・気圧)を設置			1	・1978年伊豆大島近海地震(M7.0) 死者25名
		3	・鳴子町上野々に無線不感地帯解消のための無線塔を設置 ・消防本部通信指令室に地図検索装置を設置 ・鳴子消防署の普通消防ポンプ車更新	5	・涌谷町上郡畜舎火災 焼損面積728㎡	6	・1978年宮城県沖地震(M7.4) 死者28名 負傷者11,028名 家屋全壊1,383棟 仙台市の屋外タンクから68,160%の油流出
		8	・古川消防署荒谷機関員派出所の普通消防ポンプ車更新	9	・岩出山町片倉工業㈱火災 焼損面積1,445㎡		

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大 崎 の 主 な 火 災 と 災 害 等	月	全 国 の 主 な 火 災 と 災 害 等						
昭和54	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鳴子消防署の救急車更新</li> <li>・ 涌谷消防署の救急車更新（日本損害保険協会より寄贈）</li> <li>・ 古川消防署に救急予備車を配置（鳴子消防署より移管）</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 古川市福沼字長瀬，青沼醸造(株)火災 焼損面積3,446㎡</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上越新幹線大清水トンネル火災 死者16名</li> </ul>						
							5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消防本部・古川消防署庁舎完成</li> </ul>	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中新田町菜切谷グリコ仙台アイスクリーム(株)火災 焼損面積3,446㎡</li> </ul>	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東名高速道路日本坂トンネル内車両火災 死者7名 負傷者2名 焼損車両189台</li> </ul>
	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消防本部に救助工作車1台配置</li> </ul>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宮崎町宮崎店舗住宅火災 負傷者4名 焼損面積335㎡</li> </ul>	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 富士山落石事故 死者12名 負傷者31名</li> <li>・ 静岡駅前ゴールデン街ガス爆発火災 死者14名 負傷者223名 焼損面積1,732㎡</li> </ul>						
							55	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 涌谷町篋岳に無線不感地帯解消のための無線塔を設置</li> </ul>	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 古川消防署の水槽付消防ポンプ車を小型動力消防ポンプ付大型水槽車（10t）に更新</li> </ul>	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 栃木県川治プリンスホテル火災 死者45名 負傷者22名</li> </ul>
	56	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鳴子消防署に作業車配置（古川消防署より移管）</li> <li>・ 古川消防署，鳴子消防署岩出山分署の救急車更新</li> <li>・ 中新田消防署，涌谷消防署の普通消防ポンプ車更新</li> </ul>	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小牛田町中塚作業所火災 焼損面積1,955㎡</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 川崎市タンカー火災 死者3名 負傷者3名</li> </ul>						
							3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 涌谷消防署小牛田分署の救急車更新（日本自動車工業会より寄贈）</li> </ul>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東京上野「アメ横」火災 焼損棟数52棟</li> </ul>	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 台風第15号東北縦断</li> </ul>
	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定数条例233名に改定</li> </ul>	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北炭夕張炭鉱ガス突出事故 死者93名</li> </ul>								
					9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鳴子消防署岩出山分署の普通消防ポンプ車更新</li> <li>・ 中新田消防署小野田出張所の普通消防ポンプ車更新</li> </ul>						

年 号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
昭和57	3	・古川消防署鹿島台分署の救急車更新，既存の救急車を予備車として古川消防署に移管			2	・東京都千代田区ホテルニュージャパン火災 死者32名 負傷者34名 焼損面積4,186㎡ ・山形市蔵王温泉観光ホテル火災 死者11名 負傷者2名 焼失面積3,581㎡
	4	・定数条例238名に改定 ・第5代消防長に大澤邦臣氏就任	4	・鳴子町湯元鳴子ホテル源泉噴出事故 負傷者7名	4	・東北地方を中心とした林野火災・県内各地 負傷者8名 焼損棟数 290棟 焼損面積4,725㎡
	7	・涌谷消防署小牛田分署の普通消防ポンプ車更新				
	8	・中新田消防署に圧縮空気製造用高圧コンプレッサ一設置	11	・鳴子町名生定字竹原ドライブイン火災 焼損面積657㎡		
58	3	・古川消防署の救急車更新				
	4	・定数条例242名に改定	4	・宮崎町谷地森字赤沼住宅火災 死者3名 焼損面積723㎡	5	・昭和58年日本海中部地震(M7.7) 死者104名 家屋全壊1,584棟
			6	・岩出山町字下川原墨田工業(株)工場火災，焼損棟数2棟，焼損面積671㎡	10	・三宅島噴火 建物損壊400棟
					11	・掛川市ヤマハレクリエーション「つま恋」プロパンガス爆発事故 死者14名
59	3	・消防本部に宮城県事業として，防災行政無線装置を設置 ・中新田消防署の水槽付消防ポンプ車更新 ・鳴子消防署の救急車更新 既存の救急車を予備車として古川消防署に移管	5	・小野田町字上野目西小野田中学校火災 焼損面積1,996㎡	1	・福岡県高田町三井三池有明鉱構内火災 死者83名 負傷者16名
	11	・涌谷消防署の水槽付消防ポンプ車更新 ・古川消防署鹿島台分署の普通消防ポンプ車更新	8	・鳴子町名生定字水沼しんこう牧場火災 焼損面積564㎡	11	・東京都世田谷区で電話地下ケーブル火災

年 号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
昭和60	1	・第6代消防長に組合助役 内田綱雄氏就任（事務取扱）				
	2	・消防本部に宮城県事業として、 防災無線端末局用 ファクシミリ装置を設置	2	・岩出山町字一栗一本杉畜舎 火災 焼損面積703㎡	2	・新潟県青梅町土砂崩れ 死者10名 負傷者4名 建物損壊7棟
	3	・消防本部通信指令室に消 防救急指令装置（C型） 1台増設 ・消防本部通信指令室に地 図検索装置（F100C）を 設置 ・古川消防署鹿島台分署、 鳴子消防署岩出山分署、 涌谷消防署小牛田分署、 同田尻出張所、中新田消 防署小野田出張所電話転 送装置を設置 ・消防本部通信指令室に119 番集中管理用無線指令起 動装置を設置 ・涌谷消防署の救急車更新 ・古川消防署荒谷機関員派 出所を廃止し、同所の普 通消防ポンプ車を予備車 として古川消防署に移管	3	・涌谷町字三十軒屋敷住宅火 災 焼損棟数3棟 焼損面積592㎡	5	・東京都目黒区柿の木板タン クローリー火災
	6	・119番集中管理運用開始	6	・中新田町四日市場字屋敷作 業所火災 焼損棟数6棟 焼損面積716㎡	7	・長野市地附山地滑り 死者26名
	9	・鳴子消防署岩出山分署の 水槽付消防ポンプ車更新 （日本損害保険協会より 寄贈）			8	・日航ジャンボ機墜落事故（ 群馬県上野村） 死者520名 負傷者4名
	11	・中新田消防署庁舎増改築 工事竣工			9	・メキシコ大地震 死者数千人以上
	12	・中新田消防署の救急車更 新（日本損害保険協会よ り寄贈）			11	・南米コロンビア火山大噴火 死者2万人以上
					12	・豪雪（61年3月まで） 死者90名 負傷者678名

年 号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
昭和61	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防本部に鳴子ダム放流伝達用ファクシミリ装置を設置</li> <li>定数条例252名に改定</li> </ul>	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>台風10号により鹿島台町の吉田川決壊、全町の約50%にあたる2,670haが冠水 死者1名 家屋冠水969棟、1,415世帯に避難勧告</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>静岡県熱川温泉大東館火災 死者24名 焼損面積1,461㎡</li> </ul>
	4				<ul style="list-style-type: none"> <li>神戸市 陽気寮火災 死者8名</li> </ul>	
	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>古川消防署鹿島台分署の水槽付消防ポンプ車更新</li> </ul>			8	<ul style="list-style-type: none"> <li>台風10号 死者20名 負傷者107名</li> </ul>
62	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>鳴子消防署岩出山分署の救急車更新（宮城県共済農協連合会より寄贈）</li> <li>古川消防署の救急車更新</li> <li>涌谷消防署田尻出張所の普通消防ポンプ車の更新</li> </ul>			3	<ul style="list-style-type: none"> <li>名取市東北自動車道多重衝突事故 死者1名 焼損車両13台</li> </ul>
					5	<ul style="list-style-type: none"> <li>東電大井火力発電所爆発火災 死者4名</li> </ul>
63		<ul style="list-style-type: none"> <li>中新田消防署色麻派出所の普通消防ポンプ車更新</li> <li>涌谷町篁岳無線通信所の制御器を消防本部指令室に移設</li> <li>古川消防署三本木派出所、松山派出所、中新田消防署宮崎派出所、色麻派出所、涌谷消防署南郷派出所に無線起動装置を設置</li> <li>第7代消防長に渡辺邦夫氏就任</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>鳴子町名生定住宅火災 死者1名 焼損133㎡</li> </ul>		
	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>鳴子町大口旅館・住宅火災 死者1名 焼損棟数4棟 焼損面積844㎡</li> </ul>			
			7	<ul style="list-style-type: none"> <li>中新田町字赤塚住宅火災 死者3名 焼損面積103㎡</li> </ul>	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>海上自衛隊潜水艦「なだしお」と釣り船「第1富士丸」衝突</li> </ul>
	4				12	<ul style="list-style-type: none"> <li>ソ連アルメニア共和国大地震 死者10万人</li> </ul>

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大 崎 の 主 な 火 災 と 災 害 等	月	全 国 の 主 な 火 災 と 災 害 等			
平成元	4	・第8代消防長に高橋仁一氏就任	4	・宮崎町孫沢, 住宅火災 4棟全半焼	6 7 8	・伊豆群発地震 ・伊豆半島東方河海底入火山噴火 ・台風11, 12, 13号及び熱帯低気圧による災害 ・東京都江東区28階建高層マンション24階から出火			
			5	・色麻町平沢, 住宅火災 3棟全半焼					
	8	・消防本部通信指令室に救急医療情報検索端末装置を設置							
	11	・古川消防署三本木派出所の普通消防ポンプ車更新(消防施設補助整備事業等) ・中新田消防署宮崎派出所の普通消防ポンプ車(4WD)更新							
	2	1	・古川消防署の救急車(4WD)更新(山之内製薬株式会社より寄贈)	11			・鹿島台町大迫川決壊床下浸水51棟	3	・尼崎市長崎屋火災 死者15名 負傷者6名
	3	3	・鳴子消防署庁舎新築工事竣工 ・鳴子消防署敷地内の消防訓練塔建築工事竣工(主塔は消防施設補助整備事業)	2			・岩出山町一票中学校火災 体育館747㎡全焼	2	・関西電力美浜原発2号機で冷却水漏れ事故
		6	・消防本部の防火広報車更新(日本防火協会より寄贈)	5			・涌谷町砂田, 住宅火災 6棟全半焼	3	・雲仙普賢岳噴火による火砕流災害, 死者41名
		8	・大崎地域広域行政事務組合創立20周年記念式典挙行						
		10	・涌谷消防署南郷派出所の普通消防ポンプ車更新(消防防災設備補助事業)						
	4	2	・涌谷消防署小牛田分署の救急車更新(日本損害保険協会より寄贈) ・古川消防署鹿島台分署の救急車更新(宮城県共済農業協同組合連合会より寄贈)	2			・東北自動車道玉突き事故(古川市塚目地内) 死者2名 負傷者27名		
		4	・第9代消防長に早坂千早氏就任 ・宮城県広域消防相互応援協定締結						



年 号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等	
平成4	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>古川消防署, 古川消防署 松山派出所の普通消防ポンプ車更新, 既存の同派出所の普通消防ポンプ車を予備車として古川消防署に移管</li> <li>消防本部通信指令室に宮城県総合防災情報システム端末設備を設置</li> <li>鳴子消防署の救急車更新 既存の救急車を予備車として古川消防署に移管</li> </ul>	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>鳴子町鳴子ホテル火災 551㎡部分焼 宿泊客325名無事避難</li> </ul>			
	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>第10代消防長に宍戸武氏 就任</li> </ul>	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>田尻町田尻, 住宅火災 9棟全半焼</li> </ul>			
			12	<ul style="list-style-type: none"> <li>小牛田町化粧坂, 住宅火災 3棟全半焼</li> </ul>			
	5				1	<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道釧路沖地震(M7.8) 死者2名 家屋全壊53棟</li> </ul>	
	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>第11代消防長に組合助役 青沼宏明氏就任(事務取扱)</li> </ul>	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>JR東北本線鹿島台野蒜踏切列車事故(救助救急出動) 死者3名</li> </ul>	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道南西沖地震(M7.8) 死者行方不明230名 家屋全壊601棟</li> </ul>	
			8	<ul style="list-style-type: none"> <li>岩出山町大学町, 作業所火災 2棟全半焼</li> </ul>	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成5年8月豪雨災害</li> </ul>	
			10		9	<ul style="list-style-type: none"> <li>台風13号による災害</li> </ul>	
			11				
			12				
	6	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>定数条例260名に改定</li> </ul>	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>台風26号増水による涌谷町三軒屋敷地内江合川決壊 警戒出動</li> </ul>	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>三陸はるか沖地震(M7.5) 死者3名 家屋全壊72棟</li> <li>福島県若喜旅館火災 死者5名 負傷者3名</li> </ul>
		12	<ul style="list-style-type: none"> <li>鳴子消防署の普通消防ポンプ車更新</li> <li>鳴子消防署の水槽付消防ポンプ車更新</li> </ul>				

年 号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等																																													
平成7	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 涌谷消防署の救急車更新 (宮城県共済農協連合会より寄贈)</li> <li>・ 中新田消防署の救急車更新</li> </ul>			1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 阪神淡路大震災, 震源地淡路島 死者6,430名 負傷者43,782名 地震による火災285件, 全半焼7,071棟, 避難者31万人 住家全壊104,900棟, 半壊144,255棟</li> </ul>																																													
							4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本署5救急隊専任化に伴う40名増員, 定数条例300名に改定</li> </ul>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 涌谷町吉住, 住宅火災 4棟全半焼</li> <li>・ 古川市七日町, 店舗併用住宅火災 焼損面積270㎡全焼</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東京都心地下鉄サリン事件</li> </ul>																																							
													7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鳴子消防署, 涌谷消防署の査察車更新</li> </ul>	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 涌谷町箕岳観光会館ホテル火災 宿泊客15名無事避難 焼損面積・延1,424㎡の内320㎡部分焼</li> </ul>																																			
																	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消防本部の指令車更新</li> </ul>	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宮崎町木船, 住宅火災 3棟全半焼</li> </ul>																															
																					9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緊急消防援助隊編成で救助部隊1隊登録, 消火部隊2隊登録</li> </ul>																													
																									10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 古川消防署の指揮車更新 (日本消防協会より寄贈)</li> </ul>																									
																													12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中新田消防署救急隊専任化</li> <li>・ 古川消防署の化学消防ポンプ車更新</li> </ul>																					
																																	8	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災倉庫竣工(救急消毒室併設)</li> </ul>																
																																						3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 涌谷消防署小牛田分署の水槽付消防ポンプ車更新</li> <li>・ 古川消防署の連絡車更新</li> <li>・ 古川消防署の救助工作車(Ⅱ型)をⅢ型に更新, Ⅱ型を鳴子消防署へ配置換え</li> <li>・ 財務会計電算システム導入, 端末機取付</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北海道豊浜トンネル落盤事故 死者20名</li> </ul>										
																																										4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 同上システム運用開始</li> </ul>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 三本木町蒜袋, 住宅等火災 6棟全焼</li> </ul>						
																																														7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部と消防相互応援協定締結</li> </ul>	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 岩出山町下山里, 住宅火災3棟全半焼</li> </ul>	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福岡空港ガルーダインドネシア航空機の離陸失敗炎上 死者3名 負傷者109名</li> </ul>

年 号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等			
平成8	8	・鳴子消防署の指揮車更新	8	・宮城県北部（鳴子町鬼首地区）地震 負傷者4名					
		・中新田消防署小野田出張所の指揮車更新		家屋半壊28世帯186名					
	10	・涌谷消防署救急隊専任化		家屋一部破損168世帯689名，路面の亀裂陥没，路肩崩壊・橋脚の亀裂等					
		・涌谷消防署の普通消防ポンプ車更新（日本損害保険協会より寄贈）既存の普通消防ポンプ車を予備車として古川消防署に移管	12	・中新田町下新田，住宅火災 4棟全半焼 傷者1名					
	9	2	・中新田消防署配置の普通消防ポンプ車更新（消防防災設備補助事業）				1	・ロシア船籍タンカーナホトカ号の座礁，大量の重油流出による日本海沿岸8府県に及ぶ広域海洋汚染	
		・中新田消防署の救急車を高規格救急車に更新（消防防災設備補助事業）既存の救急車を古川消防署（第2救急車）へ移管，古川第2救急車を予備車に配置換え							
		3	・消防本部庁舎構内に電話交換機更新（NTT，EP-17型）	4			・田尻町大貫，住宅等火災 5棟全焼	3	・動燃東海事業所施設内で爆発事故 被爆者数37名
			・古川消防署鹿島台分署の指揮車更新	6			・鹿島台町鶴田川，広長川大雨による堤防決壊2カ所，幹線道路欠損2カ所	6	・臓器移植法成立
				9			・鳴子町尿前地内登山遭難，傷者1名（県防災ヘリ出動）		
		10	・中新田消防署小野田出張所の普通消防ポンプ車更新（消防防災設備補助事業）	10			・小野田町漆沢，登山遭難，傷者2名（県防災ヘリ出動）		
		12	・鳴子消防署岩出山分署の普通消防ポンプ車更新（消防防災設備補助事業）	12			・小牛田町建物火災 死者2名 焼損面積201㎡ 3棟		
	10	3	・自動車，携帯電話からの119番受付業務を代表消防本部として開始（大崎，黒川，栗原ブロック）	4			・古川市きのこ工場工事現場火災 焼損面積13,225㎡		
	7	・鳴子消防署岩出山分署の指揮車更新 ・消防本部に資機材搬送車を整備	8	・鳴子町国立鳴子病院火災 死傷者13名					
			10	・古川市南町保育所火災 焼損面積310㎡					

年 号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等	
平成11	2	・鳴子消防署岩出山分署の救急車更新（宮城県共済農協連合会より寄贈）			2	・臓器移植法施行以来、初の脳死移植実施。	
	3	・涌谷消防署の救急車を高規格救急車に更新（山之内製薬㈱より寄贈）	3	・中新田町ソニー㈱中新田工場火災 焼損面積3,034㎡ 損害額36億4,100万円			
	4	・第12代消防長に組合助役千葉賢氏就任(事務取扱)			6	・古川市立病院において国内3例目の脳死判定が行われ、古川消防署救急隊により市内師山ヘリポートへ臓器の緊急搬送を実施。	
				7	・鹿島台町鶴田川決壊下志田地区一帯冠水300世帯に避難勧告	8	・トルコ北西部地震（M7.8） （日本から消防緊急援助隊派遣） 死者1,700人 負傷者24,900人 家屋被害180,300棟
	11	・鳴子消防署の救急車を高規格救急車に更新（消防防災設備補助事業） ・涌谷消防署小牛田分署の普通消防ポンプ車更新（消防防災設備補助事業）			9	・台湾中部地震（M7.7）（日本から消防緊急援助隊派遣） 死者2,400人 負傷者11,000人 家屋被害82,400棟 ・茨城県東海村核燃料加工会社JCO東海事業所で、日本初の臨界事故発生、社員80名以上が被爆	
	12				3	・営団地下鉄日比谷線で通勤電車が脱線、上り電車と衝突 死傷者69名 ・北海道有珠山が23年ぶりに噴火、その後三宅島の雄山等も噴火、全国的に火山活動が活発化	
				10	・中新田町南町地内7棟全半焼火災 焼損面積613㎡	9	・東海を中心に猛烈な豪雨、名古屋全域で3万棟超浸水（105名の死傷者）
				12	・東北自動車道玉突き事故（三本木町伊賀地内） 傷者21名 破損車両64台		

年 号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成13	3	・古川消防署高規格救急車更新（消防防災設備補助事業） ・古川消防署2B型救急車を高規格救急車に更新（消防防災設備補助事業）				
	4	・消防緊急通信指令システム整備（消防防災整備補助事業）				
	7	・鳴子消防署梯子車更新（消防防災整備補助事業）			7	・兵庫県明石市大蔵海岸朝霧歩道橋付近で将棋倒し事故 死傷者139名
	8	・小野田出張所2B型救急車配備（宮城県共済農業協同組合連合会寄贈）			9	・東京都新宿区歌舞伎町の雑居ビル「明星56ビル」火災 死者44名
	12	・中新田消防署災害対応特殊水槽付消防ポンプ車（消防防災整備補助事業）				
	14					
	4	・職員定数条例改正（消防職員338人）			3	・宮城県延岡市の旭化成工場 で火災 3,698世帯9,407名に避難勧告
	9	・田尻・三本木出張所へ2B型救急車配置	10	・小牛田町字桜木町で7棟を焼損する火災 焼失延面積447.77㎡	10	・三菱重工長崎造船所内で艤装工事中に豪華客船ダイヤモンドプリンセス号火災 総トン数113,000t
	11	・三本木防災センターに併設した三本木出張所開所 ・涌谷消防署災害対応特殊水槽付ポンプ車（消防防災整備補助事業）				
	15					
	3	・安田生命保険相互会社より寄贈された高規格救急車を小牛田分署に配置	3	・小牛田町北浦で金庫室に閉じ込められた2名の学生をダイヤモンドチェンソー等を活用し、107分後に救出		
	4	・旧中新田町、旧宮崎町旧小野田町が合併し、加美町が誕生した。 1市11町の構成市町となる。 ・小牛田・鹿島台分署へ救急救命士を配置	5	・宮城県沖を震源とする地震（5/26 18:24）発生 マグニチュード7.1震度6弱 大崎管内火災1件（東北電力（株）宮城変電所変圧器火災）	6	・兵庫県神戸市西区伊川谷町で発生した建物火災で消防職員13名が死傷
7	・鹿島台分署の2B型救急車を更新（宮城県補助整備事業）	7	・宮城県北部連続地震発生 1回目（7/26 0:13） マグニチュード5.6震度5強 2回目（7/26 7:13） マグニチュード6.4震度6強 3回目（7/26 16:56） マグニチュード5.5震度5強 〈7/26の地震による災害〉 大崎管内 罹災世帯数2,979、罹災人員8,883名、倒壊家屋 全壊102棟、半壊348棟、一部破損2,548棟	8	・三重県桑名郡多度町の三重ごみ固形燃料発電所でRDF貯蔵層から火災発生45日間に及ぶ消火活動消防職員2名死亡	
8	・三本木出張所へ連絡車を配置			9	・栃木県黒磯市ブリヂストン栃木工場で火災発生 40,885㎡のバンパリー工場 1棟全焼 工場付近7地区1,708世帯	
10	・岩出山分署災害対応特殊水槽付ポンプ車（消防防災整備補助事業）					

年 号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成15				火災2件（その他電柱1・ぼや建物収容物1） 救急15件 その他24件		5,032名に避難指示 ・十勝沖地震発生(9/26) マグニチュード8.0震度6弱 負傷者849名 火災4件のうち苫小牧市の出光興産で屋外タンク貯蔵所から火災発生
16	3	・大崎地域メディカルコントロール協議会設立				
	4	・初の女性消防士採用 ・岩出山分署へ救急救命士を配置	4	・加美町宮崎で4棟全焼火災発生 死傷者0 焼損面積678.8㎡ 第3出動15台(強風時) 放水台数5 放水口9		
	10	・岩出山分署の2B型救急車を更新(宮城県補助整備事業)			10	・新潟県中越地方を震源とする地震(10/23) マグニチュード6.8震度6強 死傷者1,239名 住宅損壊2,839棟 火災11件
					12	・インド洋スマトラ沖大地震(12/26) マグニチュード9
17	3	・消防LAN構築・ホームページ開設 <a href="http://oosakifire119.jp/">http://oosakifire119.jp/</a> ・鳴子消防署の救助工作車を廃車し、更新する消防ポンプ車へ救助資機材を搭載し救助ポンプ車として運用開始(宮城県補助整備事業)			3	・福島県西方沖を震源とする地震(3/20) マグニチュード7震度5弱 死傷者119名 住宅損壊121棟
	4	・第13代消防長に工藤司氏就任 ・大崎地域広域行政事務組合、大崎中央環境組合、大崎東部環境衛生事務組合、六の国環境衛生組合の4組合、更に古川市・松山町・涌谷町の各斎場が統合し、大崎地域広域行政事務組合としてスタートする。 ・各消防署の指揮体制を強化、指揮隊の配置	5	・古川市北宮沢地内にて建物及び山林の火災 山林1ha焼失(県防災ヘリ出動) ・加美町字鹿原白沼地内、山菜取遭難 死者1名(県防災ヘリ出動)	4	・兵庫県尼崎市JR福知山線列車事故 死者107名 負傷者549名
			8	・宮城県沖を震源とする地震(8/16) マグニチュード7.2震度6弱	10	・パキスタン北部で地震発生(10/8) マグニチュード7.6
					12	・山形県庄内町JR羽越線脱線事故(12/25) 死者5名 負傷者32名

年 号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成18	1	・旧小牛田町，旧南郷町が合併し美里町が誕生した1市10町の構成市町となる。			1	・長崎県大村市グループホームやすらぎの里で火災発生 死者7名 負傷者3名
	2	・古川消防署大型水槽車更新(宮城県補助整備事業) ・消防隊と救急隊の連携による活動開始(PA連携出動)				
	3	・旧古川市，旧松山町，旧三本木町，旧鹿島台町，旧岩出山町，旧鳴子町，旧田尻町が合併し，大崎市が誕生した。1市4町の構成市町となる。 ・大崎市誕生に伴い涌谷消防署田尻出張所を古川消防署田尻出張所に再編				
	4	・3交替制の勤務体制の試行				
			5	・色麻町大新焼切地内山林にて林野火災 約56a焼失(県防災ヘリ出動)	5	・インドネシア・ジャワ島中部地震及び津波発生 死者6,200名以上 負傷者1,800名以上
	7	・消防本部司令車を更新			6	・梅雨前線豪雨 死者30名 行方不明2名 負傷者81名 住家全半壊1,558棟
					9	・台風13号と豪雨による被害 死者9名 行方不明1名 住家全半壊448棟
					11	・北海道佐呂間町にて竜巻発生 死者9名 負傷者29名 住家全半壊14棟

年 号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等	
平成19	2	・古川消防署鹿島台分署の水槽付消防ポンプ車を小型動力ポンプ付水槽車に更新			1	・北海道北見市にてガス漏れ事故発生 3名死亡 付近住民77世帯178名に避難勧告 ・兵庫県宝塚市でカラオケボックス火災 死者3名 負傷者5名	
	3	・救急普及啓発広報車配備（財団法人救急振興財団・財団法人日本宝くじ協会寄贈） ・中新田消防署高規格救急車更新（国庫補助事業）	3	・大崎市鳴子で4棟を焼損する火災が発生 焼失面積1,520.79㎡	3	・能登半島地震発生 マグニチュード6.9震度6強 死者1名 負傷者193名 住家全壊68棟 住家半壊164棟	
	4	・指揮体制の効率的運用のため、消防本部指令課及び鳴子消防署に指揮隊を再編	4	・大崎市田尻大沢地内山林にて林野火災 約40a焼失（県防災ヘリ出動）			
	7	・中新田消防署・涌谷消防署の指揮車を更新	6	・大崎市鳴子温泉鬼首地区にてパラグライダー墜落事故 防災ヘリにより吊り上げ救出	7	・新潟県中越沖地震発生 マグニチュード6.8震度6強 死者15名 負傷者2,345名 住家全壊1,319棟 住家半壊4,764棟	
	11	・涌谷消防署高規格救急車更新（国庫補助事業）	10	・加美町字鹿原地内にて山岳遭難、防災ヘリによる救出			
			12	・加美町宮崎地区で4棟を焼損する火災が発生 死者5名 焼損面積335.72㎡			
	20	1	・中新田消防署の消防ポンプ車を救助ポンプ車に更新（市町村振興総合補助事業）				
		4	・第14代消防長に野田正志氏就任 ・3交替制の勤務体制の本実施 ・機構改革に伴う組織の改編を実施				
		7	・古川消防署・涌谷消防署の指揮車を更新	7	・(株)東北イノアック第二工場火災（建材製造課B棟） 焼損面積2,520.84㎡ 負傷者1名 損害額1億7,272万円	6	・平成20年岩手・宮城内陸地震発生 マグニチュード7.2震度6強 死者9名 行方不明者8名 負傷者180名 住家全壊・大規模半壊43棟 住家半壊112棟
					10	・大阪府大阪市浪速区で個室ビデオ店火災 死者15名 負傷者1名	



年 号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成21	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳴子消防署高規格救急車更新（施設整備事業）</li> <li>・中新田消防署小野田出張所の救急車を高規格救急車へ更新（防災基盤整備事業）</li> </ul>				
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・涌谷消防署の消防ポンプ車を救助ポンプ車に更新（施設整備事業・市町村振興総合補助事業）</li> </ul>				
	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第15代消防長に坂野裕悦氏就任</li> </ul>			5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型インフルエンザ(A/H1N1)流行</li> <li>5月に小規模な地域的流行を認めたのち、約3ヶ月の小康状態を経て、8月中旬より半年以上をかけて流行</li> </ul>
22	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中新田査察車を更新</li> </ul>				
	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三本木救急車及び田尻救急車を高規格救急車に更新（防災基盤整備事業）</li> </ul>	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大崎市古川千手寺町地区で7棟を焼損する火災が発生</li> <li>全焼4棟</li> <li>焼損延面積285.93㎡</li> <li>部分焼・ぼや3棟</li> <li>焼損表面積99.06㎡</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道札幌市北区でグループホーム火災</li> <li>死者7名</li> <li>負傷者2名</li> </ul>
	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・涌谷消防署、小牛田分署及び南郷派出所を統合し「遠田消防署」を開設（7/1）</li> </ul>	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大崎市鳴子温泉鬼首地区（鬼首地熱発電所）で火山性噴出発生</li> <li>死者1名</li> </ul>		
23	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠田査察車を更新</li> <li>・鹿島台救急車を高規格救急車に更新（日本損害保険協会より寄贈）</li> </ul>				
	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩出山救急車高規格救急車に更新（防災基盤整備事業）</li> <li>・遠田消防署に10t水槽車を配備</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【東日本大震災】平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震発生（3/11 14:46）</li> <li>〈大崎管内の状況〉管内最大震度6強</li> <li>死者6名</li> <li>負傷者378名</li> <li>住家全壊852棟、半壊3,647棟</li> <li>※大崎消防本部取りまとめ（平成23年12月26日現在）</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【東日本大震災】平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震発生（3/11 14:46）</li> <li>マグニチュード9 震度7</li> <li>死者19,533名</li> <li>行方不明者2,585名</li> <li>負傷者6,230名</li> <li>住家全壊121,768棟、半壊280,160棟、火災330件</li> <li>※消防庁災害対策本部取りまとめ（平成29年3月1日現在）</li> </ul>
	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第16代消防長に角田正一氏就任</li> <li>・中新田消防署及び色麻派出所を統合し「加美消防署」を開設（4/26）</li> </ul>				
	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・田尻連絡車、古川査察車鳴子査察車を更新</li> </ul>			8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・静岡県浜松市天竜川で遊覧船転覆事故</li> <li>死者5名</li> <li>負傷者5名</li> </ul>
	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古川救急1号車を更新（施設整備事業）</li> </ul>				

年 号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成24	4	・古川消防署鹿島台分署及び松山派出所を統合し「古川消防署志田分署」を開設（4/27）			5	・広島県福山市でホテル火災 死者7名 負傷者3名
	11	・古川救急2号車を更新（施設整備事業）			9	・兵庫県姫路市で製造所爆発火災 死者1名（消防吏員） 負傷者36名
25	2	・鳴子消防署岩出山分署新庁舎を開設（2/14） ・田尻ポンプ車を更新（施設整備事業・市町村振興総合補助事業） ・遠田連絡車、小野田連絡車を更新			12	・山梨県中央自動車道笹子トンネル崩落事故 死者9名 負傷者2名
	3	・遠田救急1号車を更新（JA共済連より寄贈） ・尾花沢市消防本部と消防相互応援協定締結			2	・長崎県長崎市でブルーホーム火災 死者5名 負傷者7名
	4	・第17代消防長に北舘善裕氏就任 ・消防救急デジタル無線システム及び高機能消防指令システム整備（平成23年度消防防災施設・設備災害復旧費補助事業）				
	7	・消防本部連絡車を更新			8	・京都府福知山市で花火大会火災 死者3名 負傷者56名
	10	・古川連絡車、志田連絡車、岩出山連絡車を更新			10	・福岡県福岡市で整形外科火災 死者10名 負傷者5名
26					12	・千葉県野田市で廃油再生工場爆発火災 死者2名 負傷者15名
	2	・加美消防署小野田出張所及び宮崎派出所を統合し「加美消防署西部分署」を開設（2/21）			1	・三重県四日市市で工場爆発事故 死者5名 負傷者13名

年 号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成26	2	・加美消防署西部分署に水槽付消防ポンプ車を新規配備（緊急防災・減災事業債及び市町村振興総合補助事業）	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加美町字下原地区で7棟を焼損する火災が発生 全焼5棟 焼損延面積497㎡ 部分焼2棟 焼損表面積48㎡</li> <li>・加美町字北原地区で8棟を焼損する火災が発生 全焼5棟 焼損延面積280㎡ 部分焼3棟 焼損表面積2㎡</li> <li>・大崎市田尻蕪栗地区で6棟を焼損する火災が発生 全焼5棟 焼損延面積652㎡ 部分焼1棟 焼損表面積64㎡</li> </ul>	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8月豪雨による広島市の土砂災害 死者74名（内消防吏員1名） 負傷者69名</li> </ul>
					9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・御嶽山噴火災害 死者57名 負傷者69名</li> </ul>
	12	・鳴子消防署の水槽付消防ポンプ車を更新（緊急防災・減災事業債）			11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長野県北部を震源とする地震 マグニチュード6.7 震度6弱 死者なし 負傷者46名 住家全壊50棟、半壊91棟</li> </ul>
平成27			1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大崎市田尻北小牛田地区で6棟を焼損する火災が発生 全焼5棟、半焼1棟 焼損延面積649㎡</li> </ul>		
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古川消防署田尻出張所を分署に格上げし「古川消防署田尻分署」を開設（2/17）</li> <li>・古川消防署田尻分署に水槽付消防ポンプ車を新規配備（緊急防災・減災事業債）</li> </ul>				
	4	・第18代消防長に大久保記一朗氏就任			5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川崎市簡易宿泊所火災 死者10名 負傷者18名</li> </ul>
	7	・田尻連絡車を緊急車登録車両に更新				

年 号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成27			9	<ul style="list-style-type: none"> <li>【平成27年9月関東・東北豪雨】 〈大崎管内の状況〉 負傷者1名 床上・床下浸水784棟 救助事案16件 その他災害事案36件 合計249名救出</li> </ul>	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>【平成27年9月関東・東北豪雨】 平成27年9月9日から11日に 関東及び東北地方で発生した 豪雨災害 死者8名 負傷者80名</li> </ul>
平成28	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>古川化学消防ポンプ車を 更新（施設整備事業）</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>加美町宮崎で4棟を焼損する 火災が発生 全焼2棟、部分焼2棟 焼損延面積578㎡</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年熊本地震 マグニチュード7.3（暫定値） 震度7 死者228名 負傷者2,753名 住家全壊8,697棟 半壊34,037棟 火災15件 ※消防庁災害対策本部取り まとめ（平成29年4月13日現 在）</li> </ul>
	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急消防援助隊宮城県大 隊として初めて出動（平成 28年台風第10号 岩手県下 閉伊郡岩泉町）</li> </ul>	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>東北自動車道3箇所です同時発 生玉突き事故（栗原市高清水 地内〔大崎消防管轄区域〕） 負傷者14名 破損車両15台</li> </ul>	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年台風第10号 東北地方の太平洋側に初め て上陸した台風 1時間雨量80mm 最大瞬間風速37.7m 死者23名 行方不明者4名 負傷者14名 住家全壊513棟 半壊2,280棟</li> </ul>
	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>加美消防署高規格救急自 動車を更新（緊急防災・減災 事業債）</li> <li>三本木出張所消防ポンプ 自動車を更新（施設整備事 業・市町村振興総合補助事 業）</li> </ul>			12	<ul style="list-style-type: none"> <li>新潟県 糸魚川市大規模火災 負傷者17名 焼損棟数147棟 焼失面積約40,000㎡ 焼損床面積30,412㎡</li> </ul>
平成29	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>三本木出張所の救急隊を 専従化し消防体制を強化</li> </ul>			2	<ul style="list-style-type: none"> <li>埼玉県三芳町（アスクル）倉庫 火災 負傷者2名 焼損床面積45,000㎡</li> </ul>

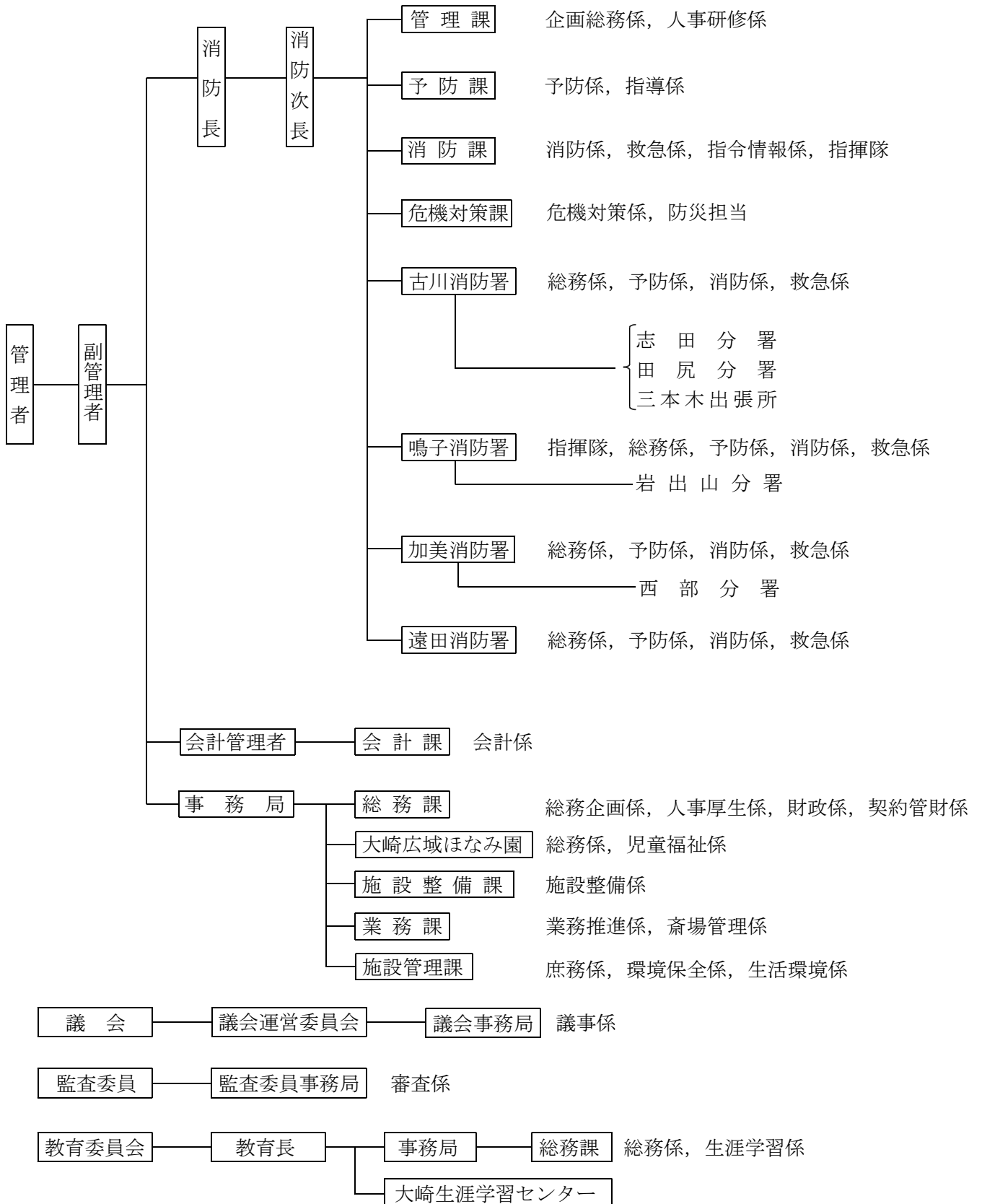
大崎地域広域行政事務組合構成市町の面積・世帯・人口

(平成29年4月1日現在)

市 町		区 別	面 積 (Km <sup>2</sup> )	世帯数	人 口 (人)
大 崎 市			796.76	50,832	132,878
加 美 郡	色 麻 町		109.28	2,104	7,086
	加 美 町		460.67	8,093	24,071
	小 計		569.95	10,197	31,157
遠 田 郡	涌 谷 町		82.08	6,069	16,728
	美 里 町		74.90	9,010	24,834
	小 計		156.98	15,079	41,562
合 計			1,523.69	76,108	205,597

※ 構成市町への照会による統計

# 大崎地域広域行政事務組合機構図



# 消防本部事務分掌

## 管理課

### 企画総務係

- 1 事務の総合調整及び連絡に関すること。
- 2 消防業務の総合計画，調整及び改善に関すること。
- 3 条例，規則及び訓令の制定改廃に関すること。
- 4 儀式，行事及び交際に関すること。
- 5 予算の執行に関すること。
- 6 公印に関すること。
- 7 消防関係財産の取得，管理及び契約に関すること。
- 8 給与品，貸与品の支給及び保管に関すること。
- 9 庁用物品の調達，検収及び処分に関すること。
- 10 庁内取締りに関すること。
- 11 事務監察に関すること。
- 12 消防概況に関すること。
- 13 他の課の所管に属さない事項に関すること。

### 人事研修係

- 1 職員の任免，分限，懲戒，服務及び賞罰その他身分に関すること。
- 2 職員の給与，勤務時間及び勤務条件に関すること。
- 3 職員の福利厚生及び健康管理に関すること。
- 4 職員の公務災害補償に関すること。
- 5 職員の研修計画及び実施に関すること。
- 6 各種表彰に関すること。

### 施設整備担当

- 1 消防本部の施設整備に関すること。

## 予防課

### 予 防 係

- 1 危険物の規制に関すること。
- 2 消防用設備等の規制に関すること。
- 3 建築物の建築確認に関すること。
- 4 防火管理者及び防災管理者に関すること。
- 5 火災予防条例に関すること。
- 6 液化石油ガス等に関すること。  
(権限移譲事務を含む。)
- 7 火薬類取締法に関すること。  
(権限移譲事務に限る。)
- 8 民間防火組織の育成に関すること。
- 9 その他火災予防対策に関すること。

### 指 導 係

- 1 予防査察に関すること。
- 2 危険物に係る事故調査に関すること。
- 3 違反処理における行政指導に関すること。
- 4 その他防火思想の普及に関すること。

## 消防課

### 消 防 係

- 1 災害の警戒及び防ぎよに関する事。
- 2 消防水利に関する事。
- 3 消防隊の運用に関する事。
- 4 救助隊の運用に関する事。
- 5 火災原因及び損害の調査に関する事。
- 6 り災証明等に関する事。
- 7 消防機械器具及び消防用車両の管理に関する事。
- 8 消防機械器具及び消防用車両の配置計画に関する事。
- 9 航空消防に関する事。
- 10 その他警防に関する事。

### 救 急 係

- 1 救急隊の運用に関する事。
- 2 救急対策に関する事。
- 3 救急技術に関する事。
- 4 救急資器材の管理に関する事。
- 5 医療機関等との連絡調整に関する事。
- 6 民間による患者等搬送事業に関する事。
- 7 応急手当普及啓発に関する事。
- 8 その他救急に関する事。

## 危機対策課

### 危機対策係

- 1 消防団との連携に関する事。
- 2 消防本部と市町間の危機管理等の調整に関する事。
- 3 国民保護に関する事。
- 4 危機管理事案の調査研究に関する事。
- 5 職員に対する危機管理に関する事。
- 6 消防協会の事務に関する事。
- 7 その他危機対策に関する事。

### 指令情報係

- 1 消防通信設備等の総合企画調整に関する事。
- 2 災害発生通報の受付及び出動指令に関する事。
- 3 災害通信の運用、通信統制に関する事。
- 4 消防情報の支援、収集及び連絡調整、伝達に関する事。
- 5 非常災害時における通信対策等に関する事。
- 6 消防通信設備の保守管理に関する事。
- 7 災害に関する統計に関する事。
- 8 電子計算機等のデータ処理及び管理に関する事。
- 9 気象観測及び記録に関する事。
- 10 消防OA・消防LANの運用及び維持管理に関する事。
- 11 その他指令情報に関する事。

### 指 揮 隊

- 1 災害現場の活動の統括管理に関する事。
- 2 災害現場の情報・安全管理に関する事。

### 防 災 担 当

- 1 消防本部災害対応と市町の地域防災計画との調整に関する事。
- 2 緊急消防援助隊に関する事。
- 3 消防相互応援協定に関する事。
- 4 構成市町災害対策本部との調整に関する事。
- 5 自主防災組織の育成強化に関する事。
- 6 その他防災に関する事。



# 消防署事務分掌

## 総務係

- 1 署の運営に関すること。
- 2 文書の收受発送に関すること。
- 3 署員の配置，進退，賞罰及び身分に関する  
こと。
- 4 署内における各種会議に関すること。
- 5 統計に関すること。
- 6 署員の福利厚生に関すること。
- 7 署員の研修に関すること。
- 8 署員の勤務，服務に関すること。
- 9 経理に関すること。
- 10 物品の出納保管に関すること。
- 11 消防庁舎の維持管理に関すること。
- 12 他の係の分掌に属さない事項。

## 予防係

- 1 危険物の規制に関すること。
- 2 消防用設備等の規制に関すること。
- 3 建築物の建築確認に関すること。
- 4 火災予防条例に関すること。
- 5 液化石油ガス等に関すること。  
(権限移譲事務を含む。)
- 6 火薬類取締法に関すること。  
(権限移譲事務に限る。)
- 7 予防査察に関すること。
- 8 違反処理における行政指導に関すること。
- 9 危険物に係る事故調査に関すること。
- 10 防火防災管理及び危険物の取扱いに関する  
こと。
- 11 民間防火組織の育成指導に関すること。
- 12 その他火災予防の計画，指導及び取締り等  
に関すること。

## 消防係

- 1 火災等の警防及び対策に関すること。
- 2 消防水利に関すること。
- 3 消防通信に関すること。
- 4 消防演習計画に関すること。
- 5 自衛消防隊に関すること。
- 6 避難訓練等の指導に関すること。
- 7 消防機械器具の維持管理に関すること。
- 8 火災原因及び損害調査に関すること。
- 9 り災証明等に関すること。
- 10 火災統計に関すること。
- 11 消防団との連携に関すること。
- 12 自主防災組織の育成強化に関すること。
- 13 救助業務に関すること。
- 14 その他警防及び機械に関すること。

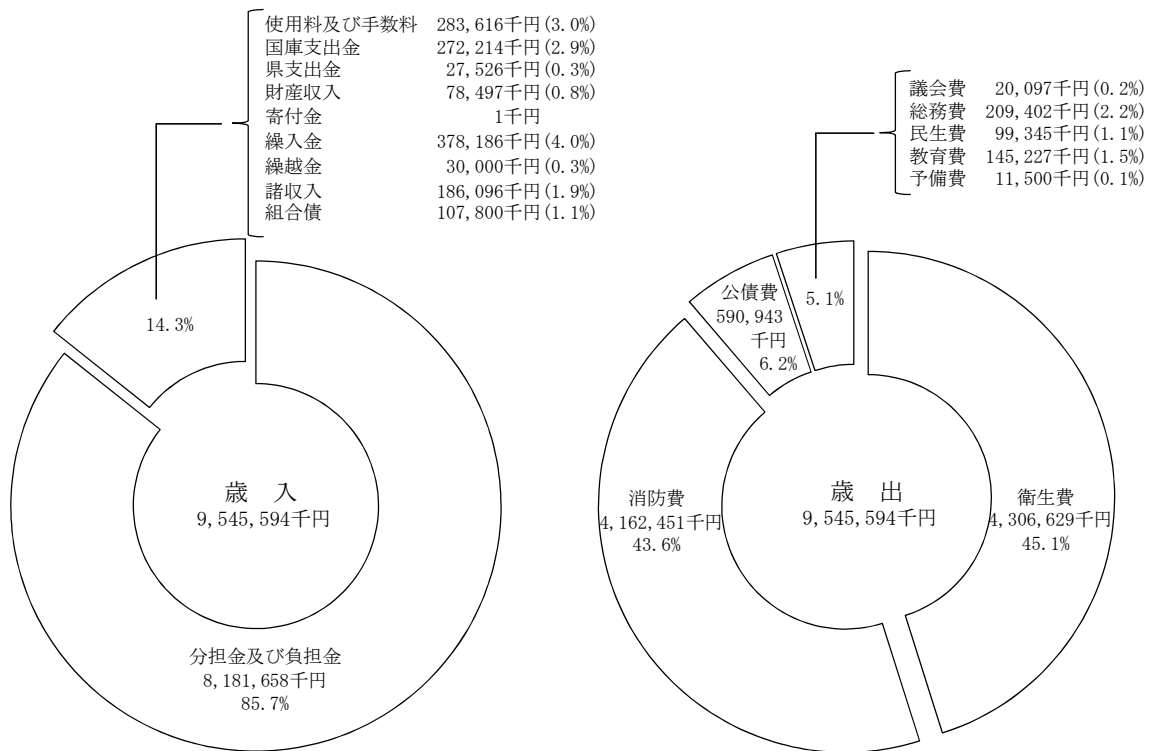
## 救急係

- 1 救急対策に関すること。
- 2 救急技術の訓練指導に関すること。
- 3 救急資器材の管理に関すること。
- 4 医療機関等との連絡調整に関すること。
- 5 民間による患者等搬送事業に関すること。
- 6 救急統計に関すること。
- 7 その他救急に関すること。

## 指揮隊

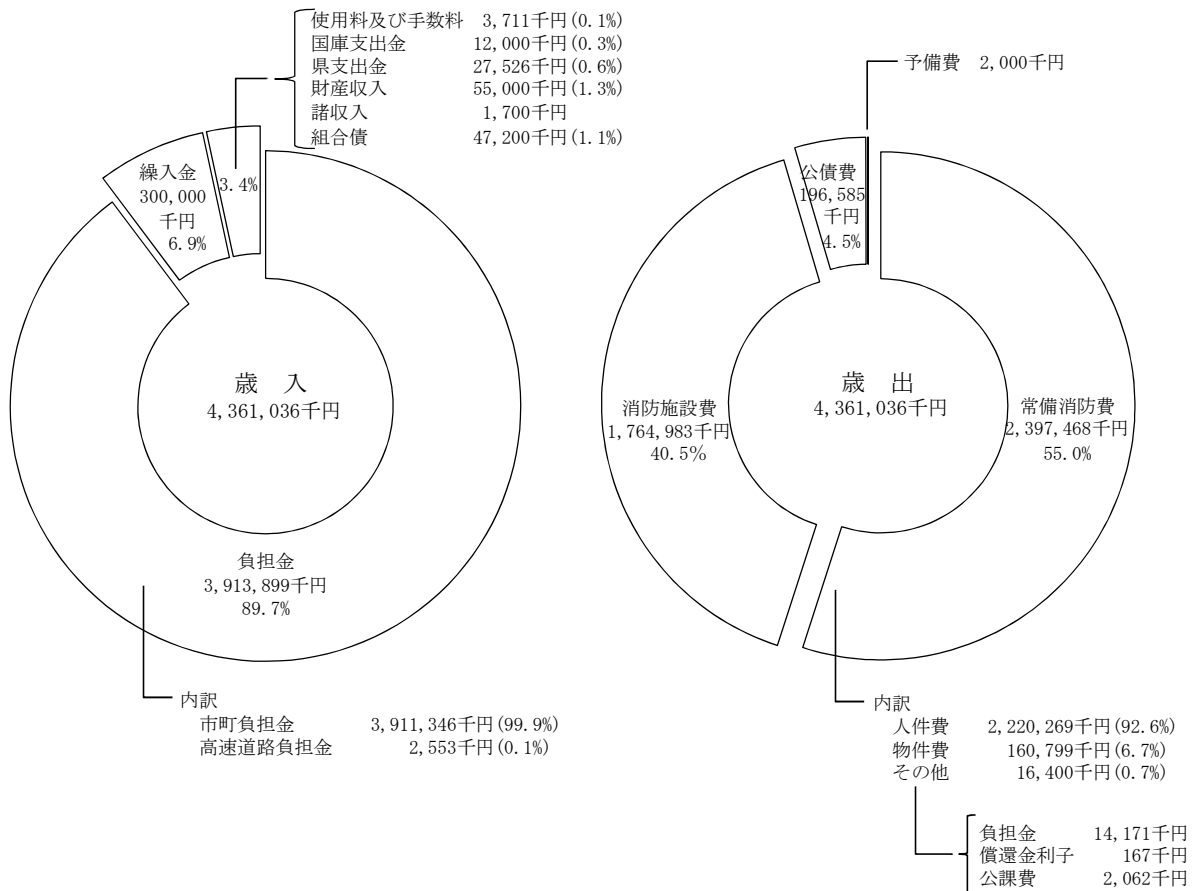
- 1 災害現場での安全管理
- 2 現場最高指揮者に対する指揮支援
- 3 活動方針及び部隊の増強に関する現場最高  
指揮者に対する進言
- 4 部隊管理
- 5 災害に関する高度な情報収集
- 6 現場本部開設及び閉鎖
- 7 引き揚げ時の情報引き継ぎ

# 平成29年度 大崎地域広域行政事務組合一般会計予算概要



## 平成29年度 消防費当初予算

※この消防費には、消防事業分の公債費、予備費を含む。



## 施設（消防庁舎等）の現況

平成29年4月1日現在

区分	所在地	建物区分	構造	階数	面積		敷地面積 m <sup>2</sup>	設置 年度
					建築面積 m <sup>2</sup>	延面積 m <sup>2</sup>		
消防本部 古川消防署	大崎市古川 北町三丁目2-20	庁舎	鉄筋コンクリート	3	984.28	2,783.14	3,253.73	S53
		主訓練塔	鉄骨	5	16.00	80.00		S54
		副訓練塔	鉄骨	2	16.00	32.00		S54
		消防防災資器材保管倉庫	木造	2	49.67	99.34		H7
		計				1,065.95		2,994.48
古川消防署 志田分署	大崎市鹿島台 木間塚字小谷地269-1	庁舎	鉄骨	2	526.67	672.32	1,726.17	H24
古川消防署 田尻分署	大崎市田尻 沼部字新堀137-2	庁舎	鉄骨	1	640.39	626.36	1,611.87	H26
古川消防署 三本木出張所	大崎市三本木 字廻山65	庁舎	鉄骨・モルタル	1	231.52	231.52	3,249.67	H14
鳴子消防署	大崎市鳴子温泉 字馬場70-2	庁舎	鉄筋コンクリート	2	563.04	725.76	2,804.00	H2
		主訓練塔	鉄筋コンクリート	5	39.51	156.00		H2
		副訓練塔	鉄骨	2	33.07	54.08		H2
		計				635.62		935.84
鳴子消防署 岩出山分署	大崎市岩出山 上野目字街道下12-3	庁舎	鉄骨	2	520.05	653.23	2,203.33	H24
		除雪車車庫	鉄骨	1	16.34	16.34		H25
		計				536.39		669.57
加美消防署	加美郡加美町 字新川原106	庁舎	鉄骨	2	738.18	1,123.01	9,136.03	H23
		主訓練塔	鉄筋コンクリート	3	123.25	341.19		H23
		副訓練塔	鉄骨	2	75.58	120.00		H23
		駐輪場	鉄骨	1	11.52	11.52		H23
		計				948.53		1,595.72
加美消防署 西部分署	加美郡加美町 字原町南百ヶ清水30-7	庁舎	鉄骨	2	462.53	658.96	1,942.93	H25
		除雪車車庫	鉄骨	1	16.48	16.48		H25
		計				479.01		675.44
遠田消防署	遠田郡涌谷町 字関谷沖名303-1	庁舎	鉄骨	2	919.48	1,410.33	7,259.78	H22
		訓練塔A	鉄筋コンクリート	3	50.20	150.00		H22
		訓練塔B	鉄骨	5	69.27	216.40		H22
		訓練塔C	鉄骨	3	183.79	414.85		H22
		駐輪場	その他	1	11.34	11.34		H22
		計				1,234.08		2,202.92
岩渕基地局	大崎市鳴子温泉 字岩渕8, 字大畑37の一部	局舎	鉄骨	1	9.88	9.88	162.41	H24
鬼首基地局	大崎市鳴子温泉 鬼首字八幡原34-1の一部	局舎	鉄骨	1	9.88	9.88	112.00	H24
菓菜基地局	加美郡加美町 字味ヶ袋菓菜原1-79の一部	局舎	鉄骨	1	9.88	9.88	112.00	H24
篋岳基地局	遠田郡涌谷町 篋岳字神楽岡51-2の一部	局舎	鉄骨	1	9.88	9.88	150.01	H24

## 消防力の整備指針と現有消防力

平成29年4月1日現在

	区 分	基 準	現 有	過不足数	充 足 率
	署 所 の 数	10	9	△ 1	90.0%
車 両	指 揮 車	4	4	0	100.0%
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	17	17	0	100.0%
	は し ご 車	2	2	0	100.0%
	化 学 消 防 車	1	1	0	100.0%
	救 急 自 動 車	11	11	0	100.0%
	救 助 工 作 車	1	1	0	100.0%
	非 常 用 消 防 ポ ン プ 自 動 車	2	2	0	100.0%
	非 常 用 救 急 自 動 車	2	2	0	100.0%
	特 殊 車 等	/	13	13	/
	計	40	53	13	/
人 員	警 防 要 員	316	256	△ 60	81.0%
	予 防 要 員	24	12	△ 12	50.0%
	通 信 要 員	10	9	△ 1	90.0%
	庶 務 の 要 員	38	40	2	105.3%
	計	388	317	△ 71	81.7%

※基準については、平成27年度消防施設整備計画実態調査に基づき算出したものである。

※署所の不足数は、大崎市古川市街地分である。

※特殊車等の現有内訳は、司令車1台、資機材搬送車1台、大型水槽車3台、支援車8台である。

※警防要員の基準は、消防隊員、救急隊員、救助隊員、指揮隊員数の合計である。

※庶務の要員は、管理職、本部及び各署日勤(予防要員除く)、派遣・出向職員数である。

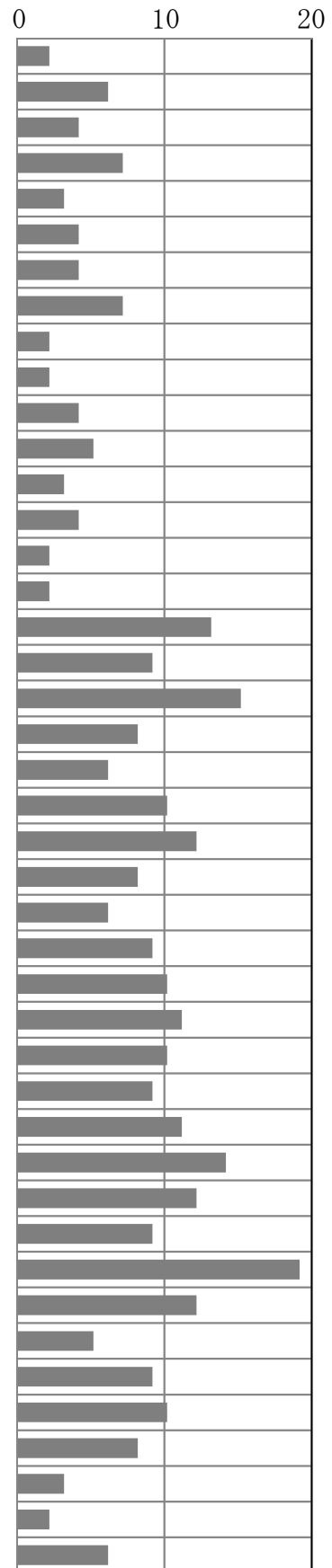
所屬別・階級別配置状況

平成29年4月1日現在

		正監	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	事務吏員	計	毎日勤務	交代制勤務
消防本部	消防長	1									1	1	
	次長		1								1	1	
	管理課			2	2	1	1				6	6	
	(派遣)		1			5	1				7	7	
	予防課			2	1						3	3	
	消防課			2	2						4	4	
	(通信指令センター)				3	3	3				9		9
	(指揮隊)				3	3	3				9		9
	(派遣)					1					1	1	
	危機対策課			2		1					3	3	
小計	1	2	8	11	14	8	0	0	0	44	26	18	
古川消防署		1	1	7	12	16		20		57	9	48	
志田分署			1		6	7		6		20	2	18	
田尻分署			1		6	7		6		20	2	18	
三本木出張所				1	6	4		6		17	2	15	
小計	0	1	3	8	30	34	0	38	0	114	15	99	
鳴子消防署			2	10	7	6		14		39	4	35	
岩出山分署			1		6	7		6		20	2	18	
小計	0	0	3	10	13	13	0	20	0	59	6	53	
加美消防署			2	6	8	9		12		37	4	33	
西部分署			1		6	7		6		20	2	18	
小計	0	0	3	6	14	16	0	18	0	57	6	51	
遠田消防署			2	6	8	12		15		43	4	39	
小計	0	0	2	6	8	12	0	15	0	43	4	39	
合計	1	3	19	41	79	83	0	91	0	317	57	260	
備考	<p>1 派遣職員8名の内訳は、総務省1名、宮城県消防課1名、宮城県消防学校2名、防災ヘリ1名、大崎市2名、事務局1名である。(管理課7名・消防課1名)</p> <p>2 新規採用職員11名の内訳は、古川消防署3名、鳴子消防署2名、加美消防署3名、遠田消防署3名である。</p>												

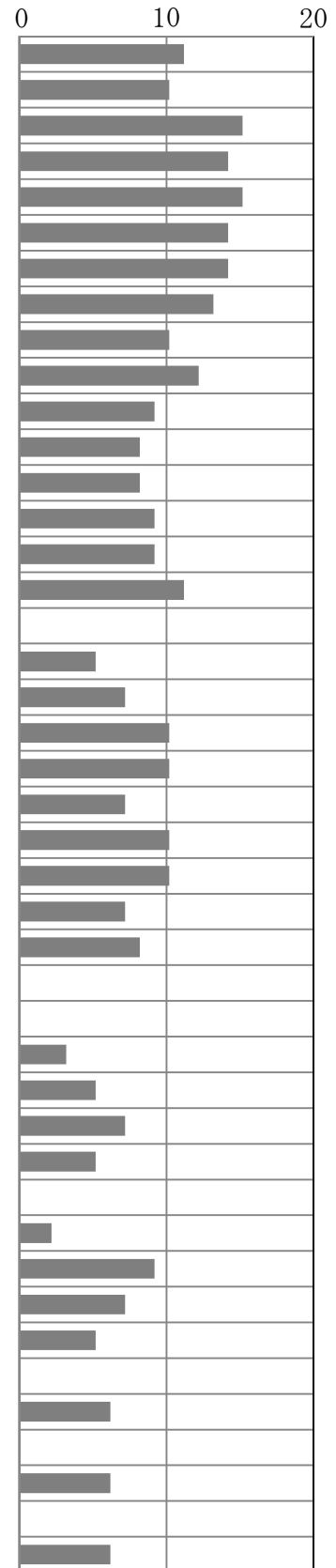
階級・年齢・退職年度別構成表（平成29年4月1日）

退職年	年齢	消防正監	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	総計
H29年度	59		1		1					2
H30年度	58	1		3	1	1				6
H31年度	57		1	1	2					4
H32年度	56		1	3	2	1				7
H33年度	55			2		1				3
H34年度	54			2	2					4
H35年度	53				2	2				4
H36年度	52			4	1	2				7
H37年度	51			1	1					2
H38年度	50				2					2
H39年度	49			1	1	2				4
H40年度	48			1	4					5
H41年度	47				3					3
H42年度	46			1	2	1				4
H43年度	45				1	1				2
H44年度	44					2				2
H45年度	43				1	8	4			13
H46年度	42				4	2	3			9
H47年度	41				5	6	4			15
H48年度	40				2	3	3			8
H49年度	39					5	1			6
H50年度	38				2	6	2			10
H51年度	37				1	8	3			12
H52年度	36				1	5	2			8
H53年度	35					4	2			6
H54年度	34					5	4			9
H55年度	33					5	5			10
H56年度	32					3	7	1		11
H57年度	31						8	2		10
H58年度	30					2	7			9
H59年度	29						7	4		11
H60年度	28						8	6		14
H61年度	27						4	8		12
H62年度	26						4	5		9
H63年度	25						2	17		19
H64年度	24						1	11		12
H65年度	23							5		5
H66年度	22							9		9
H67年度	21							10		10
H68年度	20							8		8
H69年度	19							3		3
H70年度	18							2		2
再任用						4	2			6
総計		1	3	19	41	79	83	0	91	317

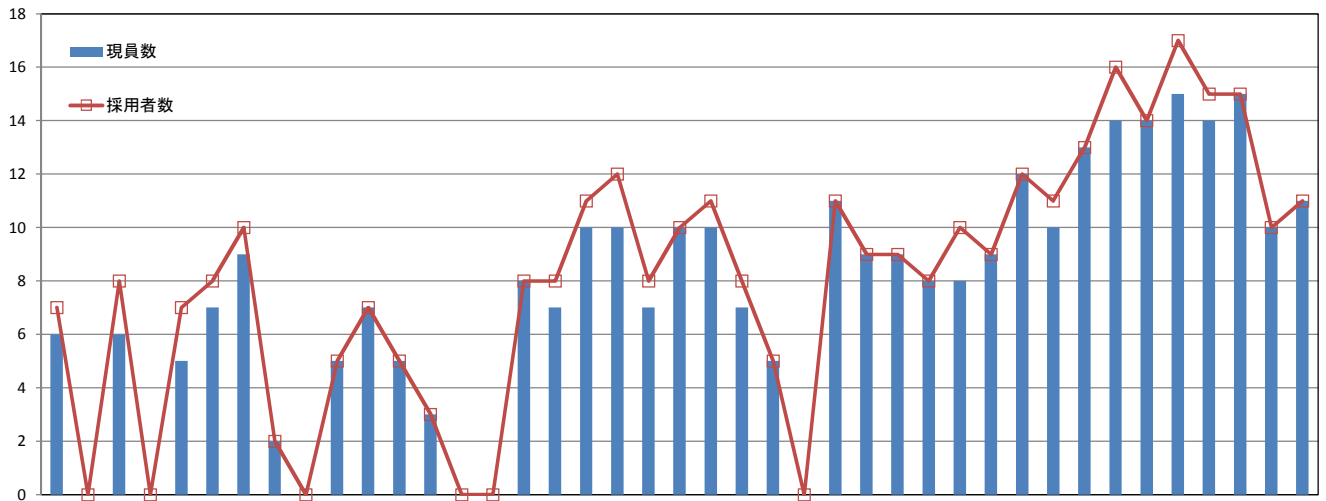


勤続年数別構成表（平成29年4月1日）

勤続年数	消防正監	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	総計
0								11	11
1								10	10
2								15	15
3								14	14
4								15	15
5						3		11	14
6						8		6	14
7						10		3	13
8					1	5		4	10
9						11		1	12
10					1	7		1	9
11					3	5			8
12					3	5			8
13					5	4			9
14					8	1			9
15					9	2			11
16									0
17				1	3	1			5
18				4	2	1			7
19				1	6	3			10
20				5	3	2			10
21				3	3	1			7
22				2	6	2			10
23			1	1	3	5			10
24				1	3	3			7
25					6	2			8
26									0
27									0
28				2	1				3
29				5					5
30			1	5	1				7
31			1	3	1				5
32									0
33			1	1					2
34			7		2				9
35		1	2	1	3				7
36	1		2	2					5
37									0
38		1	2	2	1				6
39									0
40		1	2	2	1				6
41									0
再任用					4	2			6
総計	1	3	19	41	79	83	0	91	317

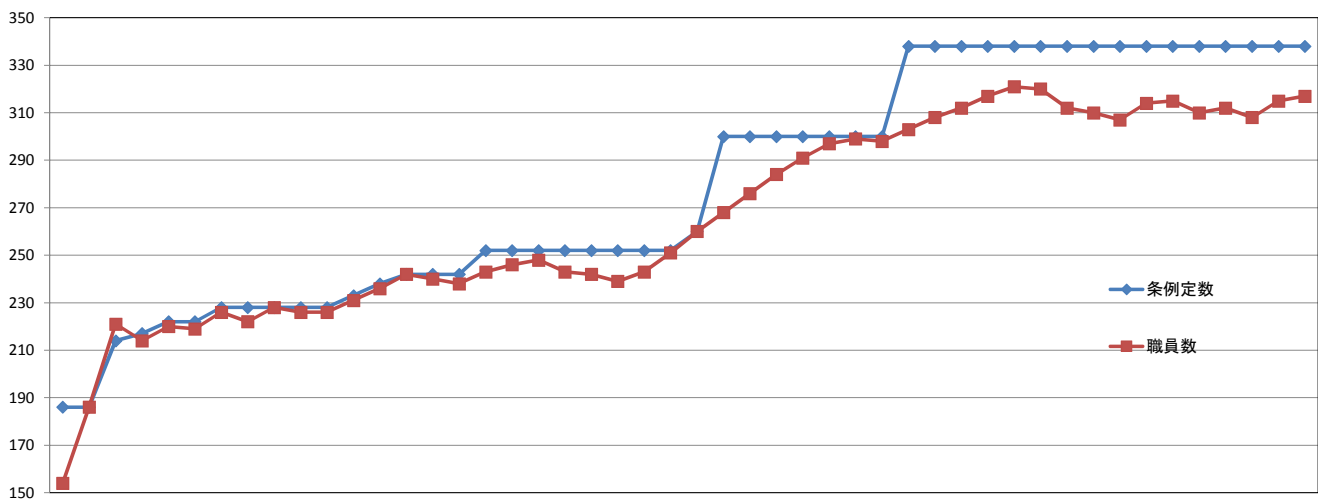


## 年度別消防吏員採用数と採用年度別職員現員数



年度	S52年度	S53年度	S54年度	S55年度	S56年度	S57年度	S58年度	S59年度	S60年度	S61年度	S62年度	S63年度	H元年度	H2年度	H3年度	H4年度	H5年度	H6年度	H7年度	H8年度	H9年度	H10年度	H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
採用者数	7	0	8	0	7	8	10	2	0	5	7	5	3	0	0	8	8	11	12	8	10	11	8	5	0	11	9	9	8	10	9	12	11	13	16	14	17	15	15	10	11
現員数	6	0	6	0	5	7	9	2	0	5	7	5	3	0	0	8	7	10	10	7	10	10	7	5	0	11	9	9	8	8	9	12	10	13	14	14	15	14	15	10	11

## 職員数と条例定数の推移



年度	S45年度	S46年度	S47年度	S48年度	S49年度	S50年度	S51年度	S52年度	S53年度	S54年度	S55年度	S56年度	S57年度	S58年度	S59年度	S60年度	S61年度	S62年度	S63年度	H元年度	H2年度	H3年度	H4年度	H5年度	H6年度	H7年度	H8年度	H9年度	H10年度	H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
条例定数	186	186	214	217	222	222	228	228	228	228	228	233	238	242	242	242	252	252	252	252	252	252	252	252	260	268	276	284	291	297	299	300	300	303	308	308	312	317	321	320	312	310	307	314	315	310	312	308	315	317
職員数	154	186	221	214	220	219	226	222	228	226	226	231	236	242	240	238	243	246	248	243	242	239	243	251	260	268	276	284	291	297	299	300	303	308	308	312	317	321	320	312	310	307	314	315	310	312	308	315	317	

※職員数には、再任用職員を含む。





警

防



## 災害出動計画基準表

災害種別(火災)

平成29年4月1日現在

出動計画 区分		出動区分・車両数				摘要
		車 両	第1出動	第2出動	第3出動	
建 物	普通建物 <small>(中高層及び大規模 建物以外の建物)</small>	指揮車	1			
		ポンプ車・タンク車	5	2	2	
		水槽車	1			
		救急車	1	1		
		計	8	3	2	
	中高層建物 <small>(3階以上の建物)</small>	指揮車	1			
		ポンプ車・タンク車	7	2	2	
		水槽車	1			
		はしご車	1	1		
		工作車		1		
		救急車	2	1	1	
		計	12	5	3	
	大規模建物 <small>(建物延べ面積1,000㎡ 以上の建物)</small>	指揮車	1			
		ポンプ車・タンク車	7	2	2	
		水槽車	1			
		工作車		1		
		救急車	2	1	1	
		計	11	4	3	
林 野		指揮車	1			
		ポンプ車・タンク車	5	2	2	
		水槽車	1			
		計	7	2	2	
車 両		指揮車	1			
		ポンプ車・タンク車	3	2	2	
		救急車	1	2	2	
		化学車	危険物関係車両火災時特命出動			
		計	5	4	4	
危険物施設等 <small>(特殊災害)</small>		指揮車	1			
		ポンプ車・タンク車	7	2	2	
		水槽車	1			
		化学車	1			
		工作車		1		
		救急車	2	2	2	
		計	12	5	4	
そ の 他		指揮車	1			
		ポンプ車・タンク車	3	2	2	
		計	4	2	2	

災害種別(救急)

区分	出動計画	出動区分・車両数			摘要
		車両	第1出動	第2出動	
救急	救急車	1	1		同一救急に3隊以上の出動は消防長特命出動とする。
	計	1	1		

災害種別(救急救助)

区分	出動計画	出動区分・車両数			摘要
		車両	第1出動	第2出動	
救急救助	指揮車	1			
	ポンプ車・タンク車	1	1		
	工作車	1	1	1	
	救急車	1	2	3	
	計	4	4	4	

災害種別(その他)

区分	出動計画	出動区分・車両数			摘要
		車両	第1出動	第2出動	
その他災害	ポンプ車・タンク車	1	1		
	計	1	1		
地震災害	ポンプ車・タンク車	1	1		
	工作車	1	0		
	救急車		1		
	計	2	2		

# 非常配備体制

平成29年4月1日現在

種 別 課・署所別		規程第16条の非常配備基準 (日勤時は、日勤者を優先して配備する)			非常災害警防 活動実施命令 (第52条)	
		第一次非常配備	第二次非常配備	第三次非常配備		
消防本部	危機対策課	2名	+1名	全職員	全職員	
	予防課	/	2名	+2名以上	全職員	
	管理課	/	2名	+2名以上	全職員	
	消防課	管制	1名	+2名	+3名以上	全職員
		指揮	1名	+3名	全職員	全職員
古川消防署		13名	+9名	+27名以上	全職員	
古川消防署		6名	+3名	+15名以上	全職員	
志田分署		3名	+2名	+5名以上	全職員	
田尻分署		3名	+2名	+5名以上	全職員	
三本木出張所		1名	+2名	+2名以上	全職員	
鳴子消防署		6名	+4名	+17名以上	全職員	
鳴子消防署		2名	+2名	+12名以上	全職員	
岩出山分署		4名	+2名	+5名以上	全職員	
加美消防署		7名	+5名	+15名以上	全職員	
加美消防署		3名	+3名	+10名以上	全職員	
西部分署		4名	+2名	+5名以上	全職員	
遠田消防署		3名	+3名	+10名	全職員	
配備体制の移行	署	警防隊・救助隊1隊4名 古川救助隊を専任・遠田第2救急隊を専任	鳴子指揮隊1名 古川・加美・遠田指揮車隊2名の確保 通信1名	第三次非常配備命令により規程第52条の非常災害警防活動の実施体制を確立するものとする。		
	分署	救急隊を専任 警防隊2隊(各3名)	警防隊1隊のみ4名 通信 1名			
	出張所	警防隊1隊3名	警防隊1隊4名 通信 1名			

## 消防車両配置表

平成29年4月1日現在

署所別	種別 計	消防車両						救急車	その他の車両						
		大型水槽車	水槽付ポンプ車	ポンプ車	はしご車	救助工作車	化学車		司令・指揮車	連絡車	査察車	広報車	救急広報車	搬送車	ホイールローダー
消防本部	11(4)			2(2)				2(2)	1	2		2	1	1	
古川消防署	22	1	2	4	1	1	1	5	1	5	1	0	0	0	0
古川消防署	11	1		1	1	1	1	2	1	2	1				
志田分署	4		1	1				1		1					
田尻分署	4		1	1				1		1					
三本木出張所	3			1				1		1					
鳴子消防署	12	0	2	2	1	0	0	2	1	1	1	0	0	0	2
鳴子消防署	7		1	1	1			1	1		1				1
岩出山分署	5		1	1				1		1					1
加美消防署	12	1	2	2	0	0	0	2	1	1	1	0	0	0	2
加美消防署	7	1	1	1				1	1		1				1
西部分署	5		1	1				1		1					1
遠田消防署	8	1	1	1	0	0	0	2	1	1	1	0	0	0	0
遠田消防署	8	1	1	1				2	1	1	1				
計	65(4)	3	7	11(2)	2	1	1	13(2)	5	10	4	2	1	1	4

※( )内は非常用

所属名	登録年月	種別	車両性能等	積載無線局名
消防本部	平成6年12月	非常用ポンプ車	CD-I型ポンプ車	だいしょうぼんぷ1
〃	平成7年12月	非常用ポンプ車	I型 水槽1,000ℓ 薬槽300ℓ	だいしょうぼんぷ2
〃	平成13年3月	非常用救急車	ニッサンパラメディック(高規格救急車)	だいしょうきゅうきゅう1
〃	平成13年3月	非常用救急車	ニッサンパラメディック(高規格救急車)	だいしょうきゅうきゅう2
〃	平成18年6月	司令車	SUVタイプ2,700cc(ガソリン車)	だいしょうしれい1
〃	平成17年7月	広報車	バンタイプ2000cc(ガソリン車)	
〃	平成19年1月	救急啓発広報車	ニッサンシビリアン (救急振興財団寄贈)	
〃	平成10年7月	資機材搬送車	トラックタイプ2t車	だいしょうはんそう1
〃	平成23年8月	連絡車	軽乗用車	
〃	平成25年3月	広報車	ステーションワゴン2000cc(ガソリン車)	
〃	平成25年7月	連絡車	プリウス(ハイブリット車)	
古川消防署	平成18年2月	大型水槽車	小型ポンプ付(B2級)水槽10,000ℓ	ふるかわすいそう1
〃	平成11年12月	普通ポンプ車	CD-I型ポンプ車	ふるかわぼんぷ1
〃	平成5年10月	はしご車	35m級(最大地上高36m)	ふるかわはしご1
〃	平成8年3月	救助工作車	Ⅲ型(油圧ウインチ・照明装置付)	ふるかわきゅうじょ1
〃	平成28年1月	化学車	Ⅱ型 水槽1,500ℓ 薬槽500ℓ	ふるかわたんく1
〃	平成23年12月	高規格救急車	トヨタハイメディック	ふるかわきゅうきゅう1
〃	平成24年11月	高規格救急車	トヨタハイメディック	ふるかわきゅうきゅう2
〃	平成20年6月	指揮車	SUVタイプ2,000cc(ガソリン車)	ふるかわしき1
〃	平成25年10月	連絡車	ライトバン1,500cc(ガソリン車)	
〃	平成23年7月	連絡車	軽ワゴン車	
〃	平成23年8月	査察車	軽ワゴン車	ふるかわささつ1
志田分署	平成8年1月	水槽付ポンプ車	水槽I-A型(1,500ℓ水槽付)	しだたんく1
〃	平成12年11月	普通ポンプ車	CD-I型ポンプ車	しだぼんぷ1
〃	平成22年12月	高規格救急車	ニッサンパラメディック (社団法人日本損害保険協会寄贈車)	しだきゅうきゅう1
〃	平成25年10月	連絡車	ライトバン1,600cc(ガソリン車)	しだれんらく1
田尻分署	平成26年12月	水槽付ポンプ車	水槽I-A型(1,500ℓ水槽付)	たじりたんく1
〃	平成25年2月	普通ポンプ車	CD-I型ポンプ車	たじりぼんぷ1
〃	平成22年1月	高規格救急車	トヨタハイメディック	たじりきゅうきゅう1
〃	平成27年7月	連絡車	ライトバン1,600cc(ガソリン車)	たじりれんらく1
三本木出張所	平成28年11月	普通ポンプ車	CD-I型ポンプ車(800ℓ水槽付)	さんぼんぎぼんぷ1
〃	平成22年1月	高規格救急車	トヨタハイメディック	さんぼんぎきゅうきゅう1
〃	平成15年8月	連絡車	軽ワゴン車	

所属名	登録年月	種 別	車 両 性 能 等	積載無線局名
鳴子消防署	平成26年12月	水槽付ポンプ車	水槽Ⅱ型(2,000ℓ水槽付)	なるこたんく1
〃	平成17年3月	救助ポンプ車	CDⅠ型(救助ポンプ車)	なるこきゅうじょぼんぷ1
〃	平成13年7月	はしご車	15m級(最大地上高15.9m)	なるこはしご1
〃	平成21年1月	高規格救急車	トヨタハイメディック	なるこきゅうきゅう1
〃	平成20年6月	指揮車	SUVタイプ2,000cc(ガソリン車)	なるこしき1
〃	平成23年8月	査察車	軽ワゴン車	なるこささつ1
〃	平成20年11月	ホイールローダー	鳴子除雪車・災害対応車	
岩出山分署	平成15年10月	水槽付ポンプ車	水槽Ⅰ-A型(1,500ℓ水槽付)	いわでやまたんく1
〃	平成9年12月	普通ポンプ車	CDⅠ型ポンプ車	いわでやまぼんぷ1
〃	平成23年1月	高規格救急車	トヨタハイメディック	いわでやまきゅうきゅう1
〃	平成25年10月	連絡車	ライトバン1,500cc(ガソリン車)	いわでやまれんらく1
〃	平成26年1月	ホイールローダー	除雪車・災害対応車	
加美消防署	平成19年1月	大型水槽車	小型ポンプ付(B2級)水槽5,000ℓ	かみすいそう1
〃	平成13年12月	水槽付ポンプ車	水槽Ⅱ型(2,000ℓ水槽付)	かみたんく1
〃	平成20年1月	救助ポンプ車	CDⅠ型ポンプ車(救助ポンプ車)	かみきゅうじょぼんぷ1
〃	平成28年11月	高規格救急車	トヨタハイメディック	かみきゅうきゅう1
〃	平成19年7月	指揮車	SUVタイプ2,000CC(ガソリン車)	かみしき1
〃	平成21年8月	査察車	軽ワゴン車	かみささつ1
〃	平成23年12月	ホイールローダー	除雪車・災害対応車	
西部分署	平成26年1月	水槽付ポンプ車	水槽Ⅰ-A型(1,500ℓ水槽付)	せいぶたんく1
〃	平成9年10月	普通ポンプ車	CDⅠ型ポンプ車(600ℓ水槽付)	せいぶぼんぷ1
〃	平成21年1月	高規格救急車	トヨタハイメディック	せいぶきゅうきゅう1
〃	平成25年2月	連絡車	ライトバン1,600cc(ガソリン車)	せいぶれんらく1
〃	平成26年10月	ホイールローダー	除雪車・災害対応車	
遠田消防署	平成23年1月	大型水槽車	小型ポンプ付(B2級)水槽10,000ℓ	とおだすいそう1
〃	平成14年11月	水槽付ポンプ車	水槽Ⅰ-A型(1,500ℓ水槽付)	とおだたんく1
〃	平成21年2月	救助ポンプ車	CDⅠ型(救助ポンプ車) (社団法人日本損害保険協会寄贈車)	とおだきゅうじょぼんぷ1
〃	平成25年3月	高規格救急車	トヨタハイメディック (JA共済連寄贈)	とおだきゅうきゅう1
〃	平成19年11月	高規格救急車	トヨタハイメディック	とおだきゅうきゅう2
〃	平成19年7月	指揮車	SUVタイプ2,000cc(ガソリン車)	とおだしき1
〃	平成22年6月	査察車	軽ワゴン車	とおだささつ1
〃	平成25年1月	連絡車	ライトバン1,500cc(ガソリン車)	



# 消防隊出動状況

平成28年1月1日～平成28年12月31日

区分 署所		合計	火災	救助活動	内管外	風水害等	演習訓練	訓練指導	警防調査	原因調査	特別警戒	遭難	予防査察	その他	内管外
古川	出動回数	2,171	66	136		4	54	87	30	24	439		320	1,011	36
	台数	3,390	222	215		8	59	109	37	38	829		450	1,423	45
	人員	5,567	585	422		13	150	199	71	65	1,131		555	2,376	61
志田	出動回数	1,230	16	17		41	1	28	114	5	421		121	466	
	台数	1,273	25	27		43	2	30	114	9	421		125	477	
	人員	3,278	74	81		122	7	88	321	25	1,167		367	1,026	
田尻	出動回数	442	32	7		10	8	23	42	5	65		52	198	
	台数	1,016	45	10		11	12	35	74	9	316		63	441	
	人員	2,455	125	30		34	33	97	199	30	861		186	860	
三本木	出動回数	343	26	11		19	1	9	29	3	135		48	62	
	台数	602	26	11		19	2	18	54	5	283		82	102	
	人員	1,396	77	32		64	5	42	117	13	623		197	226	
鳴子	出動回数	877	8	7		22	25	50	160	5	270		80	250	
	台数	1,394	27	21		40	40	61	185	7	565		147	301	
	人員	3,307	75	56		115	94	188	450	25	1,519		335	450	
岩出山	出動回数	1,004	21	7		1	2	21	36	3	336		81	496	
	台数	1,070	39	15		1	2	30	41	7	336		84	515	
	人員	2,750	108	46		3	6	90	120	24	882		256	1,215	
加美	出動回数	994	42	17	0	0	58	40	67	4	349	0	120	297	2
	台数	1,413	163	66	0	0	192	40	67	9	349	0	195	332	3
	人員	3,544	483	181	0	0	390	110	203	22	1,032	0	402	721	12
西部	出動回数	828	10	5	0	0	11	34	51	6	194	0	76	441	4
	台数	923	17	9	0	0	13	78	61	17	194	0	78	456	4
	人員	2,194	48	26	0	0	31	185	171	49	477	0	212	995	11
遠田	出動回数	445	20	31		15	8	18	14	4	18		40	277	
	台数	1,701	68	65		26	16	48	63	18	312		99	986	
	人員	4,097	194	207		76	41	120	173	56	797		226	2,207	
合計	出動回数	8,334	241	238	0	112	168	310	543	59	2,227	0	938	3,498	42
	台数	12,782	632	439	0	148	338	449	696	119	3,605	0	1,323	5,033	52
	人員	28,588	1,769	1,081	0	427	757	1,119	1,825	309	8,489	0	2,736	10,076	84

※ 演習訓練とは、消防機関又は関係機関と合同で行う演習・訓練のために消防車両が出動した状況である。  
 訓練指導とは、住民や自衛消防隊が行う消防訓練に対する指導のため出動した状況である。  
 警防調査とは、地水利・危険区域・対象物調査等に出動した状況である。

## 消防水利の現況

平成29年4月1日 現在

施設別		市町村別	大 崎 市	色 麻 町	加 美 町	涌 谷 町	美 里 町	合 計
消 火 栓	小計(A)		1,874	126	420	250	434	3,104
	公設		1,822	126	418	250	430	3,046
	私設		52		2	0	4	58
防 火 水 槽	小計	100m <sup>3</sup> 以上	12	0	1	3	2	18
		100m <sup>3</sup> 未満～40m <sup>3</sup>	556	33	129	123	124	965
		40m <sup>3</sup> 未満～20m <sup>3</sup>	70	0	7	10	57	144
	合計(B)		638	33	137	136	183	1,127
	公 設	100m <sup>3</sup> 以上	3			3	0	6
		100m <sup>3</sup> 未満～40m <sup>3</sup>	455	32	119	120	114	840
		40m <sup>3</sup> 未満～20m <sup>3</sup>	54		2	9	55	120
	公 設 うち耐震性	100m <sup>3</sup> 以上	0					0
		100m <sup>3</sup> 未満～40m <sup>3</sup>	45	21	8	26	43	143
		40m <sup>3</sup> 未満～20m <sup>3</sup>	1					1
	私 設	100m <sup>3</sup> 以上	9		1		2	12
		100m <sup>3</sup> 未満～40m <sup>3</sup>	101	1	10	3	10	125
		40m <sup>3</sup> 未満～20m <sup>3</sup>	16		5	1	2	24
	私 設 うち耐震性	100m <sup>3</sup> 以上	0					0
		100m <sup>3</sup> 未満～40m <sup>3</sup>	2					2
40m <sup>3</sup> 未満～20m <sup>3</sup>		0					0	
そ の 他	小計(C)		96	4	17	8	11	136
	プール		48	4	8	8	9	77
	河 川		0					0
	ごう・池等		47		9		2	58
	井 戸		0					0
	工業用水		0					0
	掘抜消火栓		0					0
	その他		1					1
合 計(A+B+C)		2,608	163	574	394	628	4,367	

## 火災の現況と動向

平成28年中における総出火件数は85件であり、約4.3日に1件の割合で発生したことになります。前年と比べますと11件の増加となりました。

この総出火件数は、過去10年間の統計で3番目に少ない件数となりました。

火災種別ごとの出火件数は、建物火災が50件（前年比17件増）58.8%、林野火災3件（前年比2件増）3.5%、車両火災14件（前年比6件増）16.5%、その他火災18件（前年比14件減）21.2%となりました。

市町別ごとの出火件数は、大崎市61件（71.8%）、色麻町2件（2.4%）加美町8件（9.4%）、涌谷町6件（7.1%）、美里町8件（9.4%）となりました。

火災によって亡くなられた人は5名で前年より2名増加し、火災種別ごとの死者発生状況は、建物火災2名、車両火災2名、その他火災1名となりました。

火災による損害額は2億2,576万6千円で、前年と比較すると、8,580万7千円多くなりました。

出火原因につきましては、「放火」が11件、次いで「電灯等配線」7件、「こんろ」と「ストーブ」がそれぞれ6件、「放火の疑い」と「たばこ」がそれぞれ5件の順となっています。

近年の出火原因は、全国的にも「放火・放火の疑い」が1位となっており、家の周りに燃えやすい物を置かない等、放火対策が必要となります。また、「たばこ」や「こんろ」による火災も多発しており、住民一人ひとりの防火意識の高揚を目指し、更なる防火指導・広報の充実を図ってまいります。

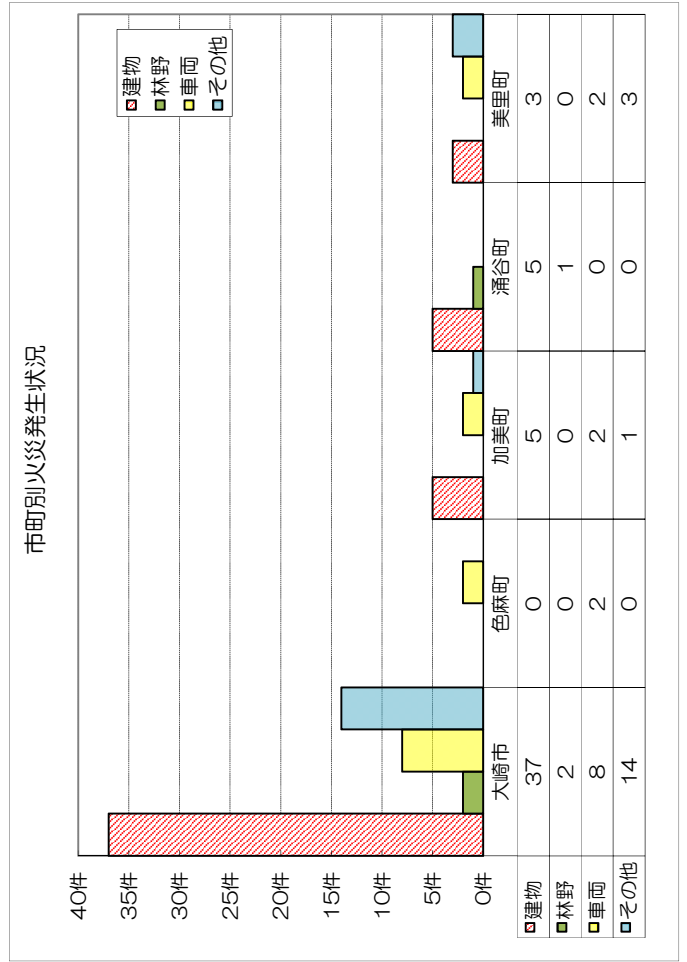


# 平成28年市町別火災発生状況

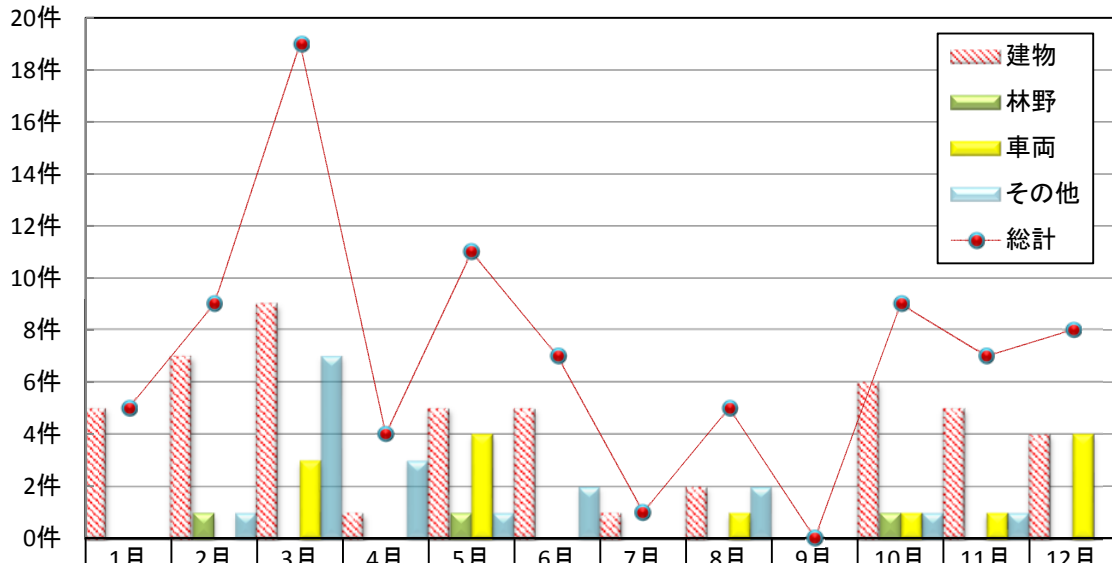
平成28年1月1日～平成28年12月31日

	火災件数				焼損		災		死者	負傷者	世帯数	人口	一人当り 出火率	損害額(円)				焼損面積	
	建物	林野	車両	その他	世帯	人員	総額 (千円)	一件当り (千円)						一世帯当り (円)	一人当り (円)	建物面積 (㎡)	一件当り (㎡)	林野面積 (a)	
大崎市	37	2	8	14	21	53	4	11	50,363	132,447	4.61	129,654	2,125	2,574	979	2,746	74.2	9	
色麻町	2	0	2	0	0	0	0	0	2,068	7,080	2.82	257	129	124	36	0	0	0	
加美町	8	0	2	1	15	48	1	4	8,016	24,075	3.32	66,850	8,356	8,340	2,777	1,172	234.4	0	
涌谷町	6	5	1	0	5	13	0	0	6,017	16,704	3.59	2,170	362	361	130	37	7.4	1	
美里町	8	3	0	2	3	1	1	1	8,980	24,896	3.21	26,835	3,354	2,988	1,078	767	255.7	0	
合計	85	50	3	14	42	115	5	16	75,444	205,202	4.14	225,766	2,656	2,992	1,100	4,722	94.4	10	

※世帯数・人口は平成28年12月末日現在(宮城県住民基本台帳より)

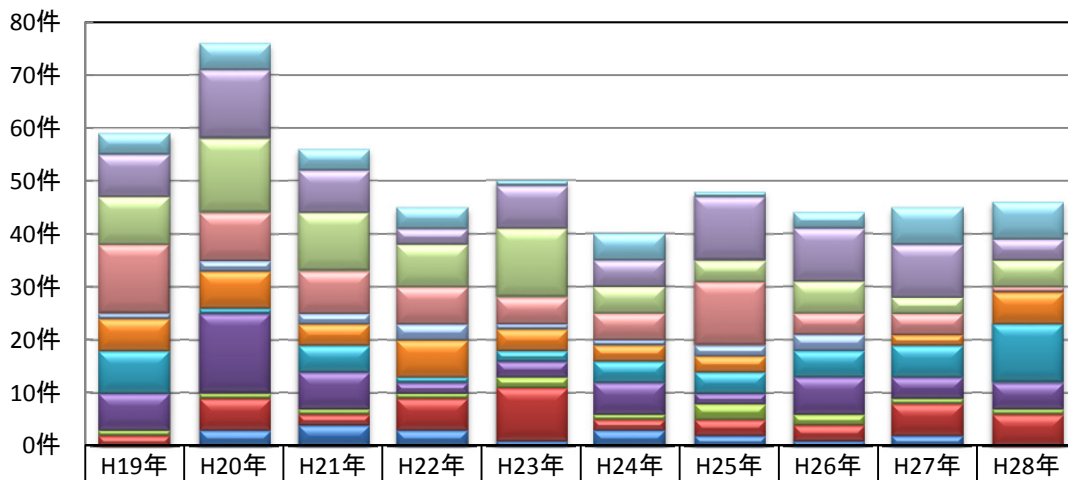


月別火災発生状況



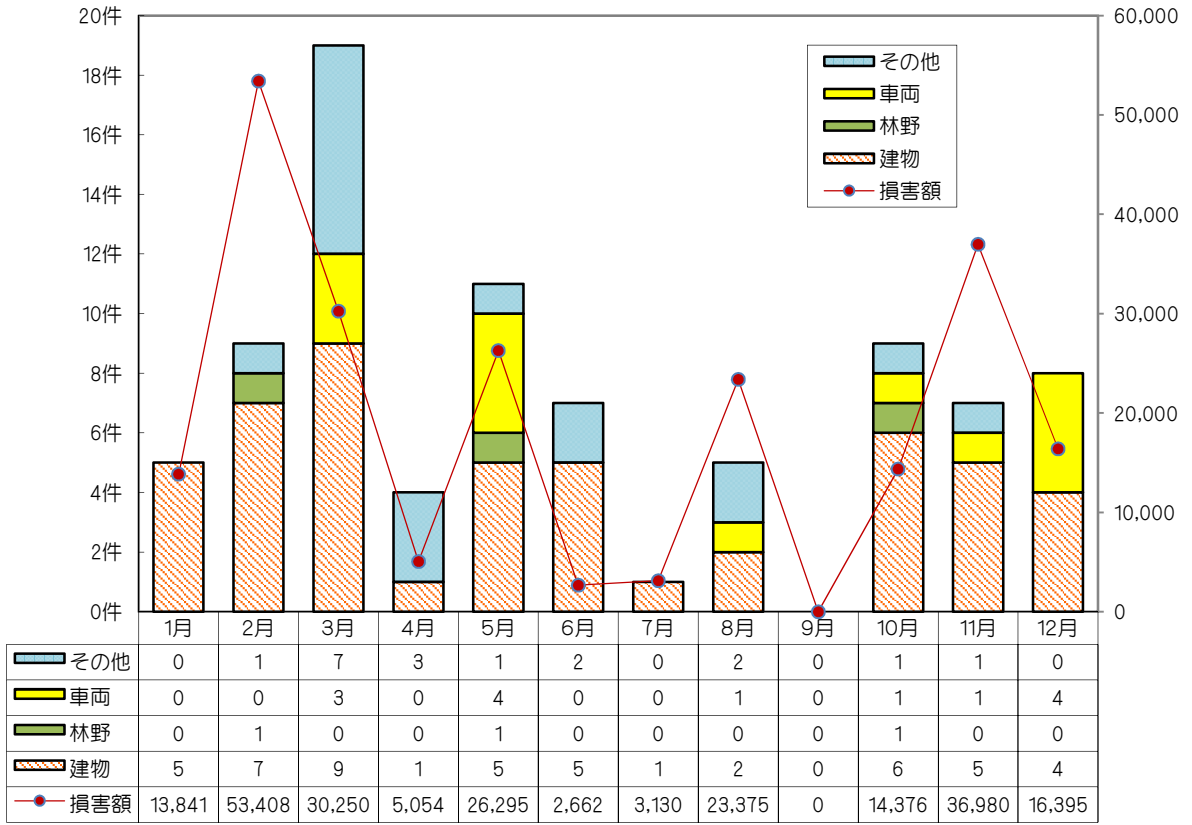
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
建物	5	7	9	1	5	5	1	2	0	6	5	4
林野	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0
車両	0	0	3	0	4	0	0	1	0	1	1	4
その他	0	1	7	3	1	2	0	2	0	1	1	0
総計	5	9	19	4	11	7	1	5	0	9	7	8

過去10年間の主な出火原因

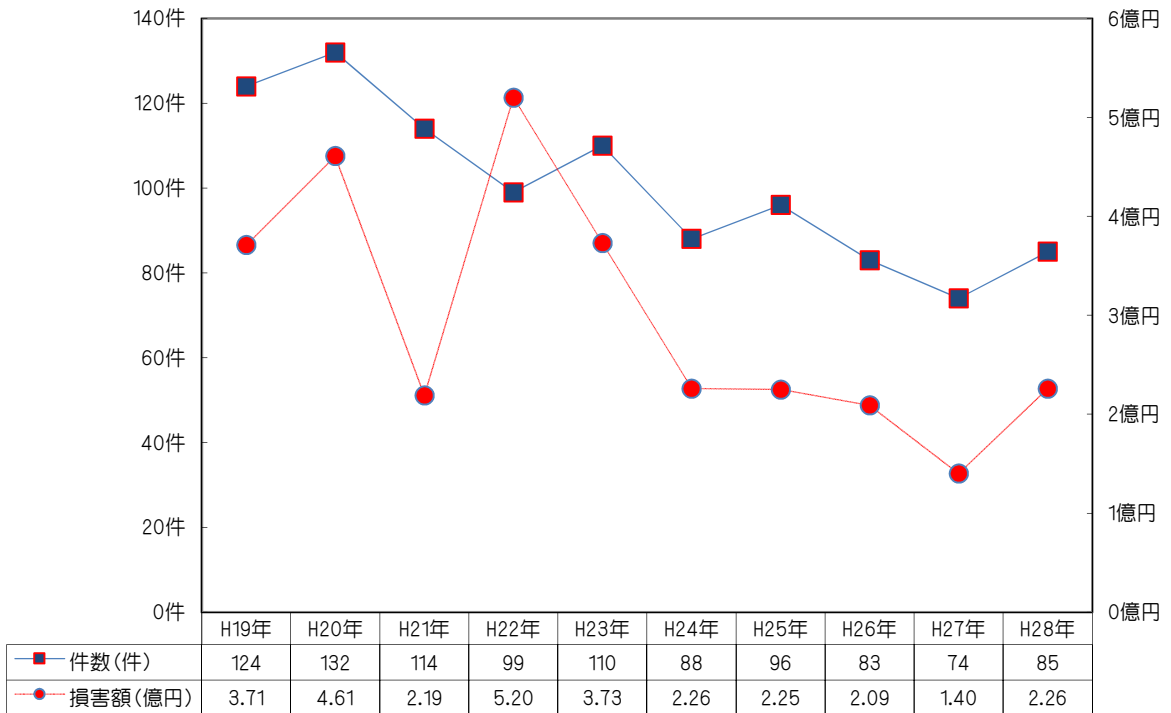


	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年
電灯等配線	4	5	4	4	1	5	1	3	7	7
火入れ	8	13	8	3	8	5	12	10	10	4
たばこ	9	14	11	8	13	5	4	6	3	5
たき火	13	9	8	7	5	5	12	4	4	1
火遊び	1	2	2	3	1	1	2	3	0	0
こんろ	6	7	4	7	4	3	3	0	2	6
放火	8	1	5	1	2	4	4	5	6	11
放火の疑い	7	15	7	2	3	6	2	7	4	5
風呂・かまど	1	1	1	1	2	1	3	2	1	1
ストーブ	2	6	2	6	10	2	3	3	6	6
煙突・煙道	0	3	4	3	1	3	2	1	2	0

月別火災発生及び損害額状況



過去10年間の火災件数及び損害額の推移



## 救急業務の現況と動向

平成28年中における救急出動件数は、9,352件（前年比106件減）で搬送人員が8,738人（前年比101人減）となりました。これは一日平均で26件（約56分に1件）の割合で救急隊が出動し、管内の約24人に1人が救急隊により搬送されたことになりました。

平成28年中の搬送人員8,738人のうち、救急隊員が救急処置を行った傷病者は8,716人（搬送人員の99.7%）であり、救急処置件数は39,563件で、傷病者1人に対して約4.5種類の応急処置を行なったこととなります。

このうち、救急救命士（除細動については、救急救命士以外の救急隊員を含む）が心肺停止状態又は重篤な傷病者に行う高度な応急処置（ラリングアルマスク等による気道確保、気管挿管、除細動、静脈路確保、薬剤投与、血糖測定、ブドウ糖投与）の件数は307件となっています。

また、過去10年間の救急出動件数は、平成18年から平成21年にかけて僅かに減少傾向にありましたが、平成22年以降増加しており、平成23年から平成28年まで6年連続9,000件を超え、平成27年の大崎消防本部の統計上、最多の9,458件に次ぐ2番目に多い出動件数となりました。限られた消防力の中で、最大限の効果を発揮できるよう引き続き救急体制の充実を図るとともに、救急車を適正に利用するための普及啓発に努めてまいります。

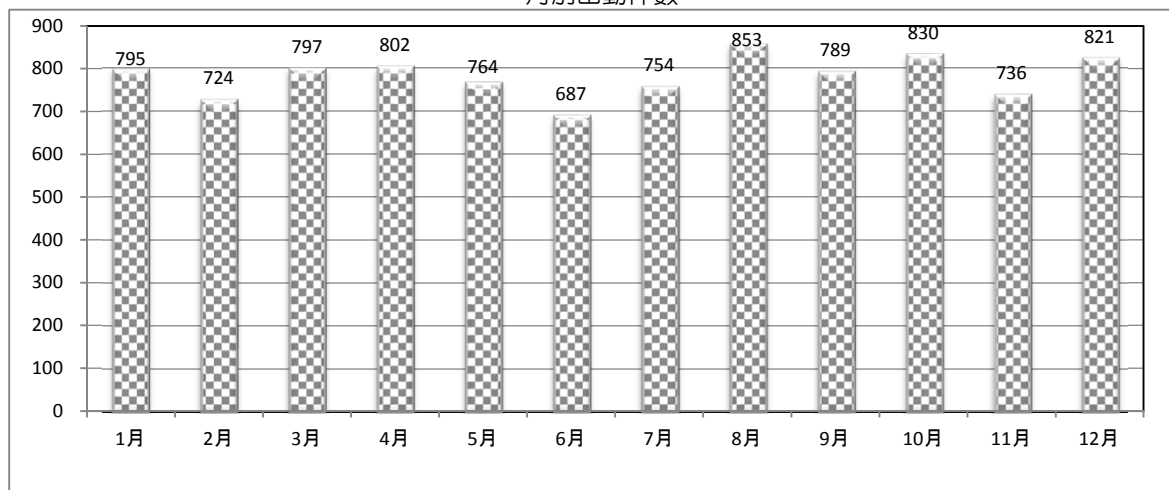


# 平成28年月別救急出動状況

平成28年1月1日～平成28年12月31日

月別	種別 区分	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
													転院搬送	医師搬送	資器搬送	その他
1月	出動件数	795	7			43	4	1	69	2	12	528	118		1	10
	搬送件数	709				39	4	1	67	2	5	473	118			
	搬送人員	716				46	4	1	67	2	5	473	118			
2月	出動件数	724	7			30	5	2	76	3	14	446	123		1	17
	搬送件数	648				30	5	2	69	2	9	408	123			
	搬送人員	654				36	5	2	69	2	9	408	123			
3月	出動件数	797	11			48	5	2	80	1	5	498	133		2	12
	搬送件数	725	4			41	5	2	74	1	2	463	133			
	搬送人員	734	4			49	5	2	74	1	2	463	134			
4月	出動件数	802	3		1	40	7	9	72	3	4	501	148		6	8
	搬送件数	737	1			36	7	9	62	1	4	470	146			1
	搬送人員	742	2			39	7	9	62	1	4	470	146			2
5月	出動件数	764	7		2	55	8	13	78	3	8	455	125		1	9
	搬送件数	709	1		1	51	8	12	71	2	5	433	125			
	搬送人員	731	1		1	69	8	13	71	4	5	434	125			
6月	出動件数	687	6		1	51	2	11	70		7	418	119			2
	搬送件数	648	2			45	2	11	69		6	393	119			1
	搬送人員	658	3			54	2	11	69		6	393	119			1
7月	出動件数	754	2			45	11	6	73	7	6	468	127		1	8
	搬送件数	711				40	11	5	70	6	6	446	127			
	搬送人員	718				46	11	5	70	7	6	446	127			
8月	出動件数	853	4			55	6	10	84	4	10	532	128		5	15
	搬送件数	798	1			52	5	9	81	3	5	513	128			1
	搬送人員	809	1			60	5	10	81	4	5	513	128			2
9月	出動件数	789				49	13	8	84	5	2	485	134		2	7
	搬送件数	747				44	13	8	82	5	2	459	134			
	搬送人員	757				50	13	10	82	6	2	460	134			
10月	出動件数	830	5		1	91	2	4	85	3	10	501	120		1	7
	搬送件数	762				85	2	4	80	2	4	465	120			
	搬送人員	781				101	2	4	80	2	4	468	120			
11月	出動件数	736	6			41	13	7	76	1	11	451	115		1	14
	搬送件数	676	1			38	13	7	71		8	423	114			1
	搬送人員	685	1			45	13	7	72		8	424	114			1
12月	出動件数	821	9	1	1	59	6		86	5	7	525	111			11
	搬送件数	739	2	1		53	6		82	4	6	474	111			
	搬送人員	753	2	1		66	6		82	4	6	475	111			
累計	出動件数	9,352	67	1	6	607	82	73	933	37	96	5,808	1,501	0	21	120
	搬送件数	8,609	12	1	1	554	81	70	878	28	62	5,420	1,498	0	0	4
	搬送人員	8,738	14	1	1	661	81	74	879	33	62	5,427	1,499	0	0	6

月別出動件数





# 平成28年救急隊別出動状況

平成28年1月1日～平成28年12月31日

救急隊別	種別 区分	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
													転院搬送	医師搬送	資器搬送	その他
古川1	出動件数	1731	22		1	122	16	17	157	11	18	935	399		13	20
	搬送人員	1613	3			131	16	18	148	11	16	870	398			2
古川2	出動件数	1590	15			115	9	7	158	12	12	874	362		7	19
	搬送人員	1484	3			129	9	7	143	10	8	814	361			
志田	出動件数	857	1			51	4	8	86	1	10	554	138			4
	搬送人員	824	1			56	3	8	80		6	532	138			
三本木	出動件数	461				31	8	2	42		6	299	63		1	9
	搬送人員	428				30	8	1	41		3	282	63			
田尻	出動件数	635	1			55	6	4	63	3	6	471	20			6
	搬送人員	591				56	6	4	61	3	2	439	20			
鳴子	出動件数	503	3			19	7		88	2	4	302	66			12
	搬送人員	454				22	7		85		2	271	66			1
岩出山	出動件数	572	1		1	28	9	4	72	3	9	398	35			12
	搬送人員	513				24	9	5	68	4	4	364	35			
加美	出動件数	959	13	1		60	12	7	87	2	8	626	135			8
	搬送人員	905	5	1		72	12	6	80	2	5	587	135			
西部	出動件数	526	2		2	24	3	11	46	1	4	367	59			7
	搬送人員	496	1			26	3	12	45	1	3	346	59			
遠田1	出動件数	1240	8		2	74	7	8	121	2	15	811	173			19
	搬送人員	1156	1		1	75	7	8	117	2	9	761	172			3
遠田2	出動件数	274	1			24	1	5	13		4	171	51			4
	搬送人員	266				32	1	5	11		4	161	52			
その他	出動件数	4				4										
	搬送人員	8				8										
累計	出動件数	9,352	67	1	6	607	82	73	933	37	96	5,808	1,501		21	120
	搬送人員	8,738	14	1	1	661	81	74	879	33	62	5,427	1,499			6

※ その他にあつては、大崎市民病院の転院に伴う転院搬送に非常用救急車を運用したものの。

# 平成28年出動先別救急出動状況

平成28年1月1日～平成28年12月31日

地域別	種別 区分	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
													転院搬送	医師搬送	資器搬送	その他
大崎市	出動件数	6,133	43		2	393	55	40	633	30	60	3,711	1,066		21	79
	搬送人員	5,720	9			424	54	41	597	27	39	3,462	1,064			3
色麻町	出動件数	348	2			13	4	3	33	2	4	204	83			
	搬送人員	332				13	4	3	32	2	3	192	83			
加美町	出動件数	1,075	11	1	2	63	10	16	100	1	9	739	107			16
	搬送人員	1,005	4	1		72	10	16	94	1	6	694	107			
涌谷町	出動件数	796	3		1	43	3	4	56		9	498	165			14
	搬送人員	739			1	42	3	4	54		6	461	165			3
美里町	出動件数	969	6		1	76	10	10	108	4	14	650	80			10
	搬送人員	910	1			85	10	10	101	3	8	612	80			
高速道路	出動件数	31	2			19			3			6				1
	搬送人員	32				25			1			6				
管外	出動件数															
	搬送人員															
累計	出動件数	9,352	67	1	6	607	82	73	933	37	96	5,808	1,501		21	120
	搬送人員	8,738	14	1	1	661	81	74	879	33	62	5,427	1,499			6

# 平成28年傷病程度・年齢別搬送人員の状況

平成28年1月1日～平成28年12月31日

年齢区分	年齢区分内訳	種別 区分	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	
新生児	生後28日未満	死亡	1										1		
		重症	7												7
		中等症	18											1	17
		軽症	7								1			2	4
		その他	0												
計			33	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4	28	
乳幼児	28日～6歳	死亡	1							1					
		重症	18										5	13	
		中等症	107				1			13			79	14	
		軽症	221				23			39			155	4	
		その他	0												
計			347	0	0	0	24	0	0	53	0	0	239	31	
少年	7歳～17歳	死亡	1							1					
		重症	6				1						2	3	
		中等症	105				13		16	11	3	1	48	13	
		軽症	183				33		35	23	1	1	87	3	
		その他	0												
計			295	0	0	0	47	0	51	35	4	2	137	19	
成人	18歳～64歳	死亡	41							1		15	24	1	
		重症	255	1			22	8		11	2	4	129	78	
		中等症	1,295	4			128	33	8	69	4	20	764	265	
		軽症	1,198	2			255	25	10	95	16	11	741	43	
		その他	3				3								
計			2,792	7	0	0	408	66	18	176	22	50	1,658	387	
高齢者	65歳以上	死亡	175			1	2			9		3	159	1	
		重症	812				14	3		46		3	497	249	
		中等症	2,771	4			52	7	1	299	3	2	1,702	701	
		軽症	1,513	3	1		114	5	4	260	4	2	1,031	89	
		その他	0												
計			5,271	7	1	1	182	15	5	614	7	10	3,389	1,040	
合計		死亡	219	0	0	1	2	0	0	12	0	18	184	2	
		重症	1,098	1	0	0	37	11	0	57	2	7	633	350	
		中等症	4,296	8	0	0	194	40	25	392	10	23	2,594	1,010	
		軽症	3,122	5	1	0	425	30	49	418	21	14	2,016	143	
		その他	3	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	
計			8,738	14	1	1	661	81	74	879	33	62	5,427	1,505	

平成28年救急隊員の行った応急処置の状況(その1)

平成28年1月1日～平成28年12月31日

事故種別 傷病程度	応急処置 対象 人員 処置	止血	固定	人工呼吸	心マッサージ		心肺蘇生	うち自動	酸素吸入	気道確保			気管挿管	保温	
						うち自動				※1	※2	※3			
急病	死亡	184					183	59	183	184		2	34	1	75
	重症	632		5	6		66	26	350	118	3	1	16		221
	中等症	2,592	14	20			3	1	523	42					764
	軽症	2,007	36	23	1				120	11		1	1		500
	その他														
計	5,415	50	48	7	0	0	252	86	1,176	355	3	4	51	1	1,560
交通事故	死亡	2	1	2			2		2	2			1		1
	重症	37	8	33			3		26	6					17
	中等症	194	22	158					33	3			1		52
	軽症	423	34	260					8						65
	その他	3													
計	659	65	453	0	0	0	5	0	69	11	0	0	2	0	135
一般負傷	死亡	12		1			12	5	12	12		5	3	1	3
	重症	57	10	18			6	1	20	8		4	2	1	27
	中等症	392	51	136			1		23	2		1			96
	軽症	413	102	68					7	4		2			103
	その他														
計	874	163	223	0	0	0	19	6	62	26	0	12	5	2	229
その他	死亡	21	1	3			21	9	21	21	1		6		10
	重症	370	7	10	2		2	1	181	19					139
	中等症	1,114	21	66					277	5					281
	軽症	263	26	34					26	1					65
	その他														
計	1,768	55	113	2	0	0	23	10	505	46	1	0	6	0	495
合計	死亡	219	2	6	0	0	218	73	218	219	1	7	44	2	89
	重症	1,096	25	66	8	0	77	28	577	151	3	5	18	1	404
	中等症	4,292	108	380	0	0	4	1	856	52	0	1	1	0	1,193
	軽症	3,106	198	385	1	0	0	0	161	16	0	3	1	0	733
	計	8,716	333	837	9	0	0	299	102	1,812	438	4	16	64	3
気道確保															
※1 経鼻エアウェイを使用しての気道確保															
※2 喉頭鏡・鉗子等による異物除去															
※3 救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、ラリングアルマスク等を使用しての気道確保															

## 平成28年救急隊員の行った応急処置の状況(その2)

平成28年1月1日～平成28年12月31日

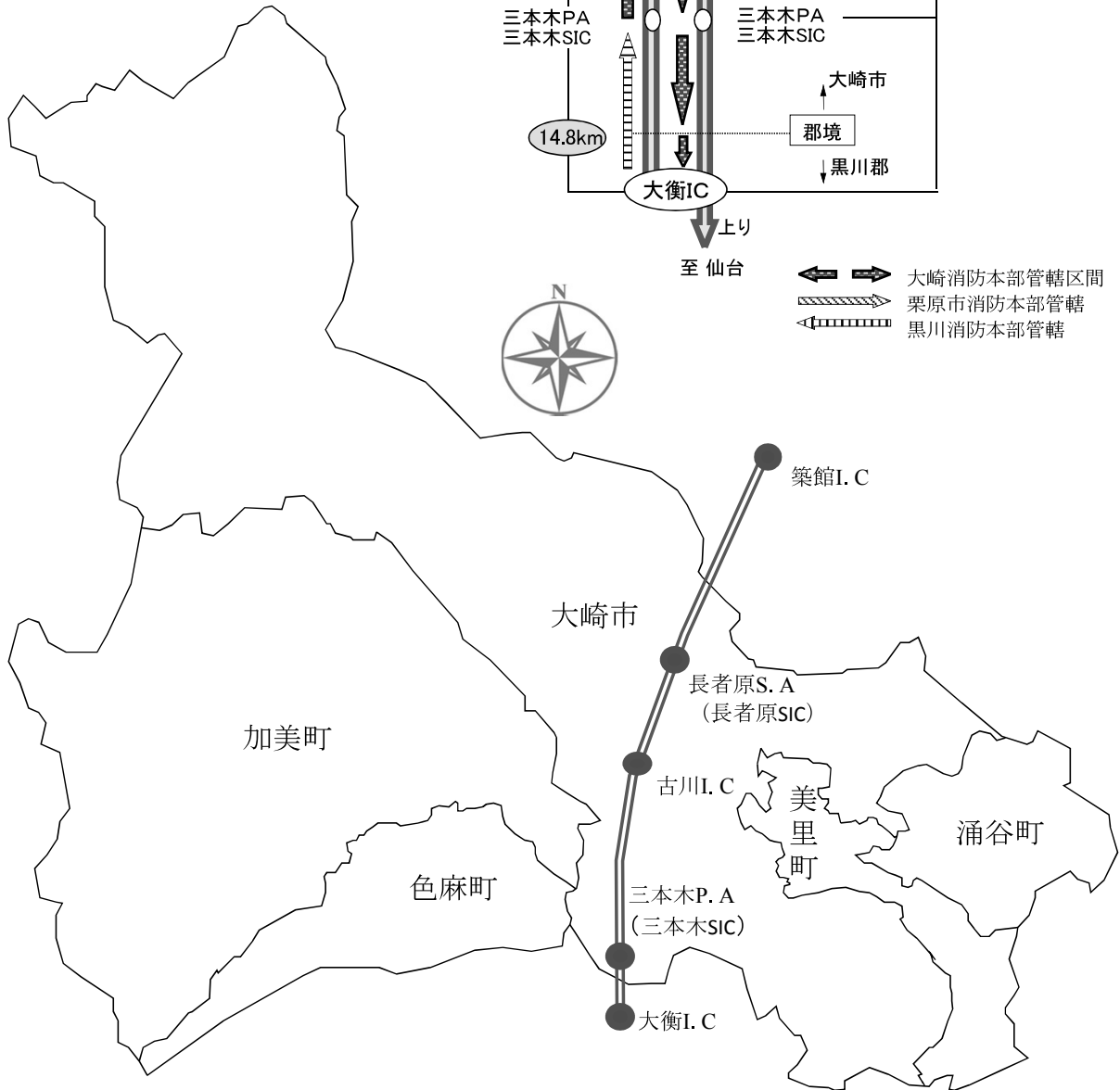
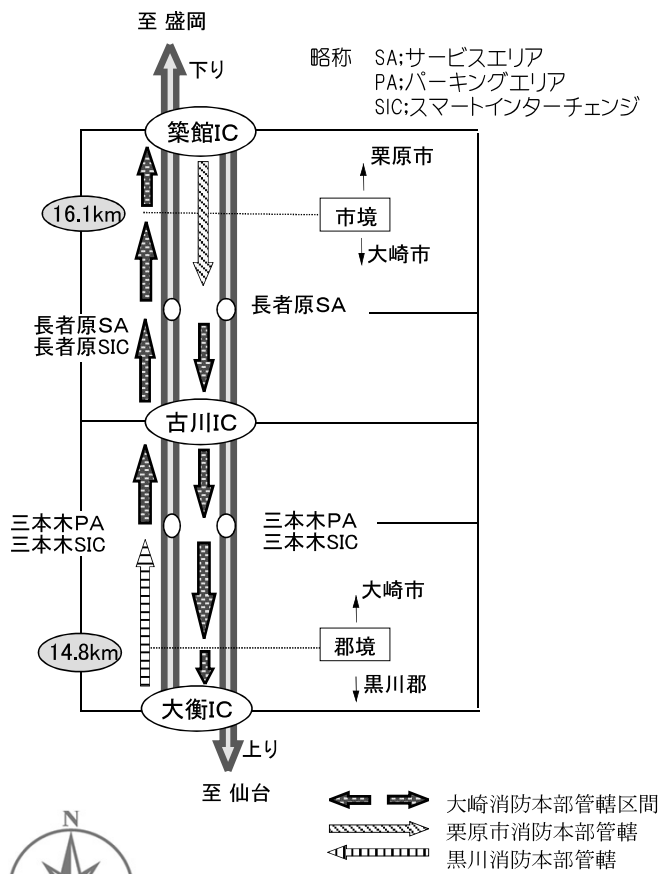
事故種別 傷病程度	応急処置	被 覆	在宅療法継続			S P P による 血 圧 保 持	除 細 動	静 脈 路 確 保 ・ C P A 前	静 脈 路 確 保 ・ C P A 後	薬 剤 投 与	ブ ド ウ 糖 投 与	そ の 他 の 応 急 処 置	血 圧 測 定	聴 診 器 に よ る 聴 取	血 中 酸 素 飽 和 度 の 測 定	血 糖 測 定	心 電 図	心 電 図 伝 送	計		
			※A	※B	※C																
			死 亡	重 症	中 等 症															軽 症	そ の 他
急 病	死 亡		2			2		7		60	13		130	14	155	30	2	175	1	1,213	
	重 症	1	18	1	3	14		10	6	33	16	1	604	579	301	591	42	528	63	3,496	
	中 等 症	8	50	4	6	40		1	21			15	2,545	2,525	861	2,577	72	1,748	72	11,789	
	軽 症	13	18		2	16			16				12	1,963	1,889	529	1,998	30	1,060	31	8,219
	計		22	88	5	11	72	0	18	43	93	29	28	5,242	5,007	1,846	5,196	146	3,511	167	24,717
交 通 事 故	死 亡	1								1					2			2		16	
	重 症	5							2	1			31	35	29	35		29	3	260	
	中 等 症	31							1				167	193	115	193		105		1,073	
	軽 症	41											347	407	181	418		82		1,843	
	計		78	0	0	0	0	0	3	2	0	0	548	635	330	646	0	218	3	3,198	
一 般 負 傷	死 亡							1		3	1		7		11			12	1	75	
	重 症	6	1			1			1	3	2		51	53	23	54		31		314	
	中 等 症	61	1		1				1	1	1		373	381	87	389		148		1,752	
	軽 症	93	2		1	1							387	384	76	408	1	94		1,729	
	計		160	4	0	2	2	0	1	2	7	4	0	818	818	197	851	1	285	1	3,870
そ の 他	死 亡	1						1		6			12	1	20			21		139	
	重 症	8							2	1			340	355	107	365		242	16	1,780	
	中 等 症	13	2		1	1							1,056	1,085	249	1,113		590	40	4,758	
	軽 症	23											252	252	49	261		112	6	1,101	
	計		45	2	0	1	1	0	1	2	7	0	0	1,660	1,693	425	1,739	0	965	62	7,778
合 計	死 亡	2	2	0	0	2	0	9	0	70	14	0	149	15	188	30	2	210	2	1,443	
	重 症	20	19	1	3	15	0	10	11	38	18	1	1,026	1,022	460	1,045	42	830	82	5,850	
	中 等 症	113	53	4	8	41	0	1	23	1	15	15	4,141	4,184	1,312	4,272	72	2,591	112	19,438	
	軽 症	170	20	0	3	17	0	0	16	0	0	12	2,949	2,932	835	3,085	31	1,348	37	12,714	
	計		305	94	5	14	75	0	20	50	109	33	28	8,265	8,153	2,795	8,432	147	4,979	233	39,563

1 在宅療法 ※A 在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法等により点滴処置が施されているもの  
 ※B 気道切開孔又は気管瘻・人工肛門等の外瘻処置が施されているもの  
 ※C ※A、※B以外の処置が施されているもの

2 計欄については、(その1)止血から(その2)心電図伝送までの集計である。

# 東北自動車道における救急出動件数・搬送人員(過去5年間)

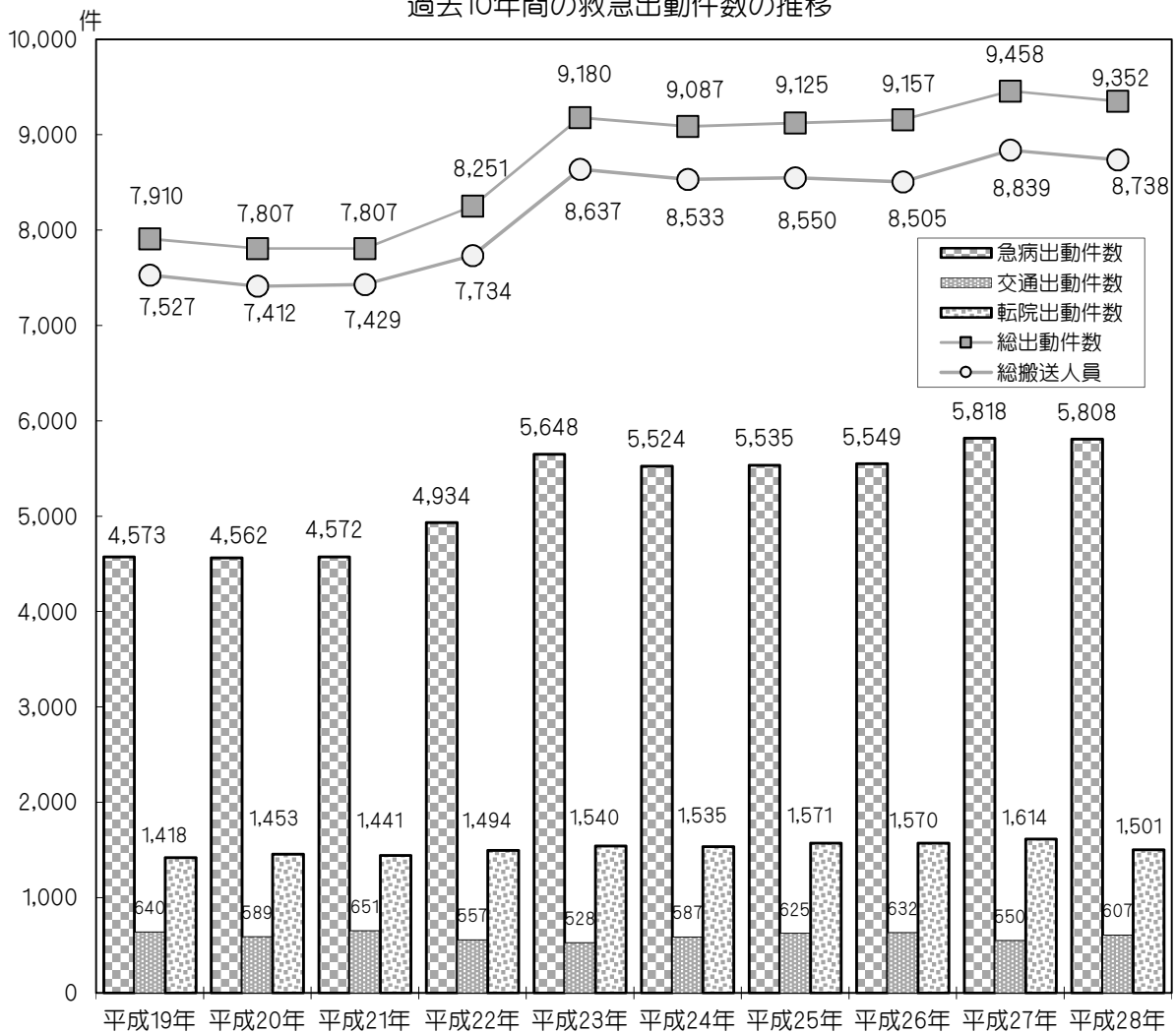
年	区分	計	事故種別		
			交通	急病	その他
24	出動件数	38	11	24	3
	搬送人員	38	11	24	3
	不搬送	0	0	0	0
25	出動件数	36	13	18	5
	搬送人員	38	19	18	1
	不搬送	4	0	0	4
26	出動件数	32	18	7	7
	搬送人員	23	16	7	0
	不搬送	12	5	0	7
27	出動件数	32	13	12	7
	搬送人員	28	14	12	2
	不搬送	8	3	0	5
28	出動件数	31	19	6	6
	搬送人員	32	25	6	1
	不搬送	0	0	0	0



### 過去5年間の発生場所別救急出動状況

市町別	年 別				
	24	25	26	27	28
大崎市	5,934	6,086	6,008	6,189	6,133
色麻町	299	329	309	351	348
加美町	1,112	996	1,043	1,112	1,075
涌谷町	761	754	807	796	796
美里町	942	921	957	974	969
高速道路	38	36	32	32	31
管外	1	3	1	4	0
計	9,087	9,125	9,157	9,458	9,352

### 過去10年間の救急出動件数の推移



# 平成28年事故種別医療機関別搬送人員調

(上段・本年搬送人員 下段・前年搬送人員)

種別	区分	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計
												転院搬送	医師搬送	資器材搬送	その他	
搬送人員		14	1	1	655	81	75	876	33	63	5,428	1,496	0	0	6	8,729
		4	2	7	608	61	64	962	22	62	5,427	1,611	0	0	9	8,839
管内	大崎市	13	0	0	546	72	59	740	30	57	4,334	1,162	0	0	6	7,019
		4	2	6	476	48	55	745	17	50	4,256	1,206	0	0	9	6,874
	加美郡	1	1	0	25	4	7	46	2	1	312	20	0	0	0	419
		0	0	0	41	6	6	83	0	6	372	24	0	0	0	538
	遠田郡	0	0	1	60	4	7	70	1	3	548	27	0	0	0	721
		0	0	1	73	4	2	102	3	4	520	32	0	0	0	741
大崎管内		14	1	1	631	80	73	856	33	61	5,194	1,209	0	0	6	8,159
		4	2	7	590	58	63	930	20	60	5,148	1,262	0	0	9	8,153
管外	仙台市	0	0	0	0	1	0	4	0	1	61	132	0	0	0	199
		0	0	0	1	0	0	11	0	1	63	159	0	0	0	235
	石巻市	0	0	0	13	0	1	4	0	1	84	69	0	0	0	172
		0	0	0	9	2	1	11	2	1	112	74	0	0	0	212
	塩竈市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	3	0	0	0	9
		0	0	0	0	0	0	1	0	0	6	5	0	0	0	12
	多賀城市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	黒川郡	0	0	0	4	0	0	6	0	0	15	10	0	0	0	35
		0	0	0	3	0	0	6	0	0	20	14	0	0	0	43
	栗原市	0	0	0	2	0	1	2	0	0	16	31	0	0	0	52
		0	0	0	2	0	0	0	0	0	16	46	0	0	0	64
	東松島市	0	0	0	0	0	0	3	0	0	39	27	0	0	0	69
		0	0	0	0	1	0	1	0	0	43	31	0	0	0	76
	登米市	0	0	0	2	0	0	1	0	0	5	10	0	0	0	18
		0	0	0	3	0	0	0	0	0	8	10	0	0	0	21
	宮城郡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	3
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	4
	柴田郡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他県内	0	0	0	3	0	0	0	0	0	6	1	0	0	0	10
		0	0	0	0	0	0	1	0	0	7	5	0	0	0	13
	県外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
		0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	5	0	0	0	6
大崎管外		0	0	0	24	1	2	20	0	2	234	287	0	0	0	570
		0	0	0	18	3	1	32	2	2	279	349	0	0	0	686



## 応急手当講習会等の現況と動向

平成28年中における応急手当講習会等実施状況は、地域住民、学校、事業所等を対象として、普通救命講習会（講習時間3時間）は146回2,650人、上級救命講習会（講習時間8時間）は8回201人、普及員講習会（講習時間24時間）は1回7人、平成24年から小学生（高学年）を対象に開催している救命入門コースは9回317人が受講しました。

それぞれの救命講習の受講者には「普通救命講習修了証」「上級救命講習修了証」「応急手当普及員認定証」「救命入門コース認定書」を交付しています。

また、傷病者等に対して簡単な応急手当を実施する内容の「応急手当講習会」を171回開催し4,068人が受講しました。

これら応急手当講習会の効果として、平成28年中では救急隊が傷病者のもとに到着するまでの間、家族や傷病者の近くにいた方々による応急手当が480件実施されました。



## 応急手当普通救命講習会等の開催状況

### 1. 講習会別受講人員

平成28年1月1日～平成28年12月31日

種 別	開催回数	受講人員	内 容
普通救命講習会	146回	2,650人	心肺蘇生法(成人)・大出血時の止血等の講習 (講習時間3時間)
上級救命講習会	8回	201人	心肺蘇生法(成人・小児・乳児)・大出血時の止血・ 傷病者管理・外傷手当・搬送法等の講習 (講習時間8時間)
普及員講習会	1回	7人	事業所・地域団体等の従業員に対して普通救命講習を指 導できるための講習 (講習時間24時間)
救命入門コース	9回	317人	対象者はこれまでの救命講習の対象者をより広げ、小学生 中高学年以上(概ね10歳以上)とし、カリキュラムは胸骨圧 迫とAEDの使用法
応急手当講習会	171回	4,068人	病気・ケガ・事故等の時、医師の治療を受けるまでの簡単な 応急手当の講習
合 計	335回	7,243人	

### 2. 講習会別・性別・年齢別受講人員

平成28年1月1日～平成28年12月31日

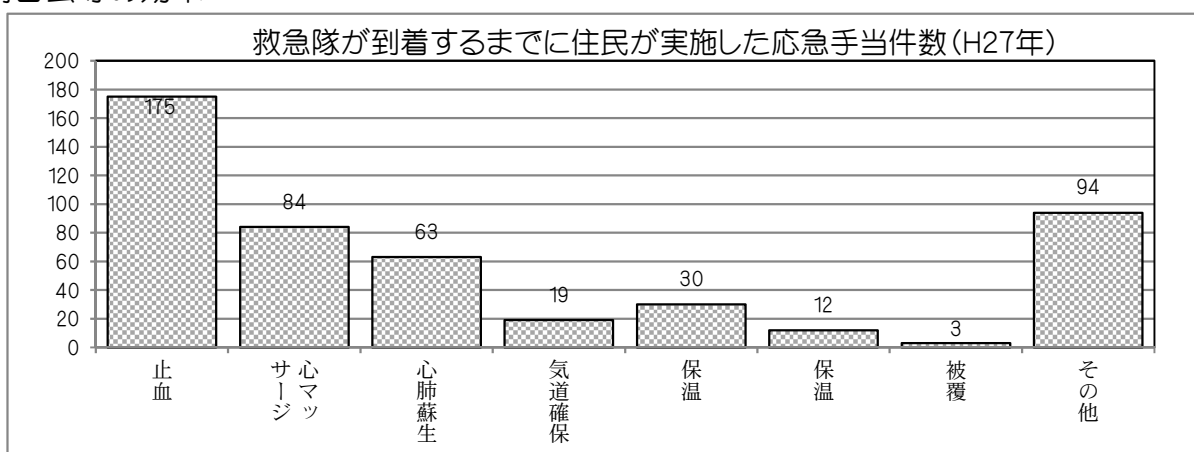
講習種別	年齢 性別	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代 以上	合計
	普通救命講習	男性(名)	795	108	137	110	103	97	27	
	女性(名)	613	129	133	132	105	123	35	0	1,270
	合計(名)	1,408	237	270	242	208	220	62	3	2,650
上級救命講習	男性(名)	9	10	12	8	11	29	8	1	88
	女性(名)	62	12	9	4	11	12	3	0	113
	合計(名)	71	22	21	12	22	41	11	1	201
普及員講習	男性(名)	0	1	1	1	2	0	0	0	5
	女性(名)	0	0	0	1	0	1	0	0	2
	合計(名)	0	1	1	2	2	1	0	0	7
救命入門コース	男性(名)	147								147
	女性(名)	170								170
	合計(名)	317	0	0	0	0	0	0	0	317
合計	男性(名)	951	119	150	119	116	126	35	4	1,620
	女性(名)	845	141	142	137	116	136	38	0	1,555
	合計(名)	1,796	260	292	256	232	262	73	4	3,175

※応急手当講習会については、年齢・性別を記入した申請書の提出を求めているため計上していません。

### 3. 講習会別・年度別受講人員

講習種別	年 別	回 数 (回)	性 別		合 計	備 考
			男性(名)	女性(名)		
普通救命講習	平成9年～平成18年	1082	11,622	13,171	24,793	
	平成19年	177	1,740	1,869	3,609	
	平成20年	192	2,021	1,943	3,964	
	平成21年	176	1,720	1,785	3,505	
	平成22年	165	1,728	1,605	3,333	
	平成23年	133	1,257	1,026	2,283	
	平成24年	152	1,455	1,508	2,963	
	平成25年	194	2,034	1,965	3,999	
	平成26年	172	1,753	1,772	3,525	
	平成27年	173	1,556	1,664	3,220	
平成28年	146	1,380	1,270	2,650		
小 計		2,762	28,266	29,578	57,844	
上級救命講習	平成11年～平成18年	45	464	979	1,443	
	平成19年	5	53	118	171	
	平成20年	5	59	112	171	
	平成21年	8	87	185	272	
	平成22年	7	68	132	200	
	平成23年	8	97	82	179	
	平成24年	7	54	123	177	
	平成25年	5	77	64	141	
	平成26年	6	47	100	147	
	平成27年	7	56	96	152	
平成28年	8	88	113	201		
小 計		111	1,150	2,104	3,254	
普及員講習	平成12年～平成18年	8	108	164	272	
	平成19年	2	2	11	13	
	平成20年	1	10	13	23	
	平成21年	1	9	8	17	
	平成22年	2	7	16	23	
	平成23年	1	3	3	6	
	平成24年	3	8	10	18	
	平成25年	1	3	3	6	
	平成26年	1	3	6	9	
	平成27年	2	17	2	19	
平成28年	1	5	2	7		
小 計		23	175	238	413	
救命入門 コース	平成24年	1	64	71	135	
	平成25年	3	52	66	118	
	平成26年	8	120	143	263	
	平成27年	6	125	113	238	
	平成28年	9	147	170	317	
小 計		27	508	563	1,071	
合 計		2,923	30,099	32,483	62,582	

### 4. 講習会等の効果



## 救助業務の現況と動向

平成28年中における救助活動実施状況は、出動件数83件（前年比5件減）救助人員62人（前年比226人減）となりました。

事故種別ごとでは、交通事故が52件と出動件数全体の62.7%を占め、救助人員も38人（61.3%）で、とても高い割合となっています。

近年の救助事象は、全国的に従来の火災、交通事故等に加え、地震災害、集中豪雨や土砂災害といった自然災害をはじめ、列車事故など多数の人命を巻き込んだ災害事象や毒物・劇物による化学災害等、大規模化、複雑多様化し、活動は幅広い範囲に及んでいます。

このことから、高度な知識、技術を習得した専門的な救助隊員を配置し、機動力、資機材等の効率的な活用を図り、住民の安全確保のため、更なる救助体制の充実強化に努めてまいります。

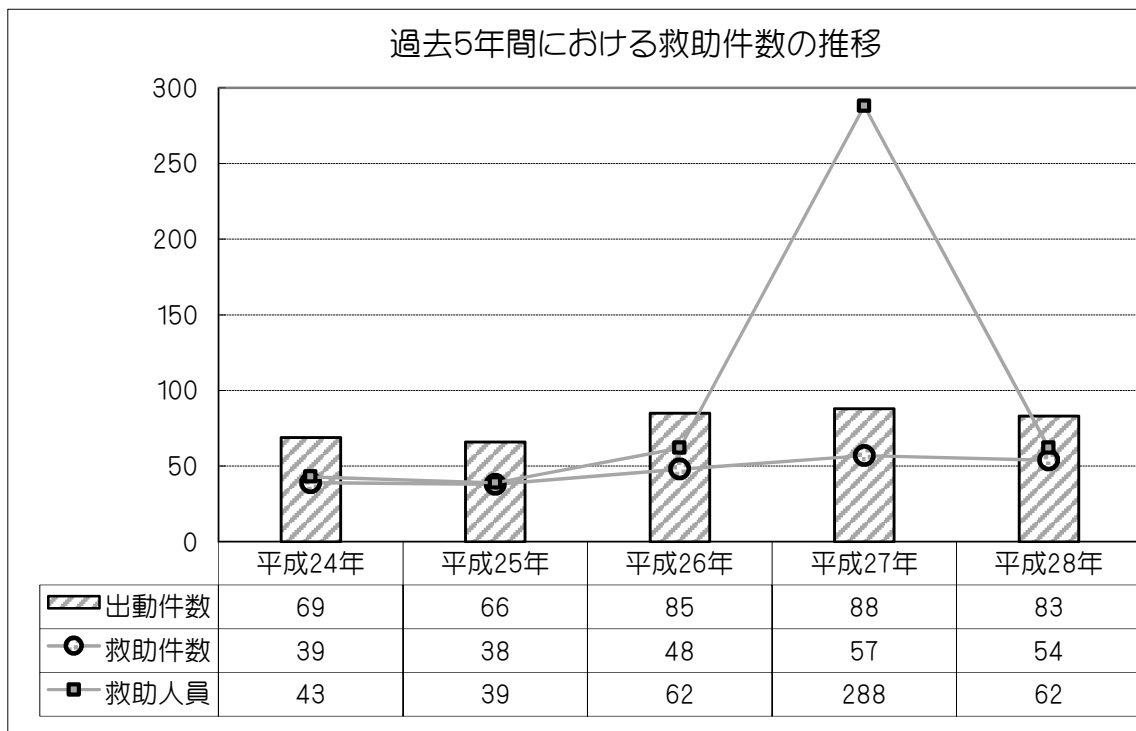


# 救助活動状況

平成28年1月1日～平成28年12月31日

区分	事故種別	火災		交通事故	水難事故	自然風水害等	機械による事故	建物等に よる事故	酸ガス及び 欠事故	破裂事故	その他の 事故	計
		建物	建物以外									
出動件数				52	7		3	7			14	83
活動件数				31	7		2	3			11	54
救助人員				38	8		2	3			11	62
出動人員	専任救助隊員											0
	兼任救助隊員			267	35		19	43			69	433
	消防隊員			319	52		21	29			85	506
	救急隊員			198	21		9	24			42	294
	消防団員				10						16	26
計		0	0	784	118	0	49	96	0	0	212	1,259
出動車両	救助工作車			23	3		1	5			4	36
	消防ポンプ自動車			94	12		6	9			26	147
	はしご車											0
	化学車											0
	指揮・司令車			64	10		6	7			19	106
	救急自動車			66	7		3	8			14	98
	船舶											0
	ヘリコプター											0
	その他の車両			5	4		1				1	11
	消防団車両				5						3	8
計		0	0	252	41	0	17	29	0	0	67	406
事故発生場所	住居							4				4
	その他の屋内						2	2			1	5
	高速自動車道路等			3								3
	その他の道路			33								33
	内水面			2	7						2	11
	外水面											0
	山岳										2	2
	その他の屋外			14			1	1			9	25
	地下											0
その他											0	
計		0	0	52	7	0	3	7	0	0	14	83
搬送別人員	救急自動車			32	3		2	1			4	42
	ヘリコプター											0
	その他の車両											0
	消防機関以外										2	2

過去5年間における救助件数の推移



# 消防装備等機械器具保有状況

平成29年4月1日現在

区分	装備名	数量	区分	装備名	数量
一般救助用器具	かぎ付き梯子	5	主な資機材	携帯警報機	5
	バスケットストレッチャ(折り畳み式)	4		活線警報機	4
	三連梯子	13		空気充填機	2
	金属製折りたたみ梯子等	2		オイルフェンス	3
	救助幕・救助マット	1		携帯無線機	49
	救命索発射銃	2		衛星携帯電話	11
	救助用縛帯	7	測定器具	可燃性ガス測定器	5
	平担架	1		有毒ガス測定器	4
	滑車	19		酸素濃度測定器	3
	サバイバースリング	6		放射線測定器	22
重量物排除器具	油圧ジャッキ	2	高度救助資器材	画像探査機Ⅰ型	1
	油圧スプレッダー(大型含む)	7		画像探査機Ⅱ型	1
	可搬式ウインチ	9		地中音響探査機	1
	マット型空気圧ジャッキ	2		熱画像直視装置	5
	充電式油圧切断機マルチカッター	1		夜間用暗視装置	1
	充電式油圧切断機スプレッダー	1		呼吸器具保護	空気呼吸器
	充電式油圧切断機バーカッター	1	酸素呼吸器		4
切断用器具	油圧切断機	8	隊員保護器具	送排風機	2
	エンジンカッター	14		耐電手袋	15
	ガス溶断機	1		耐電衣	5
	チェンソー	15		耐電ズボン	5
	鉄線カッター	20		耐電長靴	14
	空気鋸	2		耐熱服	7
破壊用器具	万能斧	44	水難救助器具	放射線防護服	5
	ハンマー	20		潜水器具	5
	削岩機	1		救命胴衣	71
山岳用	ハンマードリル	3		水中投光器	3
	登山器具	5		救命浮環	20
主な資機材	バスケット担架	3		高度救急資器材等	浮標
	エアーカッター	1	救命ボート		8
	小型動力ポンプ B-2級	3	船外機		4
	小型動力ポンプ B-3級	0	気道確保用資器材一式		13
	フォグガン	14	自動体外式除細動器(半自動含)	27	
	無反動ノズル	5	ショックパンツ	13	
	放水銃	2	輸液用資器材一式	13	
	低発泡ノズル	3	心電図電送装置	13	
	発動発電機 300W	1	患者監視装置	13	
	発動発電機 400W	5	室内紫外線除菌装置	5	
	発動発電機 500W~900W	21	EOG方式滅菌器	1	
	発動発電機 1KW	3	オートクレープ滅菌器(高圧蒸気)	5	
	エアーテント	4	紫外線滅菌ロッカー	3	

# 防 予

平成二十九年 大崎広域防火ポスター



平成二十八年 防火ポスターコンクール最優秀賞  
大崎市立松山小学校 2年 只埜 旭さんの作品

平成29年度 大崎広域防火標語

未来まで 燃やしてしまう 小さな火

平成28年度防火標語コンクール最優秀賞

美里町立小牛田中学校 3年 櫻井 そらさんの作品

## 予防業務の現況

防火対象物数は平成29年3月31日現在、6,860件（前年比25件減）で、平成22年以降増加してきた防火対象物数がここにきて減少しました。この要因のひとつは、「旅館・ホテル」及び「社会福祉施設」の数が減少に転じたことが影響したものです。（図1参照）

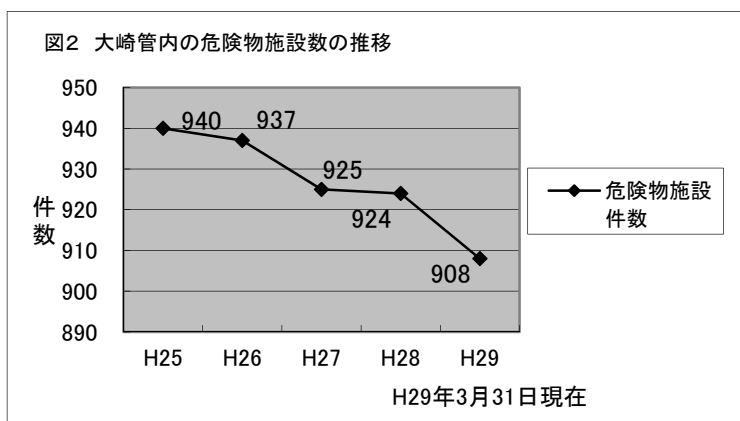
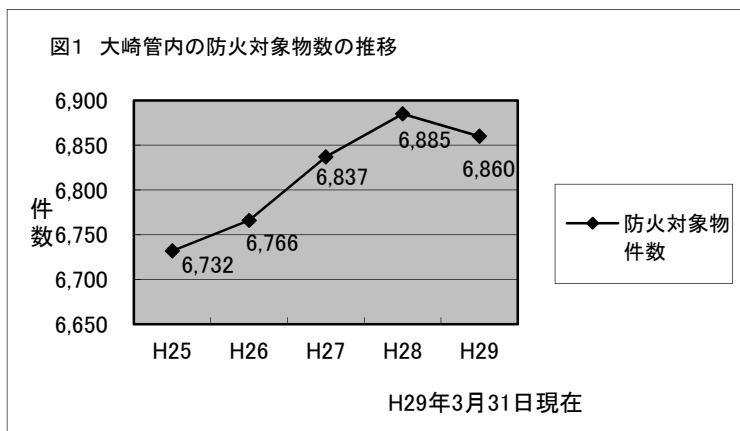
危険物施設数は平成29年3月31日現在、908件（前年比16件減）で、過去5年の件数は減少傾向にあります。この背景には、社会構造的な要因による石油製品需要の減少、その他同業者間の価格競争による採算性の悪化なども要因の一つとして推測されます。（図2参照）



さて、平成24年5月に広島県福山市で発生したホテル火災や平成25年2月に長崎市で発生した認知症高齢者グループホーム火災などを受け、国が行った調査結果等において、問題のある防火対象物が数多く存在していることが判明しました。

このことから、総務省では「違反対象物に係る公表制度の実施について」を通知し、建物の利用者が自ら火災危険性に関する情報を入手し、安心して建物を利用することができるよう、消防署等が保有する建物の火災危険性に関する情報をホームページで公表するように制度化を進めております。

当地域でも、平成30年4月からの運用開始に向けて、防火対象物の安全対策を積極的に推進してまいります。





# 防火対象物数

平成29年3月31日現在

署別 市町別			古川消防署		鳴子消防署		加美消防署			遠田消防署		小計	合計
			大崎市		小計	加美消防署		小計	遠田消防署				
						加美町	色麻町		涌谷町	美里町			
1項	イ	劇場・映画館等	9	1	10	5		5	1	3	4	19	
	ロ	公会堂・集会場	105	18	123	33	15	48	21	27	48	219	
2項	イ	バー・キャバレー等	2		2			0			0	2	
	ロ	遊技場 ダンスホール等	16		16	3		3	3	4	7	26	
	ハ	性風俗関連特殊営業店 舗	0		0			0			0	0	
	ニ	個室利用役務提供店舗	5		5			0			0	5	
3項	イ	待合・料理店等	3		3			0			0	3	
	ロ	飲食店	98	19	117	20	3	23	9	12	21	161	
4項		百貨店 マーケット等	247	29	276	42	5	47	21	29	50	373	
5項	イ	旅館・ホテル等	36	88	124	10	1	11	1	4	5	140	
	ロ	寄宿舎・共同住宅等	1054	79	1,133	83	25	108	32	92	124	1,365	
6項	イ	(1) 特定診療科名を有する 等の病院	5	1	6		1	1	1	2	3	10	
		(2) 特定診療科名を有する 等の診療所	1		1			0		1	1	2	
		(3) (1)、(2)を除く病院・診療 所、助産所（入所）等	16	3	19			0	3	3	3	22	
		(4) 入院・入所施設を有しない 診療所・助産所	51	3	54	14		14	5	12	17	85	
	ロ	(1) 老人短期入所施設等	59	10	69	9	3	12	9	26	35	116	
		(2) 救護施設	0		0			0			0	0	
		(3) 乳児院	0		0			0			0	0	
		(4) 障害児入所施設	0		0			0			0	0	
		(5) 障害者支援施設等	5		5			0	1		1	6	
	ハ	(1) 老人デイサービス等	30	5	35	8	2	10	4	6	10	55	
		(2) 更生施設	0		0			0			0	0	
		(3) 助産施設等	38	6	44	7	2	9	1	3	4	57	
		(4) 児童発達支援センター 等	1		1			0			0	1	
		(5) 身体障害者福祉セン ター等	19	7	26	3	1	4	3	3	6	36	
	ニ	幼稚園・特別支援学校	25	3	28	6	2	8	4	7	11	47	
	7項		小・中・高、大学等	145	36	181	37	13	50	19	54	73	304
8項		図書館・美術館等	7	4	11	5		5	3	1	4	20	
9項	イ	蒸気浴場 熱気浴場等	0		0			0			0	0	
	ロ	9項イ以外の公衆浴 場	4	4	8	3	2	5	1		1	14	
10項		車両の停車場等	1		1			0		2	2	3	
11項		神社・寺院・教会等	55	10	65	16	4	20	7	16	23	108	
12項	イ	工場・作業場	460	86	546	195	43	238	91	129	220	1,004	
	ロ	映画・テレビスタジオ	0		0			0			0	0	
13項	イ	自動車庫車庫・駐車場	37	27	64	16	7	23	6	7	13	100	
	ロ	飛行機等格納庫	0		0			0			0	0	
14項		倉庫	340	75	415	178	39	217	55	115	170	802	
15項		前各項に該当しない事 業所	602	213	815	180	87	267	91	99	190	1,272	
16項	イ	特定用途複合用途防火 対象物	201	40	241	29	5	34	20	23	43	318	
	ロ	(16) 項イ以外の複合 対象物	68	23	91	15	1	16	9	18	27	134	
17項		文化財等	4	4	8	4		4	19		19	31	
合計			3,749	794	4,543	921	261	1,182	440	695	1,135	6,860	

地上5階未満、地上5階以上の防火対象物数

平成29年3月31日現在

防火対象物区分			古川消防署			鳴子消防署			加美消防署			遠田消防署			各消防署		
			地上5階未満	地上5階以上	小計	地上5階未満	地上5階以上	小計	地上5階未満	地上5階以上	小計	地上5階未満	地上5階以上	小計	地上5階未満	地上5階以上	合計
1項	イ	劇場・映画館等	9	0	9	1		1	5		5	4		4	19	0	19
	ロ	公会堂・集会場	105	0	105	18		18	48		48	48		48	219	0	219
2項	イ	バー・キャバレー等	2	0	2			0			0			0	2	0	2
	ロ	遊技場 ダンスホール等	16	0	16			0	3		3	7		7	26	0	26
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗	0	0	0			0			0			0	0	0	0
	ニ	個室利用役務提供店舗	5	0	5			0			0			0	5	0	5
3項	イ	待合・料理店等	3	0	3			0			0			0	3	0	3
	ロ	飲食店	98	0	98	19		19	23		23	21		21	161	0	161
4項		百貨店 マーケット等	247	0	247	29		29	47		47	50		50	373	0	373
5項	イ	旅館・ホテル等	29	7	36	74	14	88	11		11	5		5	119	21	140
	ロ	寄宿舎・共同住宅等	1,019	35	1,054	75	4	79	106	2	108	120	4	124	1,320	45	1,365
6項	イ	(1) 特定診療科名を有する等の病院	3	2	5	1		1	1		1	3		3	8	2	10
		(2) 特定診療科名を有する等の診療所	1	0	1			0			0	1		1	2	0	2
		(3) (1)、(2)を除く病院・診療所、助産所（入所）等	13	3	16	3		3			0	3		3	19	3	22
		(4) 入院・入所施設を有しない診療所・助産所	50	1	51	3		3	14		14	17		17	84	1	85
	ロ	(1) 老人短期入所施設等	57	2	59	10		10	12		12	35		35	114	2	116
		(2) 救護施設	0	0	0			0			0			0	0	0	0
		(3) 乳児院	0	0	0			0			0			0	0	0	0
		(4) 障害児入所施設	0	0	0			0			0			0	0	0	0
		(5) 障害者支援施設等	5	0	5			0			0	1		1	6	0	6
	ハ	(1) 老人デイサービス等	30	0	30	5		5	10		10	10		10	55	0	55
		(2) 更生施設	0	0	0			0			0			0	0	0	0
		(3) 助産施設等	38	0	38	6		6	9		9	4		4	57	0	57
		(4) 児童発達支援センター等	1	0	1			0			0			0	1	0	1
		(5) 身体障害者福祉センター等	19	0	19	7		7	4		4	6		6	36	0	36
	ニ	幼稚園・特別支援学校	25	0	25	3		3	8		8	11		11	47	0	47
	7項		小・中・高、大学等	144	1	145	36		36	50		50	73		73	303	1
8項		図書館・美術館等	7	0	7	4		4	5		5	4		4	20	0	20
9項	イ	蒸気浴場 熱気浴場等	0	0	0			0			0			0	0	0	0
	ロ	9項イ以外の公衆浴場	4	0	4	4		4	5		5	1		1	14	0	14
10項		車両の停車場等	1	0	1			0			2		2	3	0	3	
11項		神社・寺院・教会等	55	0	55	10		10	20		20	23		23	108	0	108
12項	イ	工場・作業場	460	0	460	86		86	238		238	218	2	220	1,002	2	1,004
	ロ	映画・テレビスタジオ	0	0	0			0			0			0	0	0	0
13項	イ	自動車庫・駐車場	36	1	37	27		27	23		23	13		13	99	1	100
	ロ	飛行機等格納庫	0	0	0			0			0			0	0	0	0
14項		倉庫	339	1	340	75		75	217		217	170		170	801	1	802
15項		前各項に該当しない事業所	589	13	602	212	1	213	267		267	189	1	190	1,257	15	1,272
16項	イ	特定用途複合用途防火対象物	196	5	201	40		40	34		34	43		43	313	5	318
	ロ	(16) 項イ以外の複合対象物	61	7	68	23		23	16		16	26	1	27	126	8	134
17項		文化財等	4	0	4	4		4	4		4	19		19	31	0	31
合計			3,671	78	3,749	775	19	794	1,180	2	1,182	1,127	8	1,135	6,753	107	6,860

※地上5階未満は、地下のみを含む。

# 防火対象物における防火管理の状況

平成29年3月31日現在

防火対象物区分		署別 区分	古川消防署			鳴子消防署			加美消防署			遠田消防署			合計		
			法8条該当対象物	防火管理者選任数	消防計画届出数	法8条該当対象物	防火管理者選任数	消防計画届出数	法8条該当対象物	防火管理者選任数	消防計画届出数	法8条該当対象物	防火管理者選任数	消防計画届出数	法8条該当対象物	防火管理者選任数	消防計画届出数
1項	イ	劇場・映画館等	9	9	9				4	4	4	6	6	6	19	19	19
	ロ	公会堂・集会場	99	97	97	16	16	16	50	46	46	48	47	47	213	206	206
2項	イ	バー・キャバレー等	1	1	1										1	1	1
	ロ	遊技場 ダンスホール等	14	14	14				3	3	3	7	7	7	24	24	24
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗	0	0	0										0	0	0
	ニ	個室利用役務提供店舗	5	5	5										5	5	5
3項	イ	待合・料理店等	3	3	3										3	3	3
	ロ	飲食店	95	78	77	14	14	14	19	19	19	20	19	19	148	130	129
4項		百貨店 マーケット等	176	145	143	24	24	24	36	35	35	45	41	40	281	245	242
5項	イ	旅館・ホテル等	20	19	17	60	60	60	5	5	5	6	6	6	91	90	88
	ロ	寄宿舎・共同住宅等	41	37	37	2	2	2	6	6	6	11	11	11	60	56	56
6項	イ	(1) 特定診療科名を有する等の病院	3	3	3							3	3	3	6	6	6
		(2) 特定診療科名を有する等の診療所	1	1	1							1	1	1	2	2	2
		(3) (1)、(2)を除く病院・診療所、助産所(入所)等	14	13	13	1	1	1				2	2	2	17	16	16
		(4) 入院・入所施設を有しない診療所・助産所	14	10	9				3	3	3	3	3	3	20	16	15
	ロ	(1) 老人短期入所施設等	50	48	47	8	8	8	9	9	9	33	32	32	100	97	96
		(2) 救護施設	0	0	0										0	0	0
		(3) 乳児院	0	0	0										0	0	0
		(4) 障害児入所施設	0	0	0										0	0	0
		(5) 障害者支援施設等	0	0	0							1	1	1	1	1	1
	ハ	(1) 老人デイサービス等	14	13	13	1	1	1	6	6	6	3	3	3	24	23	23
		(2) 更生施設	0	0	0										0	0	0
		(3) 助産施設等	33	32	32	5	5	5	8	7	7	4	4	4	50	48	48
		(4) 児童発達支援センター等	1	1	1										1	1	1
		(5) 身体障害者福祉センター等	9	8	7	3	2	2	2	2	2	3	3	3	17	15	14
ニ	幼稚園・特別支援学校	14	14	14	2	2	2	6	6	6	6	6	6	28	28	28	
7項		小・中・高、大学等	43	43	43	11	11	11	15	14	14	17	17	17	86	85	85
8項		図書館・美術館等	5	5	5	4	4	4	5	5	5	3	3	3	17	17	17
9項	イ	蒸気浴場 熱気浴場等	0	0	0										0	0	0
	ロ	9項イ以外の公衆浴場	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	6	6	6
10項		車両の停車場等	0	0	0										0	0	0
11項		神社・寺院・教会等	33	24	23	7	6	6	12	12	12	18	15	15	70	57	56
12項	イ	工場・作業場	39	38	38	3	3	3	19	19	19	8	8	8	69	68	68
	ロ	映画・テレビスタジオ	0	0	0										0	0	0
13項	イ	自動車車庫・駐車場	0	0	0										0	0	0
	ロ	飛行機等格納庫	0	0	0										0	0	0
14項		倉庫	2	1	1							2	1	1	4	2	2
15項		前各項に該当しない事業所	106	96	94	13	13	13	33	31	31	30	30	30	182	170	168
16項	イ	特定用途複合用途防火対象物	158	136	134	35	35	35	32	31	31	33	32	32	258	234	232
	ロ	(16) 項イ以外の複合対象物	7	5	5	2	2	2	2	2	2	1	1	1	12	10	10
17項		文化財等	1	1	1										1	1	1
合計			1,012	902	889	213	211	211	276	266	266	315	303	302	1,816	1,682	1,668
届出比率%				89.1%	87.8%		99.1%	99.1%		96.4%	96.4%		96.2%	95.9%		92.6%	91.9%

定期点検報告制度該当防火対象物数

平成29年3月31日現在

署別市町別			古川消防署	鳴子消防署	小計	加美消防署		小計	遠田消防署		小計	合計
			大崎市			加美町	色麻町		涌谷町	美里町		
防火対象物区分												
1項	イ	劇場・映画館等	9		9	4		4	1	3	4	17
	ロ	公会堂・集会場	45	8	53	13	2	15	8	13	21	89
2項	イ	バー・キャバレー等			0			0			0	0
	ロ	遊技場 ダンスホール等	14		14	3		3	2	2	4	21
	ハ	性風俗関連特殊営業 店舗			0			0			0	0
	ニ	個室利用役務提供店 舗	2		2			0			0	2
3項	イ	待合・料理店等			0			0			0	0
	ロ	飲食店	3	1	4			0			0	4
4項		百貨店 マーケット等	47	4	51	4		4	6	5	11	66
5項	イ	旅館・ホテル等	3	13	16	1		1			0	17
6項	イ	(1) 特定診療科名を有する等の病院	1		1		1	1			0	2
		(2) 特定診療科名を有する等の診療所			0			0			0	0
		(3) (1)、(2)を除く病院・診療所、助産所（入所）等	6		6			0			0	6
		(4) 入院・入所施設を有しない診療所・助産所	1		1			0			0	1
	ロ	(1) 老人短期入所施設等	1		1			0			0	1
		(2) 救護施設			0			0			0	0
		(3) 乳児院			0			0			0	0
		(4) 障害児入所施設			0			0			0	0
		(5) 障害者支援施設等			0			0			0	0
	ハ	老人デイサービス等			0	1		1			0	1
ニ	幼稚園・盲ろう学校			0			0			0	0	
9項	イ	蒸気浴場 熱気浴場等			0			0			0	0
16項	イ	特定用途複合 用途防火対象物	23	8	31	8	2	10	2	4	6	47
合計			155	34	189	34	5	39	19	27	46	274

消防同意事務処理状況

平成28年度

種別		署別市町別		小計	加美消防署		小計	遠田消防署		小計	合計
		大崎市			加美町	色麻町		涌谷町	美里町		
新	築	140	19	159	24	4	28	15	17	32	219
増	築	37	5	42	16	3	19	2	10	12	73
改	築			0			0			0	0
移	転			0			0			0	0
修	繕			0			0			0	0
模	様替	1		1			0			0	1
用	途変更	6	2	8			0			0	8
そ	の他	1		1			0			0	1
合	計	185	26	211			47	17	27	44	302
消防設備設置指導を行った		77	11	88	23	4	27	8	12	20	135

## 危険物施設状況

平成29年3月31日現在

施設区分		署 別				
		古川消防署	鳴子消防署	加美消防署	遠田消防署	合 計
危険物施設数（完成施設）	製 造 所	2	1			3
	屋 内 貯 蔵 所	56	14	11	18	99
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	34	9	15	21	79
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	3		3	1	7
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	119	51	54	30	254
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所					0
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	55	15	54	45	169
	屋 外 貯 蔵 所	3	1	2	5	11
	給 油 取 扱 所	57	21	32	24	134
	販 売 取 扱 所					0
	一 般 取 扱 所	75	24	33	20	152
	移 送 取 扱 所					0
合 計		404	136	204	164	908
数量別施設数	5 倍 以 下	190	66	114	84	454
	5 倍 を 超 え 10 倍 以 下	84	29	29	25	167
	10 倍 を 超 え 50 倍 以 下	70	22	37	30	159
	50 倍 を 超 え 100 倍 以 下	27	8	12	5	52
	100 倍 を 超 え 150 倍 以 下	10	4	3	6	23
	150 倍 を 超 え 200 倍 以 下	8	5	6	5	24
	200 倍 を 超 えるもの	15	2	3	9	29
合 計		404	136	204	164	908

## 危険物関係事務処理状況

平成28年度

署 別 許可区分  施設区分	古川消防署					鳴子消防署					加美消防署					遠田消防署					合 計										
	許 可		完 成		仮 使用 承認	許 可		完 成		仮 使用 承認	許 可		完 成		仮 使用 承認	許 可		完 成		仮 使用 承認	許 可		完 成		仮 使用 承認						
	設 置	変 更	設 置	変 更		設 置	変 更	設 置	変 更		設 置	変 更	設 置	変 更		設 置	変 更	設 置	変 更		設 置	変 更	設 置	変 更		設 置	変 更				
製 造 所		2		1	2																					0	2	0	1	2	
屋 内 貯 蔵 所	1	1	1	1	1																					1	1	1	1	1	
屋外タンク貯蔵所		3		4	4		1		1			1					1	2		3	2						1	7	0	8	6
屋内タンク貯蔵所																										0	0	0	0	0	
地下タンク貯蔵所	1	1	2	1			2		2																	1	3	2	3	0	
簡易タンク貯蔵所																										0	0	0	0	0	
移動タンク貯蔵所	7	1	7	1		1	1				5	5				4	1	4	1							17	2	17	2	0	
屋 外 貯 蔵 所																										0	0	0	0	0	
給 油 取 扱 所	1	12	1	12	9		2		2	2		6		7	4	1	6	1	6	6						2	26	2	27	21	
一 般 取 扱 所	1		2				4		4	3																1	4	2	4	3	
合 計	11	20	13	20	16	1	9	1	9	5	5	7	5	7	4	6	9	5	10	8						23	45	24	46	33	

## 危険物関係申請状況

平成28年度

区 分	署 別	古川消防署	鳴子消防署	加美消防署	遠田消防署	合 計
タンクの水張, 水圧検査 (政令)						0
タンクの水張, 水圧検査 (条例)						0
仮 貯 蔵			2			2
仮 取 扱			2	1		3

## 圧縮アセチレンガス等の届出状況

平成29年3月31日現在

区 分	署 別	古川消防署	鳴子消防署	加美消防署	遠田消防署	合 計
圧縮アセチレンガス等	圧縮アセチレンガス	4			7	11
	無水硫酸				1	1
	液化石油ガス	757	120	190	180	1,247
	生石灰	8		3	6	17
	毒物	7			2	9
	劇物	39			2	41
指定可燃物等	可燃性固体類	2			1	3
	石炭・木炭類					0
	可燃性液体類	10		2	1	13
	合成樹脂類	55	2	22	21	100
	再生資源燃料	2				2
	その他	37	18	23		78
指定可燃物に類する物品		11			17	28
少 量 危 険 物		835	294	384	338	1,851
	移動タンク	47	24	20	27	118

## 予防査察実施状況

【防火対象物】

平成28年度

防火対象物区分		署別	古川消防署	鳴子消防署	加美消防署	遠田消防署	合計
			実施件数	実施件数	実施件数	実施件数	実施件数
1項	イ 劇場・映画館等		10	2	5	4	21
	ロ 公会堂・集会場		67	19	35	33	154
2項	イ バー・キャバレー等						0
	ロ 遊技場・ダンスホール等		8		4	4	16
	ハ 性風俗関連特殊営業店舗						0
	ニ 個室利用役務提供店舗		1				1
3項	イ 待合・料理店等		2		1		3
	ロ 飲食店		48	13	22	2	85
4項	百貨店・マーケット等		143	38	51	32	264
5項	イ 旅館・ホテル等		122	129	40	20	311
	ロ 寄宿舎・共同住宅等		62	14	17	11	104
6項	イ 病院・診療所		40	4	4	1	49
	ロ 老人短期入所施設等		83	10	12	37	142
	ハ 老人デイサービス等		48	15	20	4	87
	ニ 幼稚園・盲ろう学校		17	3	6		26
7項	小・中・高等・大学等		80	19	37	8	144
8項	図書館・美術館等		4	1	3		8
9項	イ 蒸気浴場・熱気浴場等						0
	ロ 9項イ以外の公衆浴場		3	1	11		15
10項	車両の停車場等						0
11項	神社・寺院・教会等		27	6	10	5	48
12項	イ 工場・作業場		135	22	63	22	242
	ロ 映画・テレビスタジオ						0
13項	イ 自動車庫車庫・駐車場		4	15	15	2	36
	ロ 飛行機等格納庫						0
14項	倉庫		105	30	55	20	210
15項	前各項に該当しない事業所		121	73	95	23	312
16項	イ 特定用途複合用途防火対象物		80	28	26	13	147
	ロ (16) 項イ以外の複合対象物		13	7	3	3	26
17項	文化財等			2	4	19	25
実施件数合計			1,223	451	539	263	2,476

【危険物施設】

危険物施設区分		署別	古川消防署	鳴子消防署	加美消防署	遠田消防署	合計
			実施件数	実施件数	実施件数	実施件数	実施件数
製造所			1	1			2
取扱所	給油取扱所		55	22	25	0	102
	一般取扱所		40	24	24	24	112
貯蔵所	屋内貯蔵所		14	10	7	8	39
	屋外貯蔵所		2		2		4
	屋内タンク貯蔵所		2		1		3
	屋外タンク貯蔵所		14	7	5	2	28
	地下タンク貯蔵所		49	37	36	4	126
	簡易タンク貯蔵所					10	10
	移動タンク貯蔵所		61	16	43		120
実施件数合計			238	117	143	48	546

査察実施件数は、平成28年4月1日から平成29年3月31日までのもの。

液化石油ガス関係事務処理状況

平成28年度

区 分		署 別				合 計
		古川消防署	鳴子消防署	加美消防署	遠田消防署	
液化石油ガス 設備工事	設備工事届	13	2	1		16
特定液化石油ガス 設備工事業	事業開始届	1				1
	事業変更届	8			1	9
	事業廃止届					0
立入検査						0

火薬類取締関係事務処理状況

平成28年度

区 分		署 別				合 計	
		古川消防署	鳴子消防署	加美消防署	遠田消防署		
許 可	譲渡許可					0	
	譲受許可			3		3	
	営業許可		2			2	
	設置・移転許可		1			1	
	消費許可	煙火	10		2	5	17
		その他			3		3
火薬庫保安検査		2				2	
火薬庫外貯蔵所指示		1	1			2	
立入検査	販売業者	1			5	6	
	火薬庫	2				2	
	消費業者	11		4	5	20	
	その他				1	1	



## 民間防火組織の結成状況

平成29年4月1日現在

組織区分 市町名	幼年消防クラブ		少年消防クラブ		婦人防火クラブ	
	クラブ数	クラブ員数	クラブ数	クラブ員数	クラブ数	クラブ員数
大崎市	32	1,080	0	0	104	15,972
色麻町	0	0	0	0	25	1,821
加美町	5	138	0	0	74	5,498
涌谷町	5	351	1	67	48	3,785
美里町	0	0	0	0	9	7,453
合計	42	1,569	1	67	260	34,529

### 《幼少年消防クラブについて》

幼少年消防クラブは、活動を通じて規律正しく明るく元気な子供を育成することを目的とし、消防署の見学や消防車、救急車等の見学を通じて消防の仕事を学んでもらい、また、避難訓練により建物等で火災が発生した場合、早く安全に避難する方法を学ぶなど、火災予防を自覚するよう育成指導に努めています。



岩出山幼稚園



防災護身術

### 《大崎地域婦人防火クラブ連合会について 事務局：大崎消防本部予防課内》

昭和56年に「我が家と地域から火災を無くそう」を合言葉に大崎地域の婦人防火クラブの健全な育成とクラブ相互の親睦を図り、火災予防思想の普及に寄与することを目的として結成されました。

平成28年度婦人防火クラブ大会の研修テーマとして「地域で輝き 歩み続ける 婦人防火クラブ」を掲げ、防災・減災の実践を再認識し「無火災宣言」を誓いました。また、自主リーダー研修会は「美里町」において、講演及び防災に関して地域が抱える問題点などを検討し発表する「グループ討議」を行いました。今後も、地域の防火防災のリーダーとして家庭の防火対策や広報活動など、防火思想の普及に幅広く活動していきます。



婦人防火クラブ大会



美里町街頭キャンペーン

# 通 信 指 令



## ◎ 119番通報のポイント ◎

★ あわてず、落ち着いて話して下さい！

1. 火事？それとも救急？
2. あなたの居る場所・緊急車が必要な住所
3. 誰が、どこで、どうしたのか？
4. あなたのお名前、でんわ番号



# 高機能消防指令センターおよび 消防救急デジタル無線システム

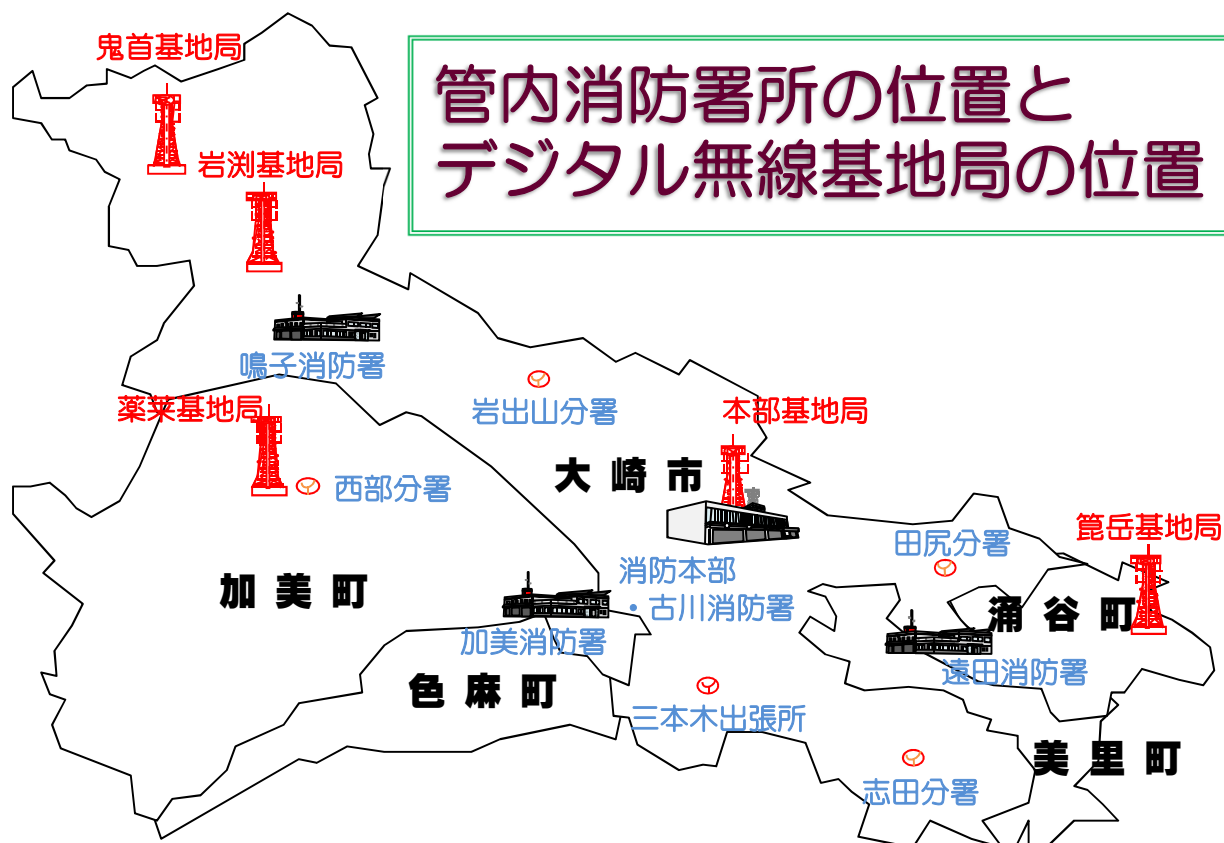
消防指令センター及び消防救急無線は、平成25年4月1日からデジタル方式で本格運用を開始しています。

大崎管内に5ヶ所の無線基地局を設置し、また最新鋭のデジタル通信機能を備えております。

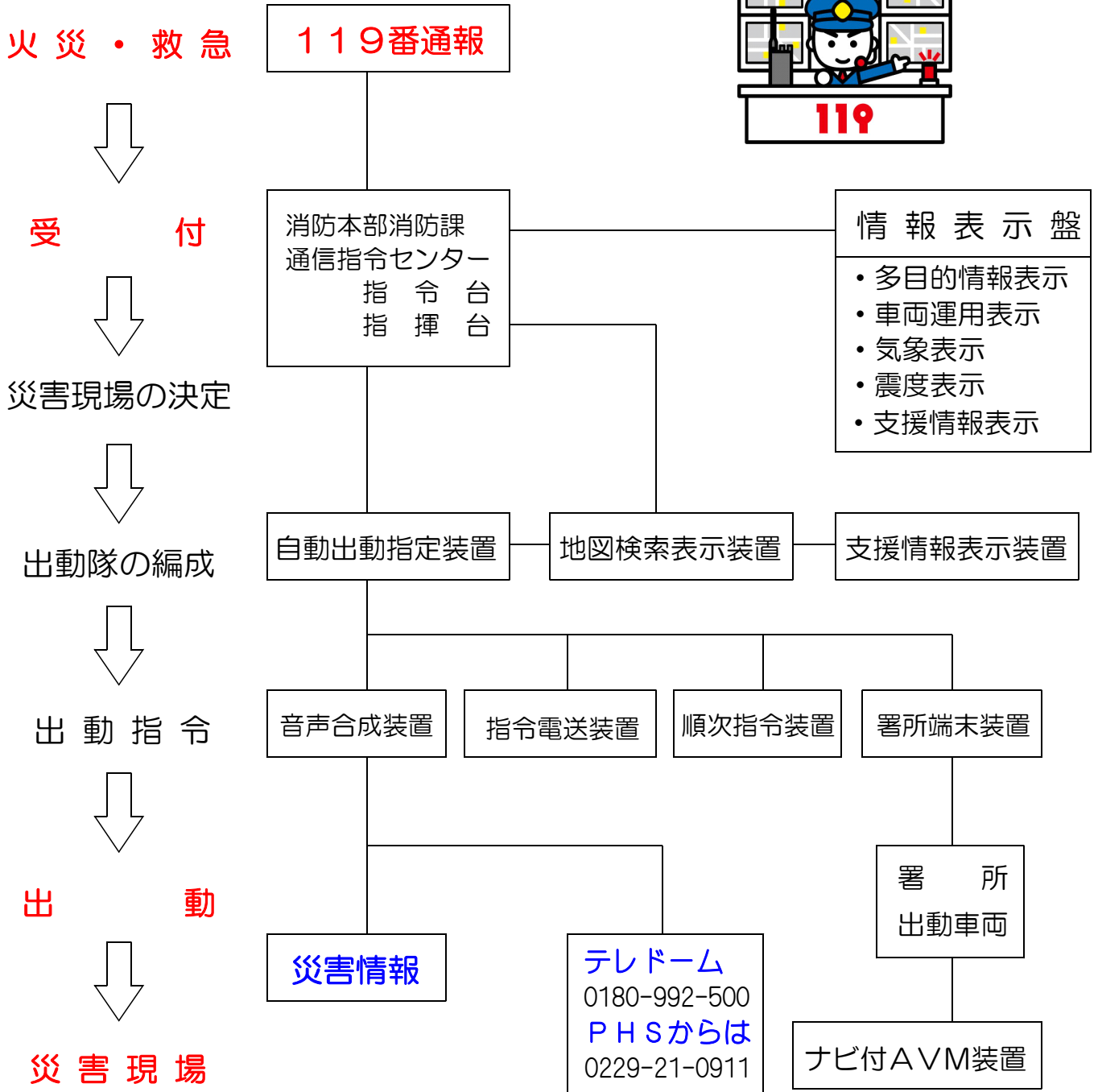
災害現場までの誘導や車両位置の把握など、災害活動をスムーズに行うために必要な情報が即座に得られる機能を有し、迅速、安全、確実な災害対応を心がけ、より一層の安全、安心を図ってまいります。

## 【消防救急デジタル無線設備の概要】

基地局：	5ヶ所		
卓上固定移動局：	4台	車載型移動局：	52台
可搬型移動局：	2台	携帯型移動局：	49台



# 消防緊急通信指令システム運用の流れ



# 1 1 9 番 等 受 付 状 況 ( 災 害 )

平成28年1月1日～平成28年12月31日

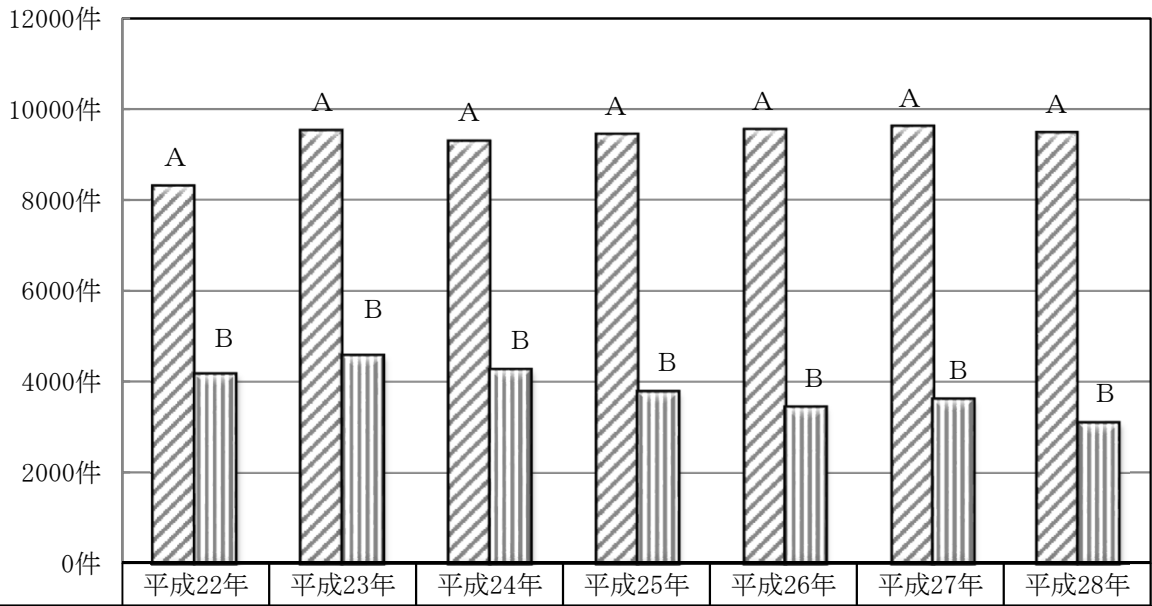
月別	受付種別	火 災	救 急	救助	その他	合 計
1月	1 1 9 番	2	546		6	554
	携 帯 1 1 9	3	195	3	8	209
	加 入 電 話		23	4	5	32
	そ の 他		4		1	5
	小 計	5	768	7	20	800
2月	1 1 9 番	3	526	1	5	535
	携 帯 1 1 9	2	150		6	158
	加 入 電 話	2	22		4	28
	そ の 他	1	7		1	9
	小 計	8	705	1	16	730
3月	1 1 9 番	8	519	3	11	541
	携 帯 1 1 9	8	200	3	14	225
	加 入 電 話	3	28	5	2	38
	そ の 他	1	9		3	13
	小 計	20	756	11	30	817
4月	1 1 9 番		546	2	3	551
	携 帯 1 1 9	2	211	2	12	227
	加 入 電 話	1	19	2	1	23
	そ の 他	1	9		1	11
	小 計	4	785	6	17	812
5月	1 1 9 番		499	7	10	516
	携 帯 1 1 9	7	186	5	9	207
	加 入 電 話	1	31	1	9	42
	そ の 他	3	8		4	15
	小 計	11	724	13	32	780
6月	1 1 9 番	2	474	2	3	481
	携 帯 1 1 9	3	159	2	11	175
	加 入 電 話		22	3	10	35
	そ の 他	2	9		1	12
	小 計	7	664	7	25	703
7月	1 1 9 番	1	494	1	3	499
	携 帯 1 1 9		212	4	7	223
	加 入 電 話		19		8	27
	そ の 他		12		1	13
	小 計	1	737	5	19	762
8月	1 1 9 番	3	549	4	12	568
	携 帯 1 1 9	1	226	1	12	240
	加 入 電 話		27		11	38
	そ の 他	1	18	1	2	22
	小 計	5	820	6	37	868
9月	1 1 9 番		522	1	3	526
	携 帯 1 1 9		226	1	4	231
	加 入 電 話		20		5	25
	そ の 他		11		1	12
	小 計		779	2	13	794
10月	1 1 9 番	1	524	2	13	540
	携 帯 1 1 9	4	214	2	12	232
	加 入 電 話	2	32	3	12	49
	そ の 他	2	14	1	3	20
	小 計	9	784	8	40	841
11月	1 1 9 番	3	475		6	484
	携 帯 1 1 9	4	198	4	4	210
	加 入 電 話		24	5	9	38
	そ の 他		12		2	14
	小 計	7	709	9	21	746
12月	1 1 9 番	3	565	2	7	577
	携 帯 1 1 9	2	190	3	10	205
	加 入 電 話		21	2	10	33
	そ の 他	3	9	1	3	16
	小 計	8	785	8	30	831
合計	1 1 9 番	26	6,239	25	82	6,372
	携 帯 1 1 9	36	2,367	30	109	2,542
	加 入 電 話	9	288	25	86	408
	そ の 他	14	122	3	23	162
	小 計	85	9,016	83	300	9,484

# 1 1 9 番 等 受 付 状 況 (災害以外)

平成28年1月1日～平成28年12月31日

月別	受付種別	事案 試験	いたづら	問 い 合 せ	間 違 い	訓 練	試 験	重 複 そ の 他	合 計
1月	1 1 9 番		4	34	31	10	4	10	93
	携 帯 1 1 9		67	37	36	1	2	22	165
	加 入 電 話								
	そ の 他								
	小 計		71	71	67	11	6	32	258
2月	1 1 9 番		8	35	35	14	7	8	107
	携 帯 1 1 9		4	40	24		1	10	79
	加 入 電 話								
	そ の 他								
	小 計		12	75	59	14	8	18	186
3月	1 1 9 番	1	4	52	44	54	7	23	185
	携 帯 1 1 9		6	36	33		2	25	102
	加 入 電 話								
	そ の 他								
	小 計	1	10	88	77	54	9	48	287
4月	1 1 9 番		6	44	36	23	5	7	121
	携 帯 1 1 9		6	52	29		1	11	99
	加 入 電 話								
	そ の 他								
	小 計		12	96	65	23	6	18	220
5月	1 1 9 番		11	54	43	29	3	11	151
	携 帯 1 1 9		7	46	27	2	8	27	117
	加 入 電 話								
	そ の 他								
	小 計		18	100	70	31	11	38	268
6月	1 1 9 番		7	45	41	81	12	13	199
	携 帯 1 1 9		1	44	29		1	10	85
	加 入 電 話								
	そ の 他								
	小 計		8	89	70	81	13	23	284
7月	1 1 9 番		9	43	44	46	8	15	165
	携 帯 1 1 9		4	39	26		1	6	76
	加 入 電 話								
	そ の 他								
	小 計		13	82	70	46	9	21	241
8月	1 1 9 番		6	51	32	18	10	7	124
	携 帯 1 1 9		7	52	34			9	102
	加 入 電 話								
	そ の 他								
	小 計		13	103	66	18	10	16	226
9月	1 1 9 番	1	11	38	43	33	12	10	148
	携 帯 1 1 9		9	42	31			11	93
	加 入 電 話			1					1
	そ の 他								
	小 計	1	20	81	74	33	12	21	242
10月	1 1 9 番		5	43	36	91	4	8	187
	携 帯 1 1 9		4	70	40		2	11	127
	加 入 電 話				1				1
	そ の 他								
	小 計		9	113	77	91	6	19	315
11月	1 1 9 番		9	42	34	92	4	10	191
	携 帯 1 1 9		3	53	21	1	2	19	99
	加 入 電 話								
	そ の 他			2					2
	小 計		12	97	55	93	6	29	292
12月	1 1 9 番		8	56	46	36	24	15	185
	携 帯 1 1 9		1	53	28	1	2	17	102
	加 入 電 話				1				1
	そ の 他								
	小 計		9	109	75	37	26	32	288
合計	1 1 9 番	2	88	537	465	527	100	137	1,856
	携 帯 1 1 9		119	564	358	5	22	178	1,246
	加 入 電 話			1	2				3
	そ の 他			2					2
	小 計	2	207	1,104	825	532	122	315	3,107

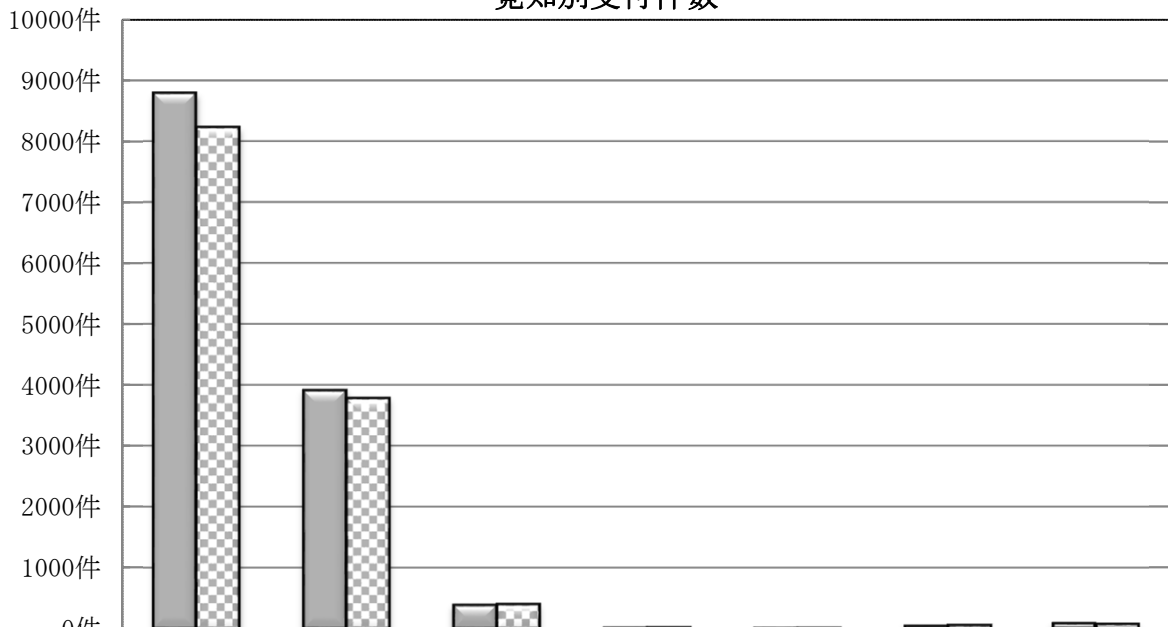
### 119番等受付件数



■災害 A	8,320	9,528	9,299	9,446	9,554	9,625	9,484
■災害以外 B	4,174	4,587	4,278	3,786	3,448	3,625	3,107

- ・災害とは「火災」「救急」「救助」「その他災害」をいう
- ・災害以外とは「事案試験」「いたづら」「問合せ」「間違い」「訓練」「試験」「重複・その他」をいう

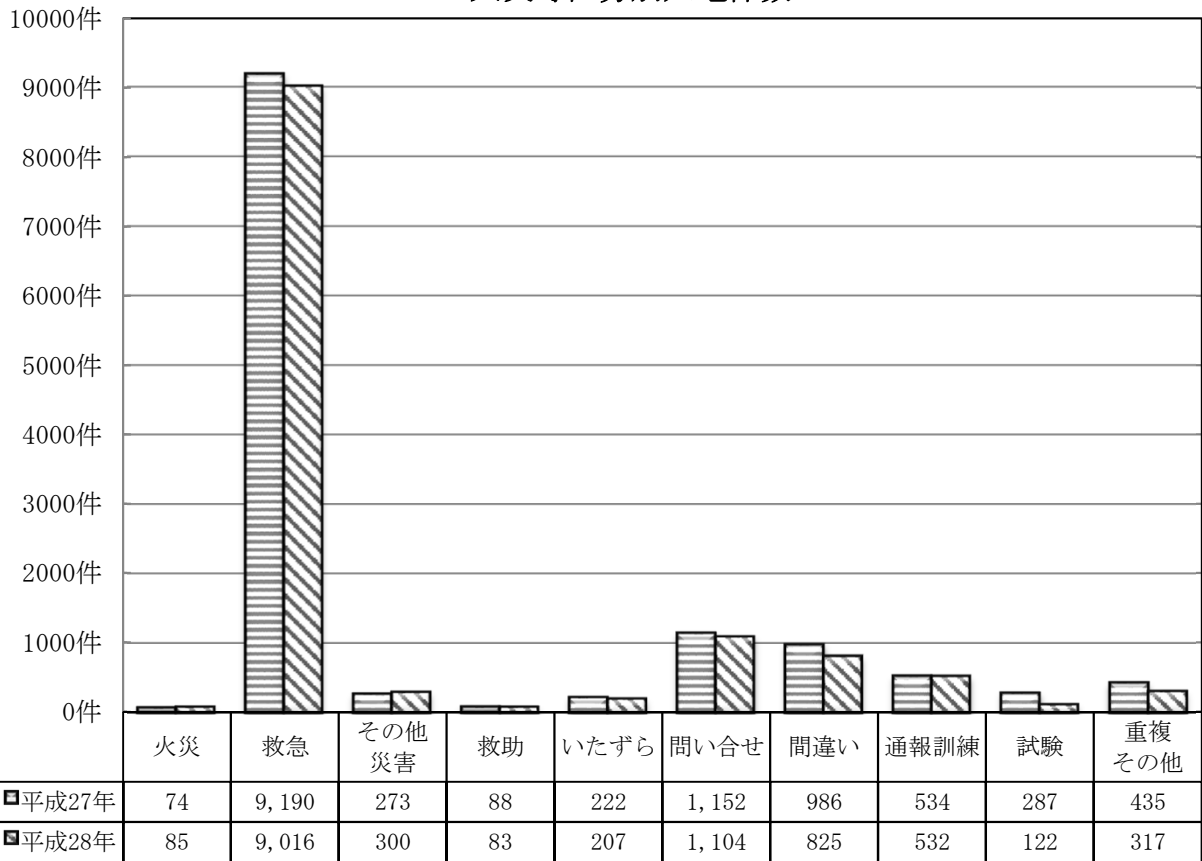
### 覚知別受付件数



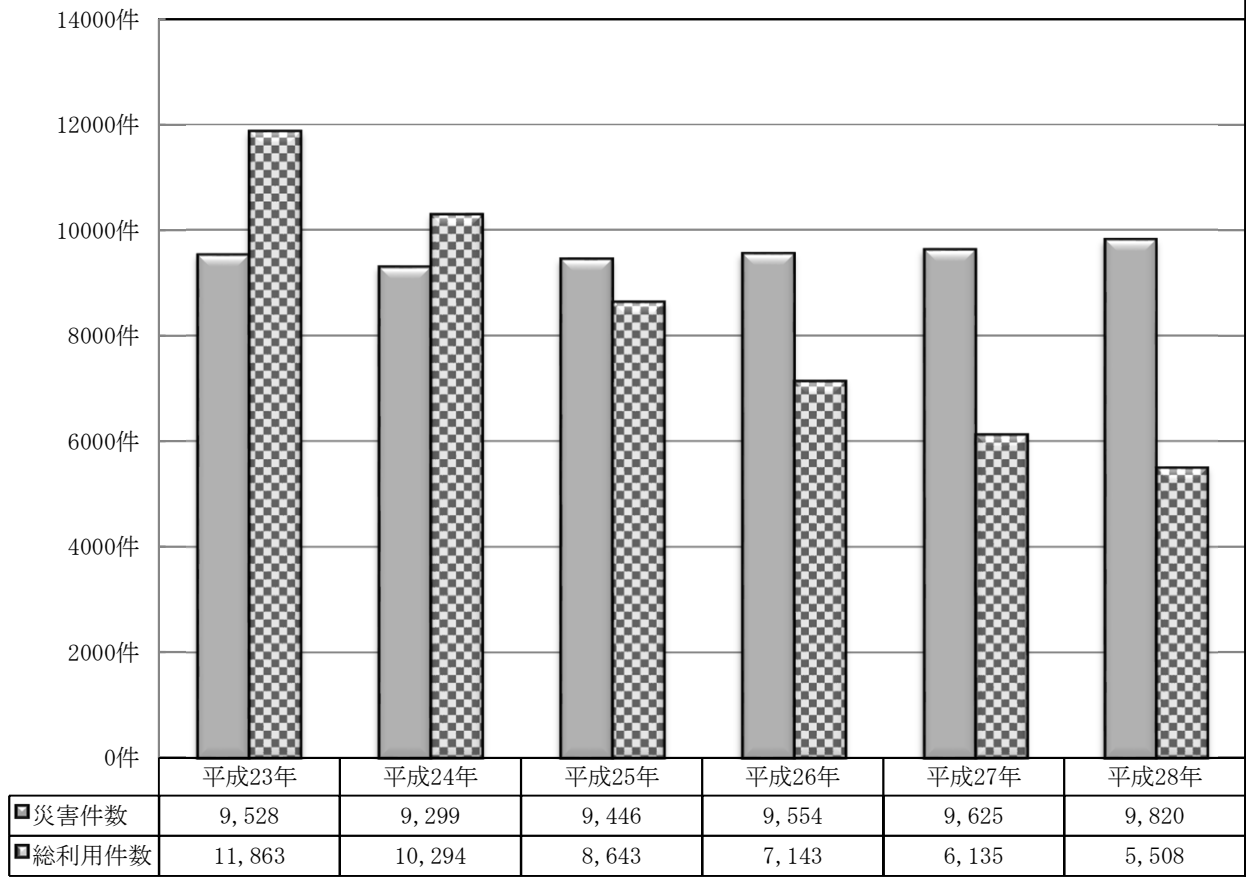
■平成27年	8,784	3,924	391	13	6	43	89
■平成28年	8,223	3,793	408	19	11	61	76

覚知別受付件数グラフは、前年度の「覚知別」と比較したものです。

火災等区分別入電件数



テレドーム利用件数



◎ テレドームは、救急出動を除く火災、救助、その他災害の発生状況を音声案内で情報サービスするものです。



# 月別気象状況(平成28年)

(平成28年 消防本部観測記録による)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計平均
温度	最高(℃)	11.4	18.2	19.7	25.2	30.6	32.4	32.9	34.0	33.5	26.5	21.5	14.3	25.0
	最低(℃)	-12.9	-12.2	-10.6	-4.3	2.1	9.3	16.6	15.6	11.7	1.2	-3.6	-3.1	0.8
	平均(℃)	1.4	2.1	5.9	10.9	16.8	19.6	22.8	25.2	21.6	14.2	7.1	4.1	12.6
湿度	最低(%)	53.6	41.6	28.0	20.0	25.0	30.8	49.4	45.0	55.5	43.6	38.3	55.5	40.5
	平均(%)	91.6	86.6	78.3	80.2	82.8	88.7	92.7	91.9	95.1	85.2	87.2	91.2	87.6
風速	日最高平均(m/s)	10.0	12.4	13.8	14.2	12.4	13.8	8.8	10.5	8.7	14.7	14.0	16.9	12.5
	瞬間最大(m/s)	19.2	22.2	23.5	26.1	21.7	26.1	14.1	21.2	15.8	26.4	24.6	31.9	22.7
	平均(m/s)	2.7	2.7	2.9	3.0	2.6	2.8	2.3	2.4	1.7	2.7	2.5	3.0	2.6
降水量	1日最大(mm)	27.0	17.5	2.0	59.0	17.5	50.5	33.5	24.5	82.5	8.5	13.0	9.5	28.8
	積算(mm)	57.5	23.5	7.0	146.5	75.0	138.5	79.5	67.5	159.5	24.0	24.5	26.0	69.1
天候観測 昼観測 (日数)	晴日 (快晴含)	8	8	20	19	20	18	17	15	13	23	21	21	203
	曇日	15	12	8	7	6	9	10	11	13	8	7	8	114
	雨日	4	4	2	4	5	3	4	5	4	0	2	1	38
	雪日	4	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	11
地震観測	回数	3	4	2	3	4	3	3	10	5	2	22	10	71
	最大震度	2	3	1	3	2	2	1	3	2	3	4	3	-
備考 年記録	温度	最高 34.0℃ (8月)												
		最低 -12.9℃ (1月)												
	風速	最大瞬間風速 31.9m/S (12月)												
	降水量	一日最大 82.5mm (9月)												
	地震観測	最大震度 4 (11月12日, 11月22日)												

■天候観測は、0時から24時の気象概況

## 指令装置機器一覽

項目	内訳	
	数量	単位
1 指令装置	1	式
(1) 指令台	2	台
(2) 自動出動指定装置	1	式
ア 制御処理装置	1	台
イ ディスプレイ	2	台
(3) 地図検索装置	1	式
ア 制御処理装置	1	台
イ ディスプレイ	2	台
(4) 支援情報表示装置	1	式
ア 制御処理装置	1	台
イ ディスプレイ	2	台
(5) 長時間録音装置	1	台
(6) 非常用指令装置	1	台
(7) 指令制御装置	1	台
(8) プリンタ	1	台
(9) カラープリンタ	1	台
(10) スキャナ	1	台
(11) データメンテナンス装置	2	台
(12) 署所端末装置	9	台
(13) バックアップ受令機	8	台
2 指揮台	1	式
3 表示盤	1	式
(1) 車両運用表示盤	2	面
(2) 支援情報表示盤	1	面
(3) 多目的情報表示盤	2	面
(4) 映像制御装置	1	面

項目	内訳	
	数量	単位
4 無線統制台	1	式
5 指令電送装置	1	式
(1) 指令情報送信装置	1	台
(2) 指令情報出力装置	9	台
6 気象情報収集装置	1	式
7 災害状況等自動案内装置	1	式
8 順次指令装置	1	式
9 音声合成装置	1	式
10 出動車両運用管理装置	1	式
(1) 管理装置	1	台
(2) 車両運用端末装置	52	台
(3) 車外設定端末装置	45	台
11 システム監視装置	1	式
12 電源設備	1	式
(1) 無停電電源装置	9	台
(2) 直流電源装置	1	台
(3) 非常用発動発電機	1	台
13 統合型位置情報通知装置	1	式
14 防災無線連動集中制御装置	1	式
15 119 FAX受信装置	1	台
16 監視カメラ装置 (庁舎用)	1	式
(1) 監視カメラ	4	台
(2) 監視映像受信装置	1	面
17 デジタル無線受令機	25	台

# 管内の消防団



第41回宮城県消防協会大崎地区支部消防操法大会  
於：小野田グラウンド  
《 加美町消防団 》

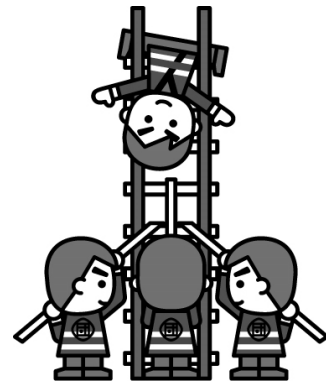
# 大崎管内の消防団構成

平成29年4月1日現在

市町名	定数	実数	階級別実数							所有車両数	
			団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	副班長		団員
大崎市	2,430	2,361 (8)	1	22	56	72	140	292	0	1,778 (8)	ポンプ車 10 小型ポンプ積載車 127 小型ポンプ 91 その他 0
色麻町	210	208 (9)	1	1	4	4	0	20 (1)	0	178 (8)	ポンプ車 0 小型ポンプ積載車 18 小型ポンプ 0 その他 0
加美町	640	590 (1)	1	3	7	7	20	66	0	486 (1)	ポンプ車 2 小型ポンプ積載車 62 小型ポンプ 1 その他 0
涌谷町	350	285 (10)	1	2	7	7	6	21 (1)	8	233 (9)	ポンプ車 1 小型ポンプ積載車 17 小型ポンプ 0 その他 0
美里町	561	470 (7)	1	2	10	14	13 (1)	31 (1)	31	368 (5)	ポンプ車 2 小型ポンプ積載車 27 小型ポンプ 0 その他 0
合計	4,191	3,914 (35)	5	30	84	104	179 (1)	430 (3)	39	3,043 (31)	ポンプ車 15 小型ポンプ積載車 251 小型ポンプ 92 その他 0

※大崎市消防団については、副団長のうち7名が支団長を兼ねる。

※（ ）内は女性消防団員の数





---

# 平成29年版 消防年報

平成29年6月発行

編集・発行 大崎地域広域行政事務組合消防本部管理課



宮城県大崎市古川北町三丁目2番20号  
電話 (0229)22-2351(代)  
FAX (0229)24-4048

---